文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
近畿ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【近畿ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。

科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「 2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、近畿ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 滋賀学習センター …… 2
- 京都学習センター …… 12
- 大阪学習センター …… 25
- 兵庫学習センター …… 56
- 姫路サテライトスペース …… 74
- 奈良学習センター …… 79
- 和歌山学習センター …… 95

● 各学習センター案内図 …… 109

【巻末資料】

● 追加登録申請書

科目コード	2695316
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**英米文学の楽しみ**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	24名
担当講師	オクムラ　マキ 奥村　真紀 京都教育大学教育学部教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、英語で書かれた有名な文学作品に触れ、平易な文章に隠された深い含蓄を味わい、背景となる時代や社会を読み解くことを目指します。前半では短い詩と短編小説を通じて、英文読解だけでは気づかない作品の意味を読み解きます。後半は現在でも多くのファンを魅了している英文学の傑作を抜粋で紹介しながら、その作品がその時代に書かれた背景や、それが現在まで愛されている理由を考えます。

【到達目標】
・文学作品の豊かな英語表現に触れ、それを味わうことで英語読解能力を高めることができる。
・文学作品のジャンルを知り、それぞれの作品に表れている思想や文化背景を理解できる。

【授業テーマ】
第1回 英語の詩の読み方
第2回 Robert Frost, "Stopping by Woods on a Snowy Evening"を読む
第3回 短編小説を読むために
第4回 Earnest Hemingway, "Hills Like White Elephants"を読む
第5回 ジェイン・オースティンの世界
第6回 Jane Austen, "Pride and Prejudice"を読む①
第7回 Jane Austen, "Pride and Prejudice"を読む②
第8回 小説と映像

【学生へのメッセージ】
英語で文学作品を読むことに慣れていなくても心配ありません。前半の二作は短く、非常に簡単でありながら良質な英語で書かれています。後半の小説もとても有名なもので、多くの映画の原作にもなっています。英語を味わい、社会背景などを知りながら物語を読む楽しみを感じてください。

【受講前の準備学習等】
授業内でプリントを配り、解説します。後半に扱うオースティンの作品は長編小説ですので、翻訳や映画も多数存在します。長い小説を部分的に読みますので、前もって翻訳や映画に触れたり、インターネットで作品の内容を検索してみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英語を読みますので、当日は英和辞書などを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
パソコン等を持参してインターネットを利用される場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。

科目コード	2695324
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**iPadで日常を豊かにする**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	タケノ　キミヒト 岳野　公人 滋賀大学教育学部教授／合同会社KimiLab
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

本授業では、iPadやMacを使って日々の生活や放送大学での学びやふだんの生活をより豊かにする方法について学びます。具体的な内容はAppleの純正のアプリケーションのKeynote、Numbers、Pagesの使い方などを書類作成やプレゼンテーション資料作成などの基礎課題を通して学習します。また授業中には、受講者の取り組みたい課題ややってみたいことについても、時間の許す限り取り組んでいただけるような時間の使い方にできればと考えています。
【到達目標】
日常生活に必要に応じてiPadを有益に利用するために、Appleの純正のアプリケーションの操作について理解し、利活用場面を的確に判断できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに　デバイスとネットワーク環境の設定
第2回 Apple環境のアプリケーションの使い方１
第3回 Apple環境のアプリケーションの使い方２
第4回 Pagesを使った学習ノート作成
第5回 学習ポートフォリオの作成
第6回 写真やイラストで自己表現
第7回 応用課題（自分で考えるiPadの新しい使い方の提案）
第8回 まとめ　プレゼンテーションとディスカッション
【学生へのメッセージ】
この授業では、iPadを使って暮らしの中で楽しみながら表現するための技術や方法を学びます。基礎課題が終了したら、ご自身の暮らしの中でどのような応用ができるかについても、ぜひ一緒に考えたいと思います！
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・インターネットへの接続が必要です。本授業はタブレットでも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　iPadもしくはMacのコンピュータを持参してください。
２．OSの指定
　iPadOSもしくはmacOSが必要です。OSは最新のものにアップデートしてください。
３．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いません。Appleの純正のソフト（Pages、Numbers、Keynote）が必要です。その他必要なソフトがある場合には、授業中に紹介します。
４．その他
　OSは最新のものにアップデートしてください。すでにiPhone、Apple Watch、Apple Pencilをご所有の場合はお持ちください、講義中に適宜関連付けてお話をする予定です。これらのデバイスは、新たに購入をする必要はありません。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2695332
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**医療文化論**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	イトウ　ミキコ 伊藤　美樹子 滋賀医科大学教授／ 放送大学滋賀学習センター客員教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 10月25日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
健康科学は、生物医学的知見にとどまらず、人文社会科学に立脚する学際的な学問です。本講義では、少子高齢化や家族機能の縮小が進む現代社会を背景に、人びとの「Life」を、生存・生活・人生という多層的な次元から、また健康・病気・保健・医療の視点から捉え直します。心理社会モデルや社会生態学モデルを用い、個人要因に加えて、人間関係、組織、地域、制度といった多層的要因が健康に及ぼす影響を検討します。さらに、スモンや薬害などの医療被害の事例を通して、医療や医学が社会的・文化的文脈の中で形成されてきたことを学び、健康格差や医療のあり方を批判的に捉える視座を養います。

【到達目標】
・生存・生活・人生という多層的な「Life」の視点から、健康・病気・保健・医療を総合的に捉えることができる。
・薬害の事例を通して、医療や医学が社会的・文化的文脈の中で形成されてきた過程を理解できる。
・現代社会における健康課題を、自身の経験や身近な事例と結びつけて考え、言語化することができる。

【授業テーマ】
第1回 健康とは
第2回 全国に生じた原因不明の奇病：キノホルムによる薬害スモン
第3回 全国に生じた原因不明の奇病：薬害スモンの原因究明
第4回 制度としての保健医療とその周辺
第5回 高齢期の健康と社会
第6回 看取り・終末期医療
第7回 医療化と脱医療化をめぐって
第8回 学習成果のまとめ

【学生へのメッセージ】
グループワークやディスカッションを行います。受講生の皆さんの主体的な参加を期待します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、参考書や厚生労働省の政策に関するインターネット情報を見るなどして自己学習に努めてください。
厚生労働省分野別の政策一覧
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/index.html

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具を持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・新・生き方としての健康科学〔第二版〕（山崎喜比古、朝倉隆司／有信堂高文社／¥3,190／ISBN=9784842065960）

科目コード	2695340
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**思考の認知心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	タニガミ　アキ 谷上　亜紀 滋賀大学経済学部教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
人の思考は必ずしも合理的ではありません。また、人は経験したことをそのまま記憶しているわけではありません。情報の受け取りかたには共通した独特の癖があります。それは人間の認知過程の欠陥というよりも、膨大な情報を効率よく処理し、整理することで、安全によく生きることを可能にする、人間に備わった強みでもあります。そのため日常生活では気づかれないことも多いのですが、ふとした拍子に露になり私たちを驚かせます。
本授業では、これまでに明らかになってきた、人間の情報処理の特徴について学びます。

【到達目標】
人間の認知過程についての知識に基づいて自分や他者の行動を客観的に理解することができる。

【授業テーマ】
第1回 人の思考は合理的ではない
第2回 推論の特徴（1） 処理の流暢性
第3回 推論の特徴（2） 確証バイアス
第4回 推論の特徴（3） その他
第5回 二重過程理論
第6回 プロスペクト理論
第7回 選択肢と意思決定
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
参考書は授業中に紹介します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2695359
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**「声表現」の可能性ー合唱**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	ワタナベ　アヤ 渡邊　史 滋賀大学教育学部准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 16:00～16:40
実施会場	この授業は、【★滋賀大学教育学部（大津市平津2-5-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
「歌唱」は高度な音声表現です。ただ「声を出す」ことではありません。音楽を美しく奏でるには、「いまどのような“声＝音”が必要とされているか」の客観的考察を経た計画が必要です。その手がかりは、向き合う「音楽」それ自体に明らかです。リズム、メロディ、ハーモニー…西洋音楽の三要素をはじめ、音楽を、より美しく「奏でる」ための理論、ヒントを知識として学び、それらを踏まえた上で計画した「声」を用い、歌唱しましょう。自身の発する声（音）を精査、工夫しつつ、理論を実践に繋げます。「音楽を奏でる」という目的のため、他者と「協働」する時間です。

【到達目標】
・自身の「声」を客観的に精査、工夫する視点をもって取り組むことができる。
・音楽の基礎知識、理論をもとに、演奏準備、計画に臨むことができる。
・より良い演奏効果のために、自ら思考し、技術的な工夫を試みることができる。
・「楽曲を美しく奏でる」ため、他者と協働して課題に当たることができる。
・演奏時の客観性保持に留意し、適時の能動的調整を試みることができる。

【授業テーマ】
第1回「合唱」とはなにか…音楽の歴史と合唱の種類、用語確認
第2回「声」の構築…発声の基礎と実践
第3回 アンサンブル基礎…演奏への「声＝音」提供
第4回 課題実践①…楽曲への実践取り組み ／「声」表現の計画と実践
第5回 課題実践②…楽曲への実践取り組み ／ 言語特性を活かして
第6回 課題実践③…楽曲への実践取り組み ／ 計画的演奏
第7回 課題復習…論理的思考と計画の実践
第8回 総復習

【学生へのメッセージ】
・基礎的な「読譜力」を有している方のご受講が望ましい内容です。
・講義内にて、ストレッチを取り入れた身体トレーニングを行います。体を締め付けすぎない服装、安定感のある靴でご参加ください。

【受講前の準備学習等】
予習教材として【史センセイの声トレ道場】（渡邊史／YouTubeにて公開）を視聴してください。
… prof.ayakororin で検索
https://www.youtube.com/@prof.ayakororin/videos

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み状況と、筆記試験にて行います。

【受講者が当日用意するもの】
・筆記用具
・手鏡（口元が映る程度）
・トレーニング用具／空のペットボトル（350-500ml程度）「蓋」も使用します
・動作を妨げない服装
・飲料（ペットボトルや水筒など、蓋のできる中身がこぼれない形状の容器にて）
・主会場（中講義室）の椅子は机に作り付けのものです。座布団やひざ掛け等が必要な場合は、個々にご準備ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のことーアレクサンダー・テクニークとボディ・マッピング（バーバラ・コナブル／誠信書房／¥2,200／ISBN=9784414402803）
・発声と身体のレッスンー魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために（増補新版）（鴻上尚史／白水社／¥1,980／ISBN=9784560082003）
ちくま文庫から文庫版も発売されています（1,056円／9784480430021）
・史センセイの声トレ道場（YouTube配信、DVD）（渡邊史／2022年度放送大学教育振興会助成事業／¥0）
YouTubeにて無料配信中 prof.ayakororin で検索

【その他（特記事項）】
・授業は日本語にて進行します。
・講義は、全体での「座学」「トレーニング」「実践」以外に、適時の「グループワーク」を取り入れます。その際、主会場（中講義室）以外に、別棟の音楽棟を使用するときがあります。講義進行時は講師の指示に従って移動等を行ってください。
・歌唱実践にあたり、呼吸器・循環器等に疾患や懸念がある方はご注意ください。
・講義において、講師は基本的にマイクを用いません。また、内容に「資料音源の視聴」を含みます。音声聴取等に懸念のある方は、座席の位置取り、補聴器の使用など、ご自身でご対処ください。
・主会場（中講義室）へはバリアフリーで入れますが、会場内には階段による段差があります。
・グループワーク副会場（音楽棟）は1階と2階を用います。2階に上がる際は階段を用います。
その他、受講に際しての心配ごとは、滋賀学習センターを通して照会、ご相談ください。

科目コード	2695367
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**文化心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ムカイダ　クミコ 向田　久美子 放送大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学は、人間の行動の普遍的原理を見出そうとする学問ですが、一方で、人間の行動（認知、動機づけ、感情など）には文化によってさまざまな違いが見られます。本講義では、1990年代以降に発展してきた文化心理学の知見を紹介しながら、文化（特に東アジア圏と北米圏）による行動の違いとそれがもつ機能的な意味、文化差が生み出されるプロセスなどについて考えていきたいと思います。
【到達目標】
・文化心理学の立場から、これまでの心理学の知見を相対的に捉えることができる。
・人間の行動について、東アジアと北米ではどのように異なるのかについて、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 文化心理学の成り立ち
第2回 個人主義と集団主義
第3回 相互独立的自己観と相互協調的自己観
第4回 文化と自己
第5回 文化と認知
第6回 しつけと教育に見る文化差
第7回 文化的産物に見る文化差
第8回 文化を捉える枠組み
【学生へのメッセージ】
人間の行動の文化差について学びますので、その前提となる基本的知識があること（具体的には、心理学概論や社会心理学、発達心理学、心理統計学などのいずれかを受講していること）が望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英語の資料を使いますので、必要な人は（電子）辞書を持参してください。また、資料の文字が小さいので、必要な人は拡大鏡などをご持参ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・文化が違えば、心も違う？－文化心理学の冒険（北山忍／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004320784）

科目コード	2695375
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**地域ビジネス論**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	エミ　カズアキ 江見　和明 滋賀短期大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月6日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスといった、地域社会が抱える問題をビジネスを通して解決するという企業のあり方について学びます。我々が住む地域は、少子高齢化をはじめ様々な課題を抱えています。一方で、地域には、魅力的な資源がとてもたくさんあります。それらを再発見し、ビジネスの手法でどのように活用できるかを考えます。
【到達目標】
・地域の魅力や資源を再発見し、活用できるようになる。
・自分の経験やスキルを活かすことで、無理なくできる活動やビジネスの可能性について考えることができる。
・仲間とともに新しい価値を生み出すためのアイディアを生み出すことができるようになる。
・自分なりの活動やビジネスのプランを企画し、発表できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 自分と地域のつながりを考える
第2回 地域の魅力を再発見する
第3回 ミッション　企業の存在意義を考える
第4回 コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスについて
第5回 コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスの事例研究
第6回 ビジネスアイディアの発想法　ビジネスプランの事例
第7回 ビジネスプランの作成　自分の強み、地域のリソースを活かす
第8回 ビジネスプラン作成・発表
【学生へのメッセージ】
受講生の皆さんの経験や知識、ものを見る視点が、ビジネスアイディアを考えるとてもよい情報源になります。
普段の生活で気が付いたことも是非、共有してください。ご自身が感じている問題や課題が新たなビジネスチャンスになるかもしれません。
【受講前の準備学習等】
皆さんのこれまでの地域との関りについて振り返っておいてください。皆さんがお住まいの地域が抱えている課題や、持っている魅力について考えてみてください。地域や人々の課題を解決していると思うビジネスやサービスについて考えてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

科目コード	2695383
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**20世紀欧米経済史**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ミツイシ　イクオ 三ツ石　郁夫 滋賀大学名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
20世紀の世界経済は大きく繁栄しましたが、他方で対立と停滞、格差と貧困、構造転換をも経験しました。世紀前半のうちに２つの世界大戦と1つの世界恐慌が相互に関連して生じ、後半になると米国中心のグローバル化が定着したかに見えつつ、1970年代以降、経済秩序の崩壊と東アジアなど新興経済勢力の台頭によって構造転換と編成替えを余儀なくされました。現代経済は21世紀にどのように進むのでしょうか。講義では、20世紀の欧米経済史を米国とドイツを中心に見ることによって、市場経済の理念と現代資本主義の発展傾向を考えます。
【到達目標】
20世紀欧米諸地域における経済発展の歴史を理解することによって、国民経済とグローバル経済の形成、金融諸関係の意義、経済政策思想の変遷、社会諸階層の運動と理念、政治支配の諸問題を分析し、資本主義と市場経済の発展の長期的な傾向を的確に把握できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 第一次世界大戦とアメリカ資本主義の躍進
第2回 1920年代世界経済の不安定化
第3回 世界経済恐慌の時代
第4回 1930年代の国家と経済
第5回 戦後パックス・アメリカーナの形成
第6回 欧米成長経済の軌跡
第7回 ブレトンウッズ体制の崩壊と経済政策の転換
第8回 20世紀におけるグローバル化と東アジア経済の台頭
【学生へのメッセージ】
歴史と経済に関心のある方を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
20世紀欧米世界の歴史と現代経済の特徴について、参考文献やその他の歴史書、経済書、またインターネット等によってあらかじめ調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・エレメンタル欧米経済史（馬場哲、山本通、廣田功、須藤功／晃洋書房／¥3,080／ISBN=9784771023406）
・グローバル経済の歴史（河﨑信樹、村上衛、山本千映／有斐閣／¥3,080／ISBN=9784641221482）
・世界経済の歴史－グローバル経済史入門〔第2版〕（金井雄一、中西聡、福澤直樹／名古屋大学出版会／¥2,970／ISBN=9784815809973）

科目コード	2695391
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**中国歴代王朝と遊牧民**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ムラオカ　ヒトシ 村岡　倫 元龍谷大学教授／放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
歴史上、遊牧民は「暴虐」「野蛮」という負のイメージを持って語られてきましたが、それは誤った認識です。多くの遊牧民は自ら記録を残しませんでした。そのため、彼らを研究するには、結局、定住文明圏の人々による記録に頼らざるを得ず、それは、遊牧民の攻撃に苦しみ、あるいは支配された時の憎悪もあり、極度に偏り、彼らを必要以上におとしめるものでした。近年、遊牧民の歴史的意義の大きさは十分に認められつつあります。この講義でも、遊牧民が中国の歴代王朝にどのように関り、そして中国史においてどのような役割を果たしたのか、学ぶことにしましょう。
【到達目標】
中国の歴史において、遊牧民の活動を通して、従来の各国史・地域史の枠を越えた歴史観を持ち、真の世界史像を理解できる。これを基礎として、近年の新しい歴史研究の状況を学び、新しい世界史像を自ら考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ユーラシア史上初の遊牧国家「スキタイ」と「匈奴」
第2回『三国志』の時代とその後の遊牧民
第3回 隋・唐帝国の形成と遊牧民
第4回 トルコ系遊牧民「突厥」と商業民ソグド人の融合
第5回 ウイグル可汗（カガン）国の興亡
第6回 トルコ系沙陀突厥とモンゴル系契丹（キタイ）
第7回 チンギス・カン登場前史とモンゴル帝国の成立
第8回 モンゴルの中国支配―現代中国の起源「元王朝」―
【学生へのメッセージ】
遊牧国家のあり様は、現代社会を生きる我々が学ぶべき点も多く、それは、従来の各国史・地域史の枠を越えた新しい世界史像を探求することにもつながります。そのことを感じてもらえれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
最近出版されている一般向けの歴史読み物で遊牧民に触れる箇所を読んでおいてください。もし、お手元に高校の教科書があれば、それでもかまいません。その記述が正しいかどうか、講義の中で考えていただければと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695405
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**渡来文化と古代近江**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	21名
担当講師	タカダ　ミツヒコ 髙田　満彦 龍谷大学高大連携フェロー （元社会学部教授）
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月25日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55
実施会場	この授業は、【滋賀学習センターおよび★大津市内（2日目)】で行います。

授業概要

【授業内容】
古代日本と朝鮮半島の懸け橋として重要な役割を果たした渡来人の働き、およびその文化について、彼らが多くの足跡を残した近江を舞台に、日本の文化向上に果たした渡来人の役割やその文化などについて関連遺跡等を紹介しながら考えます。
【到達目標】
近江に定着した渡来人が、古代日本と朝鮮半島の重要な架け橋として果たした役割や移入した先進的な大陸文化の内容等について理解し、近江に残る渡来人関連遺跡から渡来の必然性や大陸文化等を東アジア全体の地政学的観点から考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 東アジアの国際情勢と渡来人－渡来人を動かしたもの－
第2回 海を渡った渡来人たち－大陸からの渡来ルートと足跡－
第3回 定着した渡来人たち－近江へ－
第4回 渡来文化隆盛の近江－古代近江の渡来文化－
第5回 フィールドワーク①「大津市歴史博物館での学修」
第6回 フィールドワーク②「大津市北郊に残る渡来人の足跡を辿るⅠ」
第7回 フィールドワーク③「大津市北郊に残る渡来人の足跡を辿るⅡ」
第8回 フィールドワーク④「大津市北郊に残る渡来人の足跡を辿るⅢ」
【学生へのメッセージ】
第１日目は座学で４コマ行います。４～６世紀の東アジアの情勢（日本を含む）を東アジア全体の地政学観点から予習しておくと講座の内容が理解しやすくなります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容等から判断し、関連図書を読むなど自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
第１日目は座学ですので、写真、スライド等を含む資料を担当教員が用意します。第２日目はフィールドワークですので、各自飲み物、タオル、雨天決行につき雨具（カッパ）を用意いただき、動きやすい服装・靴でご参加ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・古代近江の原風景（松浦俊和／サンライズ出版／¥3,080／ISBN=9784883252275）
・古代近江の遺跡（林博通／サンライズ出版／¥4,180／ISBN=9784883250561）

【その他（特記事項)】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
フィールドワークでは大津市歴史博物館で渡来人関連の展示を見学しますので、実習経費として博物館観覧料（各自330円　2026年2月現在）や関連遺跡への移動の交通費（京阪電車200円）をご負担いただきます。詳細については、後日受講決定者に通知します。

科目コード	2695413
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**古墳時代の社会と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	キム　ウダイ 金　宇大 滋賀県立大学人間文化学部准教授／ 放送大学滋賀学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
日本列島全域に大量の大型墳墓がつくられた「古墳時代」、そこには巨大な権力構造が存在し、独自の社会と文化が形成されていました。文字史料からはうかがい知れない当時の社会・文化の実態を、出土した考古資料の分析を通じて読み解いていきます。
【到達目標】
「古墳時代」という時代における日本列島の社会と文化の在り方を理解し、それがどのような特質をもつものであったのかを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回「古墳時代」という時代
第2回 古墳文化と「威信財」
第3回 古墳文化の独自性と普遍性１
第4回 古墳文化の独自性と普遍性２
第5回 古墳時代の祭祀と子持勾玉
第6回 古墳壁画の系譜と意義
第7回「渡来人」をどう捉えるか
第8回 龍の概念の源流を追う
【学生へのメッセージ】
歴史の概説というよりは、専門性の高い、テーマ別に深く掘り下げた分析・検討の話をします。ある意味、考古学研究の最前線の非常にマニアックな内容ですので、その点ご承知おきください。
【受講前の準備学習等】
「古墳時代」という時代がどういうものであったのか、という点について、基本的な知識を仕入れておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・ビジュアル版 古墳時代ガイドブック（若狭徹／新泉社／¥1,650／ISBN=9784787713308）
シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊04

科目コード	2695421
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**解いて学ぶ統計学**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ナカガワ　マサオ 中川　雅央 滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター助教
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

AIが普及して社会が著しく変化する現在、本質的なエビデンスを得ることに寄与するデータサイエンスは、その重要性が再認識されています。特に統計学はデータサイエンスの基礎であり、計算結果をどのように解釈すれば良いのか、その概念や考え方を学ぶニーズは高まっています。
当授業では、手を動かして演習問題を解いていくことで、統計学の基本的な概念の学びを深めていくことを目指します。
【到達目標】
統計学の手法を基礎的な概念に基づいて習得し、自ら統計学的な観点から計算結果を解釈し説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 データサイエンス2.0の時代
第2回 データハンドリング
第3回 確率変数と統計量
第4回 AnalysisとSynthesis
第5回 確率分布モデル
第6回 統計モデル
第7回 統計学の応用
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
授業内容に関する発言を歓迎します。難しい用語や不明点などがあれば、いつでも気軽に発言してください。面接授業の利点を最大限に活かすためにもコミュニケーションを大切にしたいと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線 LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1. 持参する端末
　・ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
2. OS の指定
　・OS の種類は問いませんが、授業では Windows での例を用いて説明します。
3. ソフトのインストール
　・データの分析には Microsoft Excel が必要です。（アドイン「分析ツール」を使用します）
　・配布資料は PDF で提供しますので PDF を見るソフトが必要です。
　・Chrome ブラウザの利用を推奨します。
4. その他
　・システム WAKABA のログイン ID とパスワードを事前に確認しておいてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・この１冊ですべてわかるデータサイエンスの基本（滋賀大学データサイエンス学部／日本実業出版社／¥2,530／ISBN=9784534061218）
・実例で学ぶ確率・統計（廣瀬英雄／日本評論社／¥3,080／ISBN=9784535787568）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2695430	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** ICT機器などのデジタル機器を障害のある人や高齢者に対して、その困りに合わせて適切にコーディネートし、その利活用をサポートできる知識と技術を認定された人になり、デジタルアクセシビリティのマインドを持つ支援者を目指してみませんか。 **【到達目標】** ・障害について理解できる。 ・テクノロジーについて理解できる。 ・OS 標準のアクセシビリティについて理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 DAAの役割と障害の理解① 第2回 障害の理解② 第3回 テクノロジーの理解 第4回 見ることに困難がある人のアクセシビリティ 第5回 聴くことに困難がある人のアクセシビリティ 第6回 動くことに困難がある人のアクセシビリティ 第7回 OS標準のアクセシビリティに役立つ周辺機器 第8回 認定試験対策と総括 **【学生へのメッセージ】** 実践的な知識の習得ができるように機器のデモンストレーションや体験を通じて分かり易く楽しい授業にしていきます。 一緒に操作が行えることが望ましいので、ご自身のスマートフォンやタブレットの操作ができるようにしておいてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。本授業は、タブレットやスマートフォン等のICT機器を使用しますので、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	滋賀学習センター		
学習センターコード	25A		
クラスコード	K		
科目名	**デジタルアクセシビリティ基礎**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナカゾノ　ショウゴ 中園　正吾 一般社団法人日本支援技術協会顧問 （研究部担当）		
日程 実施時間	12月12日（土） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月13日（日） 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40		
実施会場	滋賀学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 種類は問いません（ただし、スマートフォン、タブレットでの受講が望ましいです）。 ２．OS の指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android 等）。 ３．ソフトのインストール アクセシビリティ機能について学習しますので、特別なソフトのインストールは不要です。 ４．その他 ソフトのバージョン指定はありませんが、最新のバージョンにアップデートされていることが望ましいです。 授業では検索等でインターネットを使用しますので、必要に応じて、面接授業の前日までに無線 LAN 利用申請手続きをしてください。 なお、パソコンでレポート作成を希望される場合は無線LAN利用申請を行うとともにパソコン等ご持参ください。 **【教科書】** ・デジタル アクセシビリティ アドバイザー　認定試験　公式テキスト　Basic レベル編 第4版（一般社団法人日本支援技術協会／一般社団法人日本支援技術協会／¥1,650） 紙の書籍、電子書籍2種類の中からご自身に合った形態の教科書を持参ください。 書籍（送料含め 2,000円、支払はクレジットカードのみ。下記でしか購入できず、書店やオンライン書店などでは購入できません） https://bit.ly/45zym2t 電子書籍（フィックス型）https://www.shinanobook.com/genre/book/5454 電子書籍（リフロー型）https://amzn.asia/d/ggb9tbU
			【その他（特記事項）】 この科目は2025年度第２学期開設科目「障害のある方へのICT活用」と共通した内容を含みます。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください

科目コード	2695448
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**琵琶湖環境学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	バン　シュウヘイ 伴　修平 滋賀県立大学名誉教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
琵琶湖は滋賀県の1/6の面積を有し、およそ1,000種の生物を育み、京阪神1,450万人に飲料水を供給している日本で最も大きい湖です。本授業では、その成り立ちから治水・利水、水資源開発の歴史、湖水の流動、汚濁負荷と水質、そして生物多様性と生物間相互作用までを学びます。また、人間活動が琵琶湖生態系に与えた影響について、富栄養化と地球温暖化を例に紹介します。
【到達目標】
琵琶湖の地理的特徴と水資源開発の歴史に関する知識を習得し、琵琶湖における物理・化学環境とそこに棲む生物、そしてそれらの相互関係に関する基礎的知見を理解することで琵琶湖とその周辺環境に対する人間活動の影響や環境保全について考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 琵琶湖の地理的特徴
第2回 琵琶湖の成り立ち
第3回 琵琶湖淀川水系の水資源管理
第4回 琵琶湖への汚濁負荷と湖内の水質
第5回 琵琶湖の水収支と湖流
第6回 琵琶湖の生物とその相互作用
第7回 琵琶湖への人間活動の影響1：富栄養化
第8回 琵琶湖への人間活動の影響2：地球温暖化
【学生へのメッセージ】
琵琶湖は様々な恩恵を授けてくれる母なる湖です。しかし、その歴史や生息する生物については意外と知らないことが多いでしょう。本授業を通してそれらを学び、琵琶湖環境を考えるための一助となれば幸いです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を参考に自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
講義資料はプリントで配布しますが、PDFファイルでも提供します。授業前日までに滋賀学習センターからキャンパスメール宛にメールを送信します。授業中にパソコンを使用してPDFファイルの資料を確認したい場合は、インターネット接続されたパソコンやタブレット等をご持参ください。
学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・琵琶湖－その環境と水質形成（宗宮功編著／技報堂出版／¥5,280／ISBN=9784765531702）
・知ってますかこの湖をーびわ湖を語る50章（琵琶湖百科編集委員会編／サンライズ出版／¥3,080／ISBN=9784883250929）
・琵琶湖は呼吸する（熊谷道夫・浜端悦治・奥田昇／海鳴社／¥1,980／ISBN=9784875253211）

科目コード	2695456
学習センター	滋賀学習センター
学習センターコード	25A
クラスコード	K
科目名	**栽培学概論**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	モリ　タロウ 森　太郎 滋賀大学教育学部教授／放送大学滋賀学習センター客員教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　16:00～16:40
実施会場	滋賀学習センター

授業概要

【授業内容】
作物の栽培をはじめとした「農」は、食料の安定生産ばかりでなく、環境、地域社会、教育などと関連しています。授業の前半では、これらの関連性について学習し、「農」を取り巻く問題や多面的機能について考えていきます。また、授業の後半では、作物を栽培するために必要な植物の生長・開花・結実のメカニズムや栽培技術について学習します。
【到達目標】
・「農」を取り巻く問題や多面的機能を理解し、今後の「農」の在り方を考えることができる。
・作物を栽培するために必要な植物の生長・開花・結実のメカニズムや栽培技術について科学的に理解できる。
【授業テーマ】
第1回 農と食の安定生産
第2回 農と環境
第3回 農と地域社会、農と教育
第4回 種子と発芽、植物の生長
第5回 開花と結実
第6回 栽培環境（養分、温度、光環境など）とその制御 1
第7回 栽培環境（養分、温度、光環境など）とその制御 2
第8回 病害虫とその防除
【学生へのメッセージ】
食料生産だけではない「農」の役割を理解し、今後の「農」の在り方を考える機会にしていただきたいと思います。また、家庭菜園などでの作物栽培に興味のある方は、栽培に関する科学的な理解を深めていただければと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695464
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**インドネシア語入門**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	30名
担当講師	クノウ　ゲンタ 久納　源太 京都大学東南アジア地域研究研究科環インド洋地域研究プロジェクト研究員
日程 実施時間	10月23日(金) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月30日(金) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、インドネシア語の基礎的な文法、会話、語彙を学習します。具体的な場面を想定した演習を通じて、読解力と日常会話力を養い、インドネシア語による実践的なコミュニケーション能力の向上を目指します。

【到達目標】
・インドネシア語の基礎的な文法、会話、語彙を理解し、インドネシア語による、挨拶、疑問、意思伝達の場面を想定した日常的なコミュニケーションを行う能力を得られるようになる。

【授業テーマ】
第1回 インドネシア語での自己紹介・基礎的な文法のルール
第2回 インドネシア語の母音・子音と発音の基礎
第3回 インドネシア語の基礎語彙：数字、前置詞、動詞
第4回 インドネシア語の動詞と名詞の生成
第5回 インドネシア語での意思表示と疑問文
第6回 インドネシア語の書き言葉と話し言葉
第7回 会話練習：時間の表現方法
第8回 会話練習：比較の表現方法

【学生へのメッセージ】
語学を習得するためには実際に発音することが大切です。積極的な姿勢で臨んでくださることを期待します。

【受講前の準備学習等】
授業内容や演習問題から復習し、疑問点を授業で伝えることに努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業にパソコン等や辞書（電子辞書）類を持ち込んでも構いません。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695472
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**世界の居住文化**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	フジエダ　アヤコ 藤枝　絢子 京都精華大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
世界には、地域の気候や立地、人々の生活や文化に適応し形作られてきたヴァナキュラー建築とよばれる風土に根ざした建築が存在しています。世界各地のヴァナキュラー建築の事例を通じて、多様な地域資源の利用、独自の技術や技法、様式や機能性を学び、環境と建築の関係、住居の本質を考える契機にしてもらえればよいと思います。

【到達目標】
・事例として取り上げるヴァナキュラー建築における地域資源の利用、技術や技法、様式および機能性を理解し、ヴァナキュラー建築が自然環境や社会文化とどのように関わっているかを考察することができる。

【授業テーマ】
第1回 人類と住居の起源
第2回 ヴァナキュラーな建築
第3回 土の建築
第4回 木の建築
第5回 気候や自然災害への適応１
第6回 気候や自然災害への適応２
第7回 住居の空間と装飾
第8回 総合討論：ヴァナキュラー建築からの学び

【学生へのメッセージ】
ヴァナキュラー建築を通じて、環境と調和する住居について考えましょう。第8回には質疑応答の時間を設けますので、みなさんの積極的な発言を期待しています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695499
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**発達科学論2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	モリグチ　ユウスケ 森口　佑介 京都大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、乳児期から児童期の子どもを対象にした発達科学の研究について紹介します。具体的には、基礎的な内容だった発達科学論１をもとに最新の研究や発展的な内容を紹介します。
【到達目標】
・子どもの空想や意識などを理解し、説明できる。
・子どもと最新のテクノロジーに関する研究を理解し、説明できる。
・子どもに関する研究が実社会の問題どう関連するかを説明できる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクションと基礎内容の振り返り
第2回 子どもの空想
第3回 子どもの意識
第4回 子どもとロボット、AI
第5回 子どもと報酬
第6回 子どもとジェンダー
第7回 将来を予測する要因
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・授業で学修した内容や参考図書などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・子どもから大人が生まれるとき（森口佑介／日本評論社／¥1,760／ISBN=9784535564190）

【その他（特記事項）】
この講義は第1学期の「発達科学論１」を発展させた内容ですが、どちらか単独の受講でも支障はありません。

科目コード	2695502
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**脳とこころの科学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アベ　ノブヒト 阿部　修士 京都大学教授
日程 実施時間	11月5日(木) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月6日(金) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
わたしたちの複雑な心理過程は脳のはたらきによって支えられています。本講義では、まず心理過程と脳の仕組みとの対応関係を探るための主要な方法論－具体的には、神経心理学や脳機能イメージングといった認知神経科学的手法－を解説します。研究手法についての理解を深めた後に、前頭葉機能や記憶、情動や意思決定といった高次の心理過程をターゲットとし、これまでに得られている基礎的な知見を中心に解説します。
【到達目標】
・人間を対象とした脳とこころの科学に関する基礎知識を習得し、主要な心理過程の神経基盤を説明できるようになる。また、認知神経科学の代表的な研究方法（神経心理学・脳機能イメージング）の原理と特徴を理解し、それぞれの長所と短所を的確に説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 認知神経科学の研究手法
第2回 前頭葉機能
第3回 記憶の神経基盤
第4回 情動の神経基盤
第5回 意思決定の神経基盤①
第6回 意思決定の神経基盤②
第7回 文化神経科学
第8回 脳の存在意義
【学生へのメッセージ】
脳とこころの関係は、科学の力で徐々に可視化できるようになっています。本講義では脳のはたらきという視点から、こころのメカニズムをより深く理解するための機会を提供したいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・意思決定の心理学　脳とこころの傾向と対策（阿部修士／講談社／¥1,650／ISBN=9784062586450）

科目コード	2689189
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ナイトウ　ミチヨ 内藤　みちよ 桂メンタルクリニック／佛教大学非常勤講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査に関する基本的知識と技法を学ぶことを目的とし、心理検査の種類、テスト・バッテリー、アセスメント、実施に関する倫理の基本を学びます。複数の心理検査の体験とその結果分析や査定を実施し、レポートにまとめることから、心理検査の実際と自分自身への理解を深める事も目指します。原則として８回の授業すべてに出席し、すべての検査についてレポートを提出してください。

【到達目標】
・心理検査法を単なる知識としてだけでなく、「検査者」や「被検査者」体験から、心理検査の実施目的と、その意義、具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
・検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：心理検査の目的と倫理
第2回 検査実習①心理測定（自尊感情、精神的回復力）
第3回 検査実習②臨床への応用（タイプA、TEG３）と実施体験
第4回 臨床心理検査の時期と場、テスト・バッテリー
第5回 臨床心理検査の実際：さまざまな臨床心理検査・投影法
第6回 検査実習③投影法（バウム・テスト）の実施体験
第7回 知能検査とアセスメントとフィードバック
第8回 心理検査における倫理・まとめ・レポート執筆指導

【学生へのメッセージ】
・心理検査の基本的理解に加え、実体験（検査者・被検者体験）を通し、自己理解と検査の意味を考えて頂けることを期待します。
・小グループでのシェア、ペアでの実施体験を随時して頂きます。

【受講前の準備学習等】
・心理検査・質問紙法の成り立ちを理解するのに必要な、統計学の基礎用語と内容（正規分布、母集団、信頼係数、妥当性係数、主因子分析、因子分析など）を、インターネット等で調べておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習をした内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
・事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２～４B鉛筆、定規、集計のための電卓、筆記用具

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2689189
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	L
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アオヤマ　タクミ 青山　巧 京都文教大学特任助教
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査に関する基本的知識と技法を学ぶことを目的とし、心理検査の種類、テストバッテリー、アセスメント、実施に関する倫理の基本を学びます。複数の心理検査の体験とその結果分析や査定を実施し、レポートにまとめることから、心理検査の実際と自分自身への理解を深めることも目指します。原則として8回の授業すべてに出席し、すべての検査について締め切り日までにレポートを提出してください。

【到達目標】
・心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
・検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：心理検査の目的と倫理
第2回 検査実習１：心理測定（自尊感情、友人関係尺度）
第3回 検査実習２：心理測定（SCIラザラス式ストレスコーピングインベントリー）
第4回 心理検査の信頼性と妥当性
第5回 検査実習３：投影法（バウム・テスト）の体験
第6回 テストバッテリーと報告時の注意点
第7回 知能検査とアセスメントとフィードバック
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
心理検査の基本的理解に加え、実際に心理検査を受ける体験を通し、自己理解と検査の意味を考えて頂けることを期待します。

【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習をした内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
・事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取組とレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、集計のための電卓（ケータイあるいはスマホアプリでも可）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・授業中に使用することはありませんが、レポート作成のためにPCやタブレットを持参しても構いません。インターネットへの接続が必要な場合は、システムWAKABA学内リンク内にある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」を参照して、無線LANの利用申請を済ませておいてください。
・レポートは指定する期日までに提出してください。提出方法や提出期日は授業の当日にお知らせします。

科目コード	2689146
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	15名
担当講師	ショウダ　ハルカ 正田　悠 京都市立芸術大学准教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における基礎的な実験を3つ行います。受講生の皆さんは、それぞれの実験に参加し、得られたデータをもとにレポートを作成します。授業を通して、心理学実験の流れ、レポートの書き方について理解できることを目指します。
すべての実験へ参加する必要がありますので､原則として8回の授業すべてに出席し､また、３つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 レポートの書き方
第3回 自由再生による記憶の系列位置効果（1）解説と実験
第4回 自由再生による記憶の系列位置効果（2）データ集計と統計分析
第5回 メンタルローテーション（1）解説と実験
第6回 メンタルローテーション（2）データ集計と統計分析
第7回 パーソナルスペース（1）解説と実験
第8回 パーソナルスペース（2）データ集計と統計分析
【学生へのメッセージ】
２人ペア、あるいは３～４人のグループでの作業やディスカッションを含む授業です。レポートの作成にはしばしばたいへんな苦労を伴いますが、なぜその結果が得られたのかを自分なりに考えながら、心理学の醍醐味・面白さを感じてもらえればと思います。
【受講前の準備学習等】
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありませんが、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣､｢心理学研究法('20)｣､｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（特にExcel）を習得されていることが望ましいです。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
ノートパソコンを持参してください。
２．OS の指定
WindowsまたはMacのノートパソコンに限ります（iPadやAndroidのタブレット端末は不可)。
３．ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
・データ処理のためExcelが必要です。
４．その他
・マウスを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
・充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためにACアダプタを必ず持参してください。
・端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
・レポートは紙媒体またはメールによる後日提出となります。紙媒体で提出する場合は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
・心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695510
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**アフリカ農村研究ータンザニア編**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	イケノ　ジュン 池野　旬 京都大学名誉教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
アフリカ農村の社会や経済を検討する方法として、現地でのフィールドワークを重視する地域研究の手法と研究成果を学習していきます。東アフリカのタンザニア北東部にある都市近郊農村を対象として、新たな農業活動、生活用水確保、土地問題を主たる事例にとりあげて、国家の開発政策に対峙するような農村地域住民の主体的な生活自衛策について紹介していきます。

【到達目標】
・2000年代から経済成長が著しいアフリカ諸国では都市農村間や地域内での経済格差が拡大しつつあり、その現状を大陸レベルで総論的に把握するだけでなく、個別の国・地域のありようを具体的に理解していくことが必要であることを認識できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 アフリカ農村への視座ーアフリカ農村をどう見ていくか
第2回 タンザニアと北東部農村に関する基礎知識
第3回 質問票を用いた農村社会経済調査の手法
第4回 生活自営のための乾季灌漑作の展開
第5回 なぜ乾季灌漑作は消滅したのか？
第6回 自主的な簡易水道建設事業の顛末
第7回 タンザニアの土地政策の変遷
第8回 これまでの講義内容のまとめ

【学生へのメッセージ】
アフリカ農村の住民は外部からの経済支援をひたすら待ちわびている人々ではなく、限られた資源・資金という制約はあれ、積極的に生活の困難に立ち向かっています。彼らの主体的な営為について学んでいきましょう。

【受講前の準備学習等】
具体的には指定はしませんが、アフリカのなかでもタンザニアに関する単行書やWebサイトを事前に閲覧して、予備知識をもって授業に臨んでください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行ないます。なお、レポートは返却します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695529
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**歴史に学ぶ経済学入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	ナガオカ　シンスケ 長岡　慎介 京都大学教授
日程 実施時間	11月10日(火) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月17日(火) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
金融危機、地球環境の悪化、格差の拡大、社会保障費の逼迫――私たちの経済は今、出口の見えない多くの深刻な課題を抱えています。長い人類の歴史は、こうした課題を克服するための様々なヒントを提供してくれます。この講義では、歴史に埋もれてしまった一見非合理的な経済のしくみや慣習をもう一度掘り出してみて、私たちの抱える課題の克服にそれらをどのように活用できるかを考えてみたいと思います。

【到達目標】
・人類の歴史的経験に学びながら、望ましい未来の経済システムを構想する力を身につけられるようになる。

【授業テーマ】
第1回 経済の歴史超入門①経済の歴史を理解するための３つのキーワード
第2回 経済の歴史超入門②様々な時代の経済システムを比べる
第3回 経済の歴史超入門③歴史から今の経済の問題を考える
第4回 歴史に学ぶ経済学①前近代世界から
第5回 前日の復習（質問感想シートへの回答、討論）
第6回 歴史に学ぶ経済学②イスラーム世界から
第7回 歴史に学ぶ経済学③世界と日本から
第8回 歴史を活かす経済学と私たちの未来

【学生へのメッセージ】
現在の常識にとらわれず柔軟な発想で地球社会の来し方行く末を考えてみたい皆さんの受講をお待ちしています。経済学初心者も歓迎します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・お金ってなんだろう？あなたと考えたいこれからの経済（長岡慎介／平凡社／¥1,540／ISBN=9784582837537）
・イスラームからお金を考える（長岡慎介／ちくまプリマー新書／¥924／ISBN=9784480685070）
その他の参考書は授業で適宜紹介します。

【その他（特記事項）】
この講義は、第1学期開講の面接授業「未来を創る経済学入門」と対をなすものです。いずれか単独の受講でも支障はありませんが、両方の授業を受講することを推奨します（受講の順番はどちらからでもかまいません）。

科目コード	2695537
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**途上国の経済発展とその課題2**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シマダ　ハルユキ 嶋田　晴行 立命館大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、日本をはじめ欧米諸国が行なってきた「援助」について考えていきます。援助とは何であるのか？、そして誰のために行われてきているのか？という一見とても基本的な問いに答えるために、その歴史や考え方の変化を日本、欧米諸国そして近年その政治・経済力から無視できない存在である中国などの例も交えて解説し、特に公的機関が行ってきた援助について皆さんと考えていきたいと思います。
【到達目標】
・援助にはどのような形態があるのか、現実の世界でどのような援助が行われその限界はどこにあるについて理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 援助とは何？そして誰のため？
第2回 日本の援助-その歴史と変化　1
第3回 日本の援助-その歴史と変化　2
第4回 日本の援助-その歴史と変化　3
第5回 欧米の援助　1
第6回 欧米の援助　2
第7回 中国の「援助」？
第8回 講義のまとめとレポート
【学生へのメッセージ】
・予備知識は求めません。ただ、現在世界（日本を含む）で起こっている出来事（政治、経済）についてニュースなどで積極的に触れるようにしてください。
・最初の授業時間に簡単なアンケートをとり、その結果をみなさんと共有します。
【受講前の準備学習等】
世界で起こっている政治、経済の動きへ日常から気を配るようにしてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具以外は特にありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・入門　開発経済学　グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション（山形辰史／中央公論新社／¥990／ISBN=9784121027436）
・地域研究へのアプローチ　グローバル・サウスから読み解く世界情勢（児玉谷史朗/佐藤章/嶋田晴行　編著／ミネルヴァ書房／¥3,300／ISBN=9784623090938）
・ルワンダ中央銀行総裁日記　増補版（服部正也／中央公論新社／¥1,056／ISBN=9784121902900）
・グローバル格差を生きる人々ー「国際協力」のディストピア（友松夕香／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004320708）

科目コード	2695545
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**華僑華人からみた東南アジア**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カタオカ　タツキ 片岡　樹 京都大学教授
日程 実施時間	10月20日(火) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月27日(火) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
東南アジア社会のひとつの大きな特徴は、多くの大都市で華僑華人と呼ばれる中国系移民が人口の大きな比率を占めており、国家レベルにおいても無視できぬプレゼンスを有していることです。彼らの東南アジアへの移住は、植民地期東南アジアにおける社会的動態に大きく関わっており、またポスト植民地期においても、華僑華人系国民への対処がそれぞれの国で国民統合上の大きな課題になってきました。本講義では華僑華人の視点から、東南アジア諸国の文化的多様性や近現代史の起伏を明らかにすることをめざします。
【到達目標】
・華僑華人を事例に、学生が現代東南アジア文化についての理解を深めつつ、東南アジアの多民族状況や近代国家形成についても新たな視角から理解の幅を広げ討論できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 東南アジアの華僑華人・その概略
第2回 東南アジアの植民地化と華僑華人
第3回 華僑華人の土着化
第4回 近代中国と東南アジア華僑華人
第5回 東南アジアの国民統合と華僑華人１：タイ
第6回 東南アジアの国民統合と華僑華人２：マレーシア
第7回 東南アジアの国民統合と華僑華人３：インドネシア
第8回 まとめ
【受講前の準備学習等】
授業中に紹介するものも含め、参考文献のいくつかに目を通しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
配付資料はこちらで用意します。筆記具は適宜ご用意ください。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・海の帝国（白石隆／中央公論新社／¥814／ISBN=9784121015518）
・中国は東アジアをどう変えるか―21世紀の新地域システム（白石隆、ハウ・カロライン／中央公論新社／ISBN=9784121021724）
古書店で入手可能な場合はおすすめです。

科目コード	2695553
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**日本のまつりと民俗芸能**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	100名
担当講師	ヤギ　トオル 八木　透 佛教大学名誉教授／佛教大学客員教授
日程 実施時間	10月21日(水) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月28日(水) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
日本の祭礼文化と民俗芸能の特質について考えます。
【到達目標】
・日本各地のまつりについて学びながら、まつりと関りのある様々な民俗芸能の特質を深く知ることによって、日本の祭礼文化と各地域の民俗芸能の持つ民俗的意味について理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本のまつりと民俗芸能の基礎
第2回 東北の民俗芸能　早池峰神楽
第3回 紀州の奇祭　新宮の御燈祭り
第4回 奥三河の花祭りと民俗芸能
第5回 京都の祇園祭と風流囃子物
第6回 京都の大念仏会と大念仏狂言
第7回 風流踊りとしての久多花笠踊り
第8回 風流踊りとしての六斎念仏
【学生へのメッセージ】
日本の祭礼文化や民俗芸能に関心がある人たちの受講を希望します。
【受講前の準備学習等】
事前に取り上げるまつりや民俗芸能について、下調べをした上で受講してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・京のまつりと祈り（八木透／昭和堂／¥1,980／ISBN=9784812215111）
・日本の民俗信仰を知るための30章（八木透／淡交社／¥1,980／ISBN=9784473043214）

科目コード	2695561
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**音楽・癒し・生活文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ババ　ユウジ 馬場　雄司 京都大学東南アジア地域研究研究所連携教授
日程 実施時間	11月13日(金) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月20日(金) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
音楽が本来持つ癒す力に注目し、アジアを中心とした音楽をとりあげ、西洋音楽だけではない、世界の様々な文化に根差した音楽の豊かさを体験します。また、音楽を音世界の中でとらえる視点を､生活の音を記録することで体験的に学びます｡更に､医療・福祉分野での自然素材の楽器の生かし方や、音がつくりだす人のつながりについても考えます。そのため、自然素材（竹など）による楽器の演奏などを実際に行い、音の豊かさが個人の身体に対する影響をもたらすだけでなく、つながりによって共感が生み出されることを体験します。
【到達目標】
・音楽を音世界の中でとらえる視点を、生活の音を記録し、サウンドマップを作成することを通して表現することができる。
・また、自然素材（竹など）による楽器の演奏や様々な打楽器の合奏を通じて、音楽によるつながりを表現することができる。
・これら音楽の豊かさに関する体験を通して、音楽のもつ癒す力について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 はじめに　音楽とは何か
第2回 人のつながりと音楽
第3回 音楽を音の世界の中で考える
第4回 自然が生み出す音楽－竹など自然素材の楽器（含む演奏体験）
第5回 サウンドスケープ（音風景）
第6回「癒しの音楽」－癒しブームの中で
第7回 医療・福祉現場における音楽
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
２日目「サウンドスケープ（音風景）」の準備として、任意の特定場所（自宅近くなど）で聞こえる音を、簡単な地図に記す（音の種類と擬音）課題があります（サウンドマップづくり)｡詳しくは１日目に説明します（特に録音の必要はありません)｡
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、上のメッセージにもあるように、２日目の授業の準備としての課題がありますので留意してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695570	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、小学校から高校までの国語教科書に掲載された定番文学教材を読み直します。かつて国語の授業で教えられた読みを思い出しながら、その読みをもう一度考え直してみたいと思います。また、国語の教材ではなく、文学作品としてそれらを捉え直したとき、かつて何が隠蔽されていたのか、そして改めて読み直した今、何が明らかになるのか、考えてみたいとも思います。 **【到達目標】** ・小学校、中学校、高等学校の国語の教科書で学んだ短編小説を文学作品として読むことで、かつての国語の授業では得られなかった情報や、教えられなかった読み方を知ることができるようになる。 ・それぞれの小説を書いた作家の人生や、国語の授業では不適当であるとして排除されてきた読み方、専門的な文学研究の立場からの解釈、文学史における位置づけなどを知ることができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 新美南吉「ごんぎつね」 第2回 太宰治「走れメロス」 第3回 中島敦「山月記」 第4回 原民喜「夏の花」 第5回 安部公房「赤い繭」 第6回 三島由紀夫「美神」 第7回 村上春樹「鏡」 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 小説を読むという当たり前の行為をもう一度考え直してみましょう。 **【受講前の準備学習等】** 扱う作品については、当日プリントを配布しますが、事前に読んでおいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	京都学習センター		
学習センターコード	26A		
クラスコード	K		
科目名	**教科書に掲載された現代短編小説**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	セザキ　ケイジ 瀬崎　圭二 同志社大学教授		
日程 実施時間	11月26日(木) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月27日(金) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	京都学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695588	**授業概要**	**【授業内容】** 国内外から多くの観光客が訪れる京都の魅力は、1000年の歴史と、その歴史の中で誕生し、受け継がれてきた多様な文化にあります。この講義では、そのような京都の文化の一部を取り上げ、それらの歴史的な背景を考えていきます。今の京都がどのようにできたのか、過去の京都から学びます。 **【到達目標】** ・京都の歴史や文化について深く理解し、その背景について説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 京都の歴史と文化概観－京都のイメージ－ 第2回「洛中・洛外」－京都の範囲－ 第3回 京都の食文化史 第4回「名所図会」－観光地としての京都の誕生－ 第5回 京都の年中行事 第6回 京都の祭礼の諸相 第7回 洛中小社が体験した神仏分離と再興 第8回 まとめと振り返り **【学生へのメッセージ】** この講義を通して、身近な事象の歴史にも興味を持ってください。 **【受講前の準備学習等】** 事前に京都の伝統行事や伝統文化について文献やwebなどで調べ、受講生各自の京都に対する興味関心を整理しておいてください。また京都の観光の変遷や直面している問題について、報道記事などから情報を収集しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	京都学習センター		
学習センターコード	26A		
クラスコード	K		
科目名	**京都の歴史と文化**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ムラヤマ　コウタロウ 村山　弘太郎 京都外国語大学教授		
日程 実施時間	12月25日(金) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	京都学習センター		**【教科書】** 教科書は使用しません。 **【その他（特記事項）】** ・パソコンやタブレット、スマートフォン等を使用してレポートを作成することを可としますが、授業中は講義に集中してください。 ・レポートの提出方法は授業の当日にお知らせします。 ・インターネットへの接続が必要な場合は、システムWAKABA学内リンク内にある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」を参照して、無線LANの利用申請を済ませておいてください。

科目コード	2695596
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**書誌学入門**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ババ　ユキエ 馬場　幸栄 国際日本文化研究センター／人間文化研究創発センター特任准教授
日程 実施時間	2027年1月15日(金) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 2027年1月16日(土) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
書誌学とは、「書物についての学問」です。本授業では、特に書物の物質的側面に注目しながら、19世紀以前の洋書（洋装本）・和本（和装本）の素材と構造について、講義と実習のふたつのアプローチから学びます。歴史的な書物の素材や構造に関する知識を身につけることで、古書や貴重書の世界に親しみ、モノとしての書物についての理解を深めましょう。また、人類の文化的遺産として書物を後世の人々に伝えるために、それらをどのように保存・活用したらよいのかも考えましょう。司書、アーキビスト、学芸員を目指す方や、「本が好き」という方の参加を歓迎します。基礎から学習しますので、予備知識は不要です。
【到達目標】
・歴史的な書物の素材や構造を理解できるようになる。
・歴史的な書物の適切な管理方法について理解を深める。
・基礎的な書誌学用語を理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 書物の素材：粘土板から現代の書物まで
第2回 洋書（洋装本）の製作工程と構造
第3回 実習：羽根ペンと没食子インク
第4回 実習：中世写本の彩色と金箔
第5回 和本（和装本）の形態的分類
第6回 江戸後期における和本（和装本）の製作工程と構造
第7回 実習：巻子本（絵巻物）と冊子本（和綴じ）
第8回 実習：書物の修復
【学生へのメッセージ】
実習がありますので、動きやすく、汚れても構わない服装でご参加ください。
【受講前の準備学習等】
京都には古書店や市民が利用できる大学図書館が多数あります。古書店や大学図書館を訪れて、1900年以前に作られた書物を観察してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具とノートを用意してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・本授業には、青羽古書店の羽田孝之さんと、書物の修復・デジタル化を行っている株式会社大入の谷口良さんがTAとして参加します。
・羊皮紙、鳥の羽、樫の木の虫コブ、小麦粉の糊、金属製の道具を使います。これらに対してアレルギーがある方は必ず事前にお知らせください。また、アレルギー対策としてマスクや手袋などの防護具が必要な方はそれらをご用意ください。
※「学生教育研究災害傷害保険」（在学中6年間100円）と「学生教育研究賠償責任保険」（1年間340円）の加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、「面接授業開設科目一覧」をご覧ください。

科目コード	2695600
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**ゲーム理論で読み解く社会と進化**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	オオニシ　ヒトシ 大西　仁 放送大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちは常に意思決定を行う必要に迫られますが、その結果は他者の行動にも左右されることがあります。ゲーム理論とは、このような状況での意思決定を数理的に分析する手法です。元々は経済行動の説明のための方法でしたが、政治、対人行動、生物進化等の分析に利用され、さらには人工知能やシステム制御にも応用されています。この授業では、ヒトやヒト以外の生物の様々な行動をゲーム理論で読み解くことにより、ゲーム理論的な思考法の習得を目指します。
【到達目標】
・ナッシュ均衡、進化的に安定な戦略などのゲームの解を求めることができる。
・社会現象をゲームとしてモデル化できる。
【授業テーマ】
第1回 ゲーム理論とは
第2回 ナッシュ均衡で人間社会を読み解く
第3回 期待効用理論と混合戦略
第4回 展開形ゲーム協調の創発
第5回 進化ゲーム
第6回 性比、最適資源投資
第7回 進化ゲームで人間社会を読み解く
第8回 諸々の話題
【学生へのメッセージ】
ゲーム理論は一見不可思議な行動を単純なモデルで鮮やかに説明する魅力的な学問です。楽しみながらゲーム理論的な思考法を身につけましょう。
【受講前の準備学習等】
Webサイトhttps://info.ouj.ac.jp/~maps17/Schooling/ に予習用教材や参考資料の案内がありますので、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・図解雑学　ゲーム理論（渡辺隆裕／ナツメ社／¥495）
Amazon KindleASIN: B00GWZ34PU

科目コード	2695618
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**気候変動と日本や海外の自然**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミズノ　カズハル 水野　一晴 京都大学名誉教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	京都学習センター

授業概要

【授業内容】
気候変動が自然や人間社会、文化、歴史にどのような影響を与えてきたかについて、ポリネシアとナミブ砂漠を例にして理解を深めます。京都周辺の地形について理解を深めます。住宅はどのような地形が安全で、どのような地形が災害に遭いやすいかを理解します。インドと中国の国境紛争地域であるアルナーチャル・プラデーシュのモンパ民族地域における、ヒマラヤの自然とチベット仏教や自然崇拝について理解を深めます。

【到達目標】
・日本や世界の気候変動と自然の変化、その自然と社会の関係を理解できるようになる。地図帳の見方を習得し、地図帳から世界や日本の情報が得られるようになる。
・世界の興味深い事象を理解できるようになる。
・世界の様々な問題に主体的に取り組むことができる。

【授業テーマ】
第1回 なぜ、ポリネシアの島々は遠く離れているのに言葉が似ているのか？
第2回 アフリカのナミブ砂漠の自然環境
第3回 ナミブ砂漠の自然環境と動・植物の関係
第4回 ナミブ砂漠の自然環境と住民生活の関係
第5回 京都周辺の地形と自然
第6回 京都周辺の地形と災害
第7回 インド、アルナーチャル・ヒマラヤの自然とチベット仏教・自然崇拝
第8回 インド、アルナーチャル・ヒマラヤにおける住民生活

【学生へのメッセージ】
・授業時に地図帳（学生時代使用した古い地図帳でも可）を必ず持参願います。
・初日に配布したプリントは翌日も持参願います。

【受講前の準備学習等】
・地図帳でアフリカのナミブ砂漠やポリネシア、アルナーチャル・プラデーシュ（インドと中国の国境紛争地域）などの位置を把握しておいてください。
・地図帳に載っている「世界の気候区と海流」、「世界の気温と降水量」、「世界の気圧と風向」の図をよく見ておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

事後学習
・授業中に配布したプリントで復習してください。
・授業で学習した内容の復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
帝国書院編集部編『新詳高等地図』（帝国書院、ISBN=978-4807167999、1760円）
学生時代に使用した地図帳（帝国書院、二宮書店、東京書籍）で、「世界の気候区と海流」、「世界の気温と降水量」、「世界の気圧と風向」の図が掲載されているものでも可。昭文社や平凡社など地図しか載っていない地図帳は不可。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『世界がわかる地理学入門－気候・地形・動植物と人間生活－』（水野一晴／ちくま新書、筑摩書房／¥1,210／ISBN=9784480071255）
・『カラー増補改訂版 自然のしくみがわかる地理学入門』（水野一晴／ベレ出版／¥2,090／ISBN=9784860647995）
文庫版は、角川ソフィア文庫（ISBN=9784044006471、￥980）
・『世界と日本の地理の謎を解く』（水野一晴／PHP新書、PHP研究所／¥1,045／ISBN=9784569849485）
・『京大地理学者、なにを調べに辺境へ？』－世界の自然・文化の謎に迫る「実録・フィールドワーク」－（水野一晴／ベレ出版／¥1,870／ISBN=9784860647636）
・『神秘の大地、アルナチャルーアッサム・ヒマラヤの自然とチベット人の社会－』（水野一晴／昭和堂／¥3,740／ISBN=9784812211731）
英語版は、Mizuno, K. & Tenpa, L. 著『 Himalayan Nature and Tibetan Buddhist Culture in Arunachal Pradesh, India: A Study of Monpa』, Springer, ISBN=9784431554912 ※日本語版は現在新品は入手しにくい状況です。古書店でお探しになるか図書館の蔵書検索を利用してください。

科目コード	2695626
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**里山は今も里山なのか？**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	15名
担当講師	トクチ　ナオコ 徳地　直子 京都大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	この授業は、【★京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地】で行います。

授業概要

【授業内容】
里山は人が入りやすい自然でもあり、さまざまな文化や生活の工夫が重ねられた場所です。また、このような人の利用により里山には多様な生息場所が提供され生物多様性が高いと言われていますが、人の利用が減少した現在、それらが失われつつあることが指摘されています。このセミナーでは以前の里山の利用と歴史を学び、里山の再生の試みについて視察します。その上で生態系の保全と賢明な利用による持続可能な暮らしについて考え、新しい方法での里山の利活用を進めることを目指します。

【到達目標】
・里山とは何かを知り、これからの人と森林の関係について考えることができるようになる。
・近畿地方の里山の代表的な植物を識別できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 これまで私たちは里山でどのような活動を行ってきたのか、里山の歴史を学びます。
第2回 里山で行われてきた炭焼や手入について、フィールドで視察します。
第3回 人の利用によって生じた多様な生息地に生きる里山の植物について知り、識別方法を身に付けます。
第4回 実際に里山にはいり、学んだ植物の識別方法を用いて、植物の識別を行います。
第5回 森林の概況を知るための調査の方法を学びます。
第6回 実際に里山にはいり、里山の森林の構造や特性を学びます。
第7回 森林調査を行います。
第8回 講義、実習を通じて学習したことをまとめます。

【学生へのメッセージ】
フィールドでの調査の方法や、その実践を通じて、森とのつきあい方を考えます。体力に自信のない方も問題ない活動ですので、興味のある方は心配せずに参加してください。

【受講前の準備学習等】
里山のアンダーユースにより生物多様性が損なわれていると言われています。私たちにできることを考えてきてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
山を登れる動きやすい服装（長袖・長ズボン・帽子）・お弁当・水筒・筆記用具・虫除け（あれば）・雨具。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・大学の森 が見た森と里の再生学（石原正恵・赤石大輔・徳地直子／京都大学学術出版会／¥3,960／ISBN=9784814005048）
芦生研究林での研究者が里のひとたちと取り組んだ森の再生の記録です。参考にしてください。
・里山をまなぶ（舘野隆之輔・赤石大輔・田中拓弥／京都大学学術出版会／）
9月刊行予定、価格未定。里山の歴史や生態について各方面から学ぶことができます。

【その他（特記事項）】
・上賀茂試験地（京都市北区上賀茂本山２）にて授業を行います。両日とも上賀茂試験地集合・解散。
・上賀茂試験地には駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。交通費は個人負担となります。
・天候や交通事情により、授業内容や時間割が変更になる場合があります。
・森林に入って実習を行います。以前に蜂に刺されたことのある方、蜂毒アレルギーなどが疑われる方は事前に医院で検査をしておいてください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、「面接授業開設科目一覧」をご覧ください。

科目コード	2695634
学習センター	京都学習センター
学習センターコード	26A
クラスコード	K
科目名	**森里海連環学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヨシオカ　タカヒト 吉岡　崇仁 京都大学フィールド科学教育研究センター特任教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	この授業は、【★京都大学フィールド科学教育研究センター上賀茂試験地】で行います。

授業概要

【授業内容】
森と海は川によってつながり、森と海の間には人びとの住む里があります。京都大学フィールド科学教育研究センターが提唱している森里海連環学では、これらの間のつながりを研究対象としています。自然と人とのつながりや連環の様相は、人それぞれで違って見えているかもしれません。その違いは、何に由来するのでしょうか。生物や物質の連環といった自然科学的な情報と、環境の機能や価値といった人文社会学的な情報の融合の観点から考察します。また、上賀茂試験地にて樹木識別と里山の景観についての実習も行います。

【到達目標】
森里海の連環について、環境の機能と価値の観点から考察します。これにより、森・里・川・海のつながりの重要性を理解でき、自分と自然環境との相互作用のあり方を考えることができます。また、樹木の識別・同定実習を通して、葉や枝の植物学的特徴を理解することにより、自分と自然との身近さを実感できるようになります。

【授業テーマ】
第1回 上賀茂試験地について
第2回 樹木識別実習
第3回 森里海連環学の形
第4回 森と海の連環
第5回 環境の機能、生態系サービス
第6回 環境の価値
第7回 環境の質と環境意識
第8回 森里海連環学に関する総合討論

【学生へのメッセージ】
京都大学フィールド科学教育研究センターの上賀茂試験地において、樹木実習や森林調査の野外実習により森林環境を実体感しながら、森里海連環学の概要を学びます。

【受講前の準備学習等】
実習内容については、特段の準備は必要ではありませんが、全8回の授業テーマから判断して、参考書としてあげている文献などを参考にしながら、関連する事項に関して、自己学習しておいてください。また、京都大学フィールド科学教育研究センターHP（https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/cohho_study）にある「森里海連環学入門」を是非お読みください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・森林に入っての実習がありますので、動きやすい服装でおいで下さい。長袖・長ズボンが望ましいです。
・持ち物としては、筆記用具、歩きやすい靴、汗拭き用のタオル、軍手（手袋）、天候により雨具（上・下セパレートタイプの物）、水筒（ペットボトル飲料可）、昼食。なお、軍手、長靴は、上賀茂試験地にて貸し出すことができます。
・試験地内での実習の際には、ヘルメットを貸し出しますので、常に着用してください。
・熱中症防止のため、水分と塩分の補給には十分ご留意ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・環境意識調査法　ー環境シナリオと人々の選好ー（吉岡崇仁編、総合地球環境学研究所環境意識プロジェクト監修／勁草書房／¥2,420／ISBN=9784326503261）
・森里海連環学　森から海までの統合的管理を目指して（改訂増補版）（京都大学フィールド科学教育研究センター編、山下洋監修／京都大学学術出版会／¥3,080／ISBN=9784876985814）
・森と海をむすぶ川　沿岸域再生のために（京都大学フィールド科学教育研究センター編、向井宏監修／京都大学学術出版会／¥3,080／ISBN=9784876985753）

【その他（特記事項）】
・この面接授業は、２日間ともに京都大学フィールド科学教育研究センターの上賀茂試験地（京都市北区上賀茂本山２）にて実施します。
・試験地には、公共交通機関を利用して集合してください。交通費は自己負担となります。
・天候や交通事情などにより、授業内容や時間割が変更になることがあります。
・以前に蜂に刺されたり、蜂毒アレルギーが疑われる方は、事前に医院等で検査をしてください。
※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、「面接授業開設科目一覧」をご覧ください。

科目コード	2689014
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**新・初歩からのパソコン**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	15名
担当講師	カジワラ　クリコ 梶原　久梨子 大阪大学特任助教
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月20日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWifiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。

【到達目標】
パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
第2回 文書作成とPDF保存
第3回 Webとメールの活用
第4回 セキュリティ
第5回 システムWAKABA・自己学習サイト
第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス
第7回 オンライン授業の実践
第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）

【学生へのメッセージ】
基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】
「学生生活の栞」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。

【受講者が当日用意するもの】
1．USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）
2．学生証
※授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ち下さい。

【教科書】
・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　授業当日に配付します。

【参考書】
・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0）
　PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2695642
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**発音を楽しむ中国語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	40名
担当講師	リュウ　ヒョウ 劉　驫 大阪大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 10月25日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では中国語初学者を対象に、声調、母音、子音などの発音を段階的に学び、反復練習を通して正確な発音を身につける。また、初歩的な表現を発話することで発音の定着を図る。

【到達目標】
中国語のピンインを正しく読み、聞き分けることができるようになる。また、簡単な挨拶や自己紹介など、初歩的な表現を正確に発音できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 中国語の声調（第１声～第４声、軽声）
第2回 中国語の母音（単母音、複母音）
第3回 中国語の子音（唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、舌歯音、そり舌音）
第4回 中国語の鼻音と声調変化
第5回 基本的な構文（１）動詞述語文、“是”構文など
第6回 基本的な構文（２）形容詞述語文、簡単なあいさつ・日常表現
第7回 中国語で自己紹介（作文と発表）
第8回 授業内容の振り返り

【学生へのメッセージ】
本授業では自然な発音の習得を主要な目標としているため、リスニングと発音の練習を多く行います。また、すでに基礎が身についている方も、改めて基礎から見直し、より自然な発音を目指していきましょう。

【受講前の準備学習等】
【事前学習】シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください（大阪大学「中国語発音の基礎」http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/flit/public/zh/p_kiso/data/0101.html および東京外国語大学言語モジュールhttps://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/zh/ を活用してください。）
【事後学習】授業中に配布した資料を利用して復習してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具および紙のノートをご用意ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『基礎から発展まで よくわかる中国語文法』（丸尾誠／アスク出版／¥2,090／ISBN=9784872177541）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695650
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**英語初級２**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	40名
担当講師	スズキ　ダイスケ 鈴木　大介 大阪大学准教授
日程 実施時間	11月12日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月19日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、様々なジャンルの英語に親しむと同時に英語表現や語彙・文法を学びます。その際、特に「スペルと音の関係」に着目した観点から英単語に対する洞察を深めます。
具体的に、前半では洋楽の中で使われている英語表現に対して、なぜこのような表現が用いられているのか等の問題意識を持って考察および議論を行います。
後半では英語の単語がなぜこのようなスペルになっているのか、音とどのように関係しているのかという点に焦点を絞ります。多くの具体例から深く考察を行い、英語の不思議さと面白さについて議論を行います。
【到達目標】
・英語のスペルと音の関係について理解し、その特徴を説明することができる。
・新たな単語に出会ったときにその読み方を推測することができる。
・洋楽の（言語的な）性質を理解し、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 Introduction／洋楽
第2回 スペルと音の密接な関係／洋楽
第3回 スペルと音の基本的な関係①／洋楽
第4回 スペルと音の基本的な関係②／洋楽
第5回 スペルと音の不規則な関係①／洋楽
第6回 スペルと音の不規則な関係②／洋楽
第7回 スペルと音の多様な関係①／洋楽
第8回 スペルと音の多様な関係②／洋楽
【学生へのメッセージ】
・言葉の不思議さ、法則の存在、伝達のための役割等、身近なトピックを扱います。
・なぜこの言葉あるいはスペルを使うのか等、言葉についての素朴な疑問について議論することができたらと思います。
・学生自ら主体的に取り組んでもらえたらと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
発言やペア・グループワーク等を含めた授業への取り組みや、課題および提出物の内容から総合的に判断して評価を行います。

【受講者が当日用意するもの】
電子辞書やオンライン辞書など媒体は問いませんが、辞書が使えたら便利です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695669
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**英語初級： 日常からの一歩**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	40名
担当講師	サトウチ　カツミ 里内　克巳 大阪大学大学院・教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月22日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちが何気なく使っている日本語のなかには、とても多くの英語が入り込んでいます。街で目にする光景のなかで、また映画やTVなどのメディアを通して、英語に知らず知らずのうちに触れています。この授業では、そのように生活のなかで接する英語について見直す作業と共に、自然な発音・発声の仕方や、簡単な口語表現・文法を学習していきます。「ことば」を学ぶことの意味を再確認していただく機会になれば幸いです。
【到達目標】
・日本語のなかに含まれている「英語」について理解し、その意味や用法について説明することができる。
・英語の発音や文法に基づいて、簡単な英文の意味を理解し、口に出して読むことができる。
・日常的に接するメディアを利用した英語学習の方法について説明できる。
【授業テーマ】
第1回 英語の発音の基礎
第2回 日本語のなかの英語
第3回 英語の歌と詩
第4回 英単語の語源と構成要素
第5回 英語のことわざ・格言
第6回 メディアで学ぶ英語
第7回 映画のなかの英語
第8回 授業の振り返り
【学生へのメッセージ】
英語の辞書（紙媒体または電子辞書）を必ず用意してきてください。また、受講生の反応を見ながら、作業の時間や種類を調節していきますので、１～７回の授業テーマを１～７時間目までに行いますが、順番および内容が変更になる場合もあります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞典（紙媒体または電子辞書）、筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695677
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**フランス語初級：会話の練習**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	40名
担当講師	バルカ　コランタン（バルカ　コランタン） 大阪大学講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月20日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、まずフランス語の発音の基礎を学びます。発音する文字と発音しない文字、そして2～3文字で1つの音になる頻出の組み合わせを中心に学習します。また、日本人学習者にとって区別しにくい音についても、簡単な指導を行います。その後、基礎的な文法と語彙を用いた会話練習を行います。まず、モデルとなる3つの会話を読んで内容を理解し、ペアで音読練習をします。次に、似たような会話を自分たちで作成し、発音の練習を行います。最終的には、原稿を見ずに作成した会話を言えるようになることを目標に練習します。

【到達目標】
フランス語の文章を、発音する文字と発音しない文字、また頻出する文字の組み合わせを意識しながら、ある程度正しく読み上げることができるようになる。
フランス語で簡単な会話を作成できるようになる。
フランス語の文章を見ずに、簡単な会話ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 発音の規則・会話1（Ca s'écrit comment ?）
第2回 発音の規則・会話2（Comment on dit... ?）・
　　会話3（Qu'est-ce que tu fais dans la vie ?）
第3回 発音の規則・会話4（Moi, je suis vendeur.）・
　　会話5（Pour une femme, on dit "anglaise".）
第4回 発音の規則・会話6（C'est qui à gauche ?）・
　　会話7（C'est à qui ?）
第5回 発音の規則・会話8（Est-ce que tu aimes...?）・
　　会話9（Au café）
第6回 発音の規則・会話10（J'ai fait la fête avec des amis.）・
　　会話11（Commander）
第7回 発音の規則・会話12（Je suis allé au cinéma avec ma soeur.）・
　　会話13（Il faut descendre à quel arrêt ?）
第8回 全体の復習

【受講前の準備学習等】
フランス語のごく簡単な挨拶や自己紹介を事前に調べ、発音も聞いておいてください。フランス語のアルファベットもあらかじめ学んでおくと、よりスムーズに授業を進めることができます。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2695685
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**健康づくりのための運動生理学**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	120
定員	70名
担当講師	高木　俊（タカギ　シュン） びわこ学院大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月1日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
運動が生涯を通じた健康づくりに役立つ一方で、誤った健康関連情報も蔓延しています。そのため、身体のしくみを理解した上で、健康づくりのための運動を科学的に捉えることが重要です。本講義では、健康関連体力や体型に着目し、運動生理学的視点から身体適応や効率的な実施方法について研究知見に基づき解説します。また、スポーツ活動に限定しない身体活動と健康づくりの関係や運動を実施していく上で留意すべきスポーツ障害（内科系）に関しても併せて解説し、生涯にわたり運動を継続していくために必要な知見を提供します。

【到達目標】
・健康関連体力及び体型と健康づくりの関連について説明できる。
・健康関連体力の規定要因やそれに基づく効率的な改善方法について運動生理学的視点から説明できる。
・科学的根拠に基づく体型づくりの方法を説明できる。
・スポーツ活動に限定しない身体活動の重要性を説明できる。

【授業テーマ】
第1回 体力と健康づくり（概要）と運動トレーニングの原理原則
第2回 全身持久力と健康
第3回 筋力と健康
第4回 体型づくりと健康（体重維持と減量）
第5回 体型づくりと健康（筋量の維持増加のための栄養摂取）
第6回 身体活動と健康
第7回 スポーツ障害（内科）と健康
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
講義は基本的な医学・生理学の内容も含め、初学者にも分かりやすいように行います。一部、専門用語が含まれるため、難解に感じる場合もあるかと思いますが、言葉の暗記よりも内容の理解に努めてください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。

科目コード	2695693
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**健康のための スポーツ科学**
科目区分	基盤科目：保健体育
ナンバリング	120
定員	80名
担当講師	シマモト　ヒデキ 島本　英樹 大阪大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月29日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
移動手段の簡便化、日常生活の機械化・省力化によって、便利になり過ぎた現在では、身体活動レベルの低下が生活習慣病の一因となっているのは明らかです。生涯にわたって健康であるためには、日常における適切な身体活動は重要です。本講義では、健康的なライフスタイルを獲得するのに必要なスポーツ科学についての知識を身につけます。
【到達目標】
日常での適切な身体活動の役割を知るため、それに関連する専門語句を理解し、運動習慣を効率的に取り入れることができる。
【授業テーマ】
第1回 日本人のライフスタイル　1
第2回 日本人のライフスタイル　2
第3回 肥満とは？
第4回 ヒトの骨格筋
第5回 運動時の体温調節
第6回 運動処方の実際　1
第7回 運動処方の実際　2
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
競技スポーツよりも、主に健康のために必要なスポーツ科学に関する講義です。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。

科目コード	2695707
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**災害ボランティアの集団力学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	アツミ　トモヒデ 渥美　公秀 大阪大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月8日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
ボランティア元年と呼ばれた阪神・淡路大震災以来、30年にわたる災害ボランティア活動の現場研究を通して、災害救援、復興支援、地域防災に関わる災害ボランティアとそれを取り巻く社会の状況について、集団力学（グループ・ダイナミックス）の観点から理解します。
【到達目標】
「よい理論ほど実践的なものはない」という集団力学（グループ・ダイナミックス）の基本姿勢を理解することによって、現場での実践こそ意味があると思われがちな災害ボランティア活動について、その理論的な意味や社会的意義を議論し、次の実践へと展望を拓くことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 授業の概要と到達点、および、災害ボランティアの30年の流れ
第2回 災害ボランティアの事例と問題点
第3回 グループ・ダイナミックスの理論と実践（1） 位置づけ、メタ理論、理論
第4回 グループ・ダイナミックスの理論と実践（2） 方法、成果、実践
第5回 災害救援における災害ボランティア
第6回 復興支援における災害ボランティア
第7回 地域防災における災害ボランティア
第8回 総括　災害ボランティアの可能性
【学生へのメッセージ】
災害ボランティア活動に参加した経験の有無については問いません。参加にあたり配慮の必要な方々は、遠慮なくお申し付けください。
【受講前の準備学習等】
身近に感じる自然災害を1つ採り上げて、災害ボランティアにも注目して、インターネット等で調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは、『日本で発生した自然災害を1つ採り上げ、災害ボランティアの活動に注目し、授業で修得したグループ・ダイナミックスの考え方を用いて、論評してください』です。

【教科書】
・災害ボランティアー新しい社会へのグループ・ダイナミックス（渥美公秀／弘文堂／¥1,980／ISBN=9784335551628）
【参考書】
・東日本大震災と災害ボランティアー岩手県野田村　復興への道（渥美公秀・貫牛利一／大阪大学出版会／¥2,420／ISBN=9784872596434）
　災害救援から復興支援へ
・集落＜復興＞ー中越地震と限界集落の物語（渥美公秀・関嘉寛・山口洋典／大阪大学出版会／¥2,750／ISBN=9784872598049）
　災害復興
・誰もが＜助かる＞社会ーまちづくりに織り込む防災・減災（渥美公秀・石塚裕子／新曜社／¥1,980／ISBN=9784788517127）
　地域防災

【その他（特記事項）】
授業中にパワーポイントで多くの写真を提示します。それを撮影してSNS等で流すことは禁止します。

科目コード	2695715
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**人生100年時代：老年医学入門**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	タケヤ　ヤスシ 竹屋　泰 大阪大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月13日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
ヒトが老化し死に至る過程を概説し、それに対する最新の老年医療の考え方について述べます。
【到達目標】
高齢者における現在の医学的問題についての知識を習得し、高齢者の健康管理や疾病予防について適切に判断できる。
【授業テーマ】
第1回 高齢者の複雑性
第2回 高齢者と薬～ポリファーマシー～
第3回 身体の老化～フレイル～
第4回 脳の老化～認知症～
第5回 健康寿命の延伸
第6回 老化生物学
第7回 人生の最終段階
第8回 地域包括ケアシステムと2日間のまとめ
【学生へのメッセージ】
老年医学の課題と挑戦について、わかりやすく解説します。高齢者医療に対して関心のある方の参加を希望します。
【受講前の準備学習等】
高校生物程度の理解が望ましいですが、講義の理解に特別な条件などはありません。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	エンドウ　ノブタカ 遠藤　信貴 近畿大学准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月18日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究を2つ（記憶範囲、メンタルローテーション）取り上げます。受講生は、それらの実験に実験者および参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は、原則８コマの授業すべてに出席し、２つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
心理学における実験の意義、および心理学実験を経験することを通して、問題設定、仮説の導出、方法、データ収集、結果の整理、考察に至るまでの過程を理解できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な
形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 レポートの書き方
第3回 実験1「記憶範囲」の説明と実施
第4回 実験1「記憶範囲」の解説とデータ整理
第5回 統計的分析とデータの解釈
第6回 実験2「メンタルローテーション」の説明と実施
第7回 実験2「メンタルローテーション」の解説とデータ整理
第8回 レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
実験の実施、データ整理、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel等）は習得されていると望ましいです。また、心理学研究法や心理統計の基礎を学んでいると理解が深まると思います。
【受講前の準備学習等】
パソコンの動作確認は事前に必ず済ませておいてください。授業ではインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありませんが、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと実験レポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（スマートフォン、タブレットPC、Chrome Bookは除く）。
２．OSの指定
WindowsかmacOSのどちらでも構いません。
３．ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、MozillaFirefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
・Wordが必要です。
・Excelが必要です。
４．その他
・マウスを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありませんが、WordとExcelはOfficeオンラインでは機能制限があるため、インストール版を強く推奨します。
・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１・心理学実験２・心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査は、われわれの環境に対する様々な対処の方法を、様々な方法を用いて知る手段です。今回の授業では、S-H式レジリエンス検査、バウムテスト、ビッグファイブ尺度、内的作業モデル尺度を用い、「個人のうちに潜む様々な傾向」を検出する手がかりをみつけ、自己および他者の特性の理解を深めます。なお、原則として８回すべての授業に出席し、すべての検査実習についてレポートの提出を求めます。 **【到達目標】** ・心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 ・検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査法について - 総論 第2回 S-H式レジリエンス検査について 第3回 ビッグファイブ尺度について 第4回 テストバッテリーと心理検査における倫理について 第5回 内的作業モデル尺度について 第6回 内的作業モデル尺度ーグループディスカッションー 第7回 バウムテストについて 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 心理検査は心理学を学ぶ学生の最も興味のある分野の一つであると思います。これを機会に、自分がどのような特性を持っているのか、心理検査を手がかりにして知ってみましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 特に、心理検査法に関する書籍、バウムテスト、レジリエンスに関する書籍を読んでおいてください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 履修状況およびレポートによって評価します。レポートでは、４つの心理検査全ての考察が求められます。 レポートの提出期限は、原則として第8回目の授業終了までとします。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	50名		
担当講師	リン　ヘイヘイ 林　萍萍 大阪商業大学助教		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月18日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		
実施会場	大阪学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 電卓、定規、黒鉛筆、A4の画用紙１枚 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヤマサキ　テルオ 山崎　晃男 大阪樟蔭女子大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月25日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、心理学の基礎的な実験を３種類行います。みなさんは、それらに実験者、または被験者として参加し、実験を行なうとともに、その理論的背景を学びます。さらに目的、方法、結果と考察を、１レポートにまとめます。学生のみなさんは３種類の実験全てに参加し、３本のレポートにまとめ、提出しなければなりませんので、原則として８回の授業全部に参加する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で
重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の概要
第2回 心理学実験レポートの書き方
第3回 要求水準（１）実験の説明と実施
第4回 要求水準（２）結果の集計・分析と解説
第5回 メンタルローテーション（１）実験の説明と実施
第6回 メンタルローテーション（２）結果の集計・分析と解説
第7回 自由再生による記憶の系列位置効果（１）実験の説明と実施
第8回 自由再生による記憶の系列位置効果（２）結果の集計・分析と解説
【学生へのメッセージ】
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等に、パソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word, Excel等）は習得されていることを望みます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容を参考にして、事前の自己学習に努めてください。学習すべき内容としては、たとえば
・心理学研究法
・心理学実験法
・実験データの解析法
・実験レポートの書き方
などがあげられます。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は授業内で実施する実習課題への主体体取り組みとレポートの評点により行います。レポートはGoogle Classroomの課題提出機能を使って提出してもらいます。作成にパソコン等でのワープロを使用することは構いませんし、推奨します。どうしてもワープロ等の作業が困難な人は手書き等で作成することを禁ずるものではありませんが、最終的には電子的な形態へ変換して提出することになります。その電子化の方法については自己責任でお願いします。レポートの最終提出形態については各自で可読性があることを確認の上提出して下さい。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
・ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
・種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
・Wordが必要です。
・Excelが必要です。
４．その他
・マウスの使用を推奨します。
・ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695723	**授業概要**	**【授業内容】** 心理学は人の心という外部からは観察のしにくい働きをとらえる学問として始まり、20世紀以降は自然科学的な実証可能性を追求して心の働きの結果として外部に出る行動を基盤に客観性の高いデータに基づいた科学へと展開していきます。この授業では行動科学としての心理学の視点を概観し、さらに後半では聴覚という題材を軸に行動とは考えにくい、感覚・知覚現象について分かってきた近年の知見を紹介します。これを通じて、データに基づく「心」の働きの解明への視点がどういうものかを伝えます。 **【到達目標】** 行動や生理データの数量化による手法の有効性と限界を説明することができるようになる。 聴覚が何をとらえるために存在するのか、さらにその目的を遂げるために、ヒトの聴覚系には備わる巧みな仕組みの概観を、基底膜による周波数分解、聴神経の位相固定発火による周期情報の伝達を中心に説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学はなぜ行動科学になっていったか 第2回 客観性を担保するための数量化。 第3回 感覚・知覚を扱うための心理物理学的測定法。 第4回 聞いて知ることのできる世界と聴覚情景分析における周波数の重要性。 第5回 聴覚と視覚の対比。 第6回 周波数はどうやってわかる？（基底膜の共鳴による符号化） 第7回 周波数はどうやってわかる？（神経発火の位相固定性） 第8回 聴覚系での周波数情報の伝え方を解説する **【学生へのメッセージ】** 心理学を行動科学として実践するという方針には未だに批判もあります。しかし、このような視点が導入されて以降、人間の行動に関与する様々な要因を情報処理過程としてとらえらるようになっています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。音響学講座5「聴覚」（古川編著、コロナ社、2021）の第1章「聴覚系の生理学・解剖学」からの内容を講義第１日目に配布するので、それを第2日前に読んで、聴覚系の生理学についての概要を事前知識として予習しておいてください。余裕がある場合は、上記書籍の第2章「周波数分析機能」、第6章「ピッチ」についても読んでおくとさらに良い。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学概論～聴知覚～**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	70名		
担当講師	ツザキ　ミノル 津崎　実 京都市立芸術大学名誉教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月25日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		
実施会場	大阪学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 授業資料は授業時に紙で配布します。メモがとれるような余白を設けておりますので、筆記具を持参してください。 **【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。 **【参考書】** ・音響学講座5（古川茂人編著／コロナ社／¥4,950／ISBN=9784339013658） ・心理学　第5版補訂版（鹿取 廣人（編）／東京大学出版会／¥2,640／ISBN=9784130121170）

科目コード	2689120
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ウエハラ　ヨリコ 上原　依子 放送大学非常勤講師
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月1日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、心理学の実験的研究として「ミュラー・リヤー錯視」「仮現運動」を扱います。
全体の学習の流れとしては、他の心理学研究法と比較した実験法の特徴（メリット・デメリット）や注意点等、基礎知識について解説した上で、各実験テーマごとに、実験実施・実験内容の解説・統計分析・レポートの書き方等、一つ一つ演習と解説を繰り返す形で実施します。
なお、原則として8回の授業すべてに出席し、期日までにすべての実験レポートを提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学研究法における実験法の特徴、注意点
第2回 実験1「ミュラー・リヤー錯視」 実施・解説
第3回 実験1　結果の整理と分析
第4回 統計の基礎知識、レポートの書き方
第5回 実験2「仮現運動」 実施・解説
第6回 実験2　結果の整理と分析
第7回 統計の基礎知識、レポートの書き方
第8回 実験計画等、まとめ
【学生へのメッセージ】
受講前の準備をよく読み、PCの更新等は必ず事前に行っておいてください。
また、苦手意識があっても大丈夫ですが、この授業の参加にはPC操作、Excelの使用が必須のため、ある程度操作に慣れておくようにしてください。
【受講前の準備学習等】
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
・【当日の遅れやPCが使用できなくなる原因となるため、予めOS等の更新、セキュリティ修正プログラムを適切に適用しておいてください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新しておいてください。これらの事前準備を行わず当日に教室で行い、上記の問題が生じた場合は、すべて自己責任となります】
・持参する端末にはGoogle Chromeをインストールしておいて下さい。
・当日はMicrosoft Excel, Word を使用予定です。動作確認をしておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
・なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。レポートの書き方や書くべき内容については授業の際に教示します。
レポートはGoogle Classroomの課題提出機能を使って期日までの提出を求めます。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
キーボード必須のため、ノートパソコンを持参してください。スマートフォンでは実験参加不可能です。
マウスを使用予定のため、持参してください。
2．OSの指定
OSは問いません。
3．ソフトウェアのインストール
Google Chromeが動作する必要があります。Microsoft Excel, Wordも必要です。
4．その他
・ヘッドフォンもしくはイヤフォン。持参する端末から音を聞くために必要です。
・USBメモリスティック（データ等の交換に使用します）
・レポートはGoogle Classroomの課題提出機能を使って提出します。
・パソコン等でレポート作成することを推奨します。
どうしてもパソコンの作業が困難な人は手書き等でも構いませんが、PDFや画像に変換して電子的な形態で提出する必要があります。その電子化の方法については自己責任でお願いいたします。
・レポートはきちんと読める状態であることを確認した上で、提出して下さい。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・持参する端末は十分に充電を済ました状態にし、かつACアダプターを忘れずにご持参下さい。バッテリー切れで端末が使用できない場合は受講ができなくなります。
・端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
・なお、バッテリー切れや端末の故障、必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
・心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695731	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、子どもの発達とそのつまずきについて学びます。最初に、私たちの子どもを見るまなざしを振り返ることから始めましょう。次に、今を生きる子ども達の世界の広がりについて考えます。その上で、主に言葉の様々な側面に焦点を当て、その発達とつまずきについてお話しします。この授業を通じて、子どもに対する理解を深め、つまずいている子ども達に対して発達的な視点を持って関わることができるようになることを目指します。 **【到達目標】** 子どもの発達とそのつまずきについて適切に理解し、それを説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 子どもについての見方を振り返る 第2回 多様な世界を生きる子ども達 第3回 認知の発達 第4回 子どもの自己と心の理論：「わたし」と「あなた」を理解する 第5回 コミュニケーションの発達とそのつまずき 第6回 話し言葉の発達とそのつまずき 第7回 書き言葉（読み書きの能力）の発達とそのつまずき 第8回 子どもの発達を支援する **【学生へのメッセージ】** 自らの子ども時代を振り返りながら、現代を生きる子ども達の生きる世界について、ともに考えていきましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスから判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	K		
科目名	**子ども理解の発達心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	80名		
担当講師	タカハシ　ノボル 高橋　登 大阪教育大学特任教授		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月1日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55		
実施会場	大阪学習センター		

科目コード	2689120
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	リン　ヘイヘイ 林　萍萍 大阪商業大学助教
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月8日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、心理学における実験的研究を4つ（ミューラー・リヤー錯視、対人魅力～態度の類似性～、心理尺度、目撃者証言）取り上げます。実験を実施する前に、まず心理学の研究法、実験データの整理、レポートのまとめ方について解説します。次に、実験参加者・実験者として実験を行い、そのデータを集計し、考察、レポート作成、解説という流れで進めます。受講生の皆さんは、原則8回の授業にすべてに出席し、4つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション・心理学の研究法およびレポート執筆指導
第2回 実験1「ミュラー・リヤー錯視」の説明、実施、データ整理
第3回 実験1のレポート作成指導と解説、実験2「心理尺度」の実施
第4回 実験2「心理尺度」データ処理、レポート執筆指導、解説
第5回 実験3「対人魅力」の説明、実施、データ処理
第6回 実験3「対人魅力」のレポート執筆指導、解説
第7回 実験4「目撃者証言」の実施、データ処理、レポート執筆指導
第8回 目撃者証言および記憶についての解説
【学生へのメッセージ】
実験の実施、データ処理、結果のまとめ等に、パソコンを使いますので、基本的なパソコン操作（Excel）は習得されていると望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況および提出された4本の実験レポートの総合評価で行います。
レポートの提出期限は、原則として第8回目の授業終了までとします。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末：ノートパソコンを持参してください。
2．OS の指定：指定なし
3．ソフトのインストール
・ブラウザは Microsoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）のいずれかが必要です。
・Word が必要です。
・Excel が必要です。
4．その他
・マウスを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありません。
・手書きまたは印刷の紙媒体のレポートを授業最終日に提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、印刷の場合自宅やコンビニ等で印刷してください。
・定規、鉛筆、消しゴム（手書きでレポートを提出する場合）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689146
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	M
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ショウダ　ハルカ 正田　悠 京都市立芸術大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月29日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則8回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 レポートの書き方
第3回 自由再生による記憶の系列位置効果（1）解説と実験
第4回 自由再生による記憶の系列位置効果（2）データ集計と統計分析
第5回 メンタルローテーション（1）解説と実験
第6回 メンタルローテーション（2）データ集計と統計分析
第7回 パーソナルスペース（1）解説と実験
第8回 パーソナルスペース（2）データ集計と統計分析
【学生へのメッセージ】
2人ペア、あるいは3～4人のグループでの作業やディスカッションを含む授業です。レポートの作成にはしばしばたいへんな苦労を伴いますが、なぜその結果が得られたのかを自分なりに考えながら、心理学の醍醐味・面白さを感じてもらえればと思います。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありませんが、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（特にExcel）を習得されていることが望ましいです。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。
放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OS の指定
　WindowsまたはMacのノートパソコンに限ります（iPadやAndroidのタブレット端末は不可）。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・データ処理のためExcelが必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験３**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	タニグチ　ジュンイチ 谷口　淳一 帝塚山大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月29日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学における実験的研究を４つ取り上げます。受講者の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講者の皆さんは、原則８回の授業すべてに出席し、４つの実験全てにおいてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 ストループ課題実験（1）
第2回 ストループ課題実験（2）
第3回 囚人のジレンマ実験（1）
第4回 囚人のジレンマ実験（2）
第5回 ヒューリスティック判断（1）
第6回 ヒューリスティック判断（2）
第7回 鏡映描写課題実験（1）
第8回 鏡映描写課題実験（2）

【学生へのメッセージ】
授業では、４つの心理学実験に取り組みます。ほとんどの実験が他の受講者と２人～４人一組となり、協力して実験を実施してもらいます。授業の構成は、実験の説明（講義）、実験の実施、データの分析、実験レポートの作成、です。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に、心理学統計（特にt検定）について学習しておいてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び４つのレポート課題への評価により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ストップウォッチ（秒単位まで測定できるものであればスマホなどでも可）、鉛筆（短い方が良い）、電卓

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
・色識別を要する実験課題があります。
・レポートは授業中に手書きで作成します。
・心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689162
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	L
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ミヤウチ　サトル 宮内　哲 国立研究開発法人情報通信研究機構特別研究員
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月6日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項)】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

最初に心理学における実験の重要性と実験のための基礎知識、レポートの書き方とレポートを書く意義について説明します。その後３つの実験（短期記憶検索、視覚探索、ストループ効果）に実験者・被験者として参加し、結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学における実験の方法、データ整理、レポートの書き方について学びます。原則として全8回の全ての授業に出席し、全ての実験についてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の重要性と実験を行うための基礎的知識に関する説明
　　・レポートの書き方とレポートを書くことの意義に関する説明
第2回「短期記憶検索」実験の実施とデータ処理
第3回「短期記憶検索」解説
第4回「視覚探索」実験の実施とデータ処理
第5回「視覚探索」解説
第6回「ストループ効果」実験の実施とデータ処理
第7回「ストループ効果」解説
第8回 レポート作成の指導
【学生へのメッセージ】
単に実験を行うだけでなく、科学における実験の重要性、実験レポートの書き方についても講義・指導をします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
講義で使う資料は、当日配布しますが、事前にGoogle ClassroomからもPDFでダウンロードできるようにしておきます。講義が近づいてきたら、Google Classroomをチェックするようにしてください。
「レポートの書き方　京都大学国際高等教育院　2016」をあらかじめ読んできてください。
https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/250143/1/writing.pdf
からダウンロードできます。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
講義中に指定するURLアドレスから講義に必要なファイルをダウンロードしてもらいます。ファイルをダウンロードして特定のフォルダに入れる操作に習熟しておいてください。
この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前にこれらの講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
Excelでの平均値、標準偏差の計算、グラフの作成に慣れておくと便利です。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
レポートの書き方等は授業の際に教示します。
レポートは Google　Classroomの課題提出機能を使って提出してもらいます。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等)。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
４．その他
　筆記具
　マウスの使用を推奨します。
　前日は十分な睡眠をとってください。眠気は実験結果に大きな影響を及ぼします。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・レポートの書き方 アカデミック・ライティングのポイント（京都大学国際高等教育院／京都大学国際高等教育院／）
　レポートの書き方について、わかりやすく解説しています。 以下のアドレスからダウンロードできます。
　https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/250143/1/writing.pdf
・大学文章論（本ではなく、インターネット上のサイトです）（大学文章論／https://ac-writing.com/／）
レポートでの序論や結論の書き方、引用文献・参考文献の書き方、文章についてなど、非常にわかりやすくて的確な説明があります。

【その他（特記事項)】
色識別を要する実験課題があります。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。作成にパソコン等でのワープロを使用することは構いませんし、推奨します。どうしてもワープロ等の作業が困難な人は手書き等で作成することを禁ずるものではありませんが、最終的には電子的な形態へ変換して提出することになります。その電子化の方法については自己責任でお願いします。レポートの最終提出形態については各自で可読性があることを確認の上提出してください。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査は、パーソナリティをはじめとする「個人差」を測定するものです。この授業は、①多様な心理検査の理論的背景を知り、②実際に三つの心理検査を体験し、③レポートを書くという流れで実施します。この取り組みによって、各種心理検査の特徴とその限界を理解し、結果の解釈から自己理解を深めることが、この授業の目的です。なお、原則として8回の授業すべてに出席し、締切日までにすべての検査実習のレポートを作成・提出する必要があります。 **【到達目標】** ・心理検査法を、「検査者」や「被検査者」の役割を通して体験的に学ぶことで、心理検査を実施する意義と具体的手続き、検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 ・検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション　心理検査の意義、心理検査の種類、信頼性と妥当性、検査倫理 第2回 検査実習１　YG性格検査・新性格検査・BigFive 第3回 検査実習２　バウムテスト 第4回 投影法（ロールシャッハ・テスト、TATなど）とは 第5回 検査実習３　ローカス・オブ・コントロール尺度 第6回 心理尺度の作り方（項目分析、因子分析法） 第7回 心理検査の活用（テスト・バッテリー）、まとめ 第8回 レポートの書き方 **【学生へのメッセージ】** この授業では、心理検査を実施後、自分自身の結果を解釈してレポートを提出します。日常的な主観による判断だけではなく、心理学的な手法を用いることによって、さらに自分自身のことを知る一助となれば幸いです。 **【受講前の準備学習等】** この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 そのため、放送大学や他大学で心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を、４単位程度修得済みであることが望ましいです。 事前に上記講義の受講が困難な場合は、放送大学の「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 その他、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 また、授業で学習した内容をもとに復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況と、後日提出のレポートの評点により行います。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	L		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ウエハラ　ヨリコ 上原　依子 放送大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月6日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10		
実施会場	大阪学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ・HBの鉛筆２・３本、消しゴム、赤のボールペン、定規（短いものでOK） ・データ集計のため、電卓、またはパソコン（Excel）を持参しても構いません（ただし、原則電源は供給できないため、十分な充電をお願いいたします）。 ・レポートは締切日までに紙媒体で提出する形式です。学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査は、パーソナリティの個人差について測定するために用いられるものです。この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景について解説をしたうえで、実際に３つの心理検査を体験し、それぞれについてのレポートの提出を求め、その内容を評価します。さらに、各種心理検査の特徴とその限界を理解するとともに、検査結果の解釈から自己理解を深めることもその目的に含みます。 なお、原則８コマの授業すべてに出席し、すべての検査実習についてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査の成り立ち（本岡） 第2回 検査実習１　Big Five尺度（本岡） 第3回 検査実習２　バウムテスト（本岡） 第4回 心理検査の信頼性・妥当性について（本岡） 第5回 心理テストにおける倫理（中島） 第6回 検査実習３　P-Fスタディ（中島） 第7回 質問紙・投影法・作業検査法の特徴（中島） 第8回 テスト・バッテリーについて（中島） **【学生へのメッセージ】** 心理検査を実施して、ご自身の結果を解釈してレポートを提出していただきます。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査についての体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	M		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナカジマ　アユミ 中島　歩 近畿大学メディカルサポートセンターカウンセラー モトオカ　ノリコ 本岡　徳子 東光学園臨床心理士		**【受講者が当日用意するもの】** 描画法を実施するため、4Bの鉛筆を2本、消しゴム1個、A4サイズの画用紙1枚を用意してください。また、心理検査結果を計算するため、電卓をご持参ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 12月13日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10		
実施会場	大阪学習センター		

科目コード	2695740
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**証券投資論入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	ツキオカ　ヤストモ 月岡　靖智 関西学院大学教授
日程 実施時間	11月12日(木) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月19日(木) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義は、「貯蓄から投資へ」という潮流の中で受講生の「金融リテラシー」の向上を目的とします。リスク性資産である債券と株式という証券に焦点を当て、それらの評価方法、またそれらをどのように組み合わせ最適なポートフォリオを作成できるかを学習します。さらに、資金の出し手である投資家と資金運用者である機関投資家、投資先企業の間の利益相反と利益相反軽減のためのメカニズムや施策について概観します。

【到達目標】
学生は、証券投資における証券の評価方法とポートフォリオ理論について理解し、理論に基づく最適ポートフォリオを構築できるようになる。加えて、資産運用における基礎知識を身に着け、金融機関や資産運用会社の販売する金融商品を批判的に評価できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 証券と投資、債券市場と株式市場
第2回 企業分析
第3回 投資における評価の基本原理と債券分析
第4回 株式分析
第5回 ポートフォリオ理論
第6回 ポートフォリオ理論とグローバル投資
第7回 行動ファイナンスと投資信託
第8回 投資家責任について

【学生へのメッセージ】
考える授業、ためになる授業を目指しますので、一緒に有意義な二日間を過ごしましょう！

【受講前の準備学習等】
教科書を事前に読んで予習しておいてください。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓または電卓機能の付いた機器

【教科書】
・新・入門証券論（榊原茂樹・城下賢吾・岡村秀夫・山口聖・月岡靖智・北島孝博／有斐閣／¥2,970／ISBN=4641166374）

科目コード	2695758
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**経営管理論**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	ナカムラ　フミアキ 中村　文亮 同志社大学助教
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月22日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、経営管理に関する基本的な知識を概説します。個人、グループおよびマクロ組織を対象に、モチベーション、チームビルディングやマネジメントコントロールといった、現代の経営組織の管理に欠かせないトピックについて議論します。これらの知識は、経営組織を対象とした、社会科学の幅広い分野における研究成果であり、経営の実務に携わる人々のみならず、人間、組織や社会の本質を探求する人々にとって重要な示唆を与えてくれます。授業では、これらのトピックについて、企業やその歴史を取り上げながら説明します。

【到達目標】
・経営管理論の基本的な用語の意味を理解できるようになる。
・経営管理論の理論やフレームワークを理解できるようになる。
・経営組織の実務上の課題を発見し、理論的に分析できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 モチベーション①
第2回 モチベーション②
第3回 リーダーシップ①
第4回 リーダーシップ②
第5回 グループの基本
第6回 グループでの意思決定
第7回 チームの基本
第8回 組織の3要素

【学生へのメッセージ】
我々は組織の中で業務を分業し、他のメンバーと協働することで、個人が生み出せる成果以上のものを生み出すことができます。しかし、複数人がただ単に集まっただけでは烏合の衆であり、組織としては機能しません。本講義ではチーム、グループや組織が有効に機能するための理論について説明します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・【新版】組織行動のマネジメント―入門から実践へ（ティーブン P.ロビンス／ダイヤモンド社／¥3,080／ISBN=9784478004593）
・コア・テキスト マクロ組織論（山田耕嗣・佐藤秀典／新世社／¥3,190／ISBN=9784883842124）
・コア・テキスト経営管理（高松朋史・具承桓／新世社／¥3,135／ISBN=9784883842919）

科目コード	2695766
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**都市のかたちと空間文化**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	コウラ　ヒサコ 小浦　久子 奈良文化財研究所客員研究員
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月22日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	この授業は、【大阪学習センター及び★北浜周辺（2日目午後）（北浜周辺)】で行います。

授業概要

【授業内容】
都市の歴史・風土と人の営みから都市空間の成り立ちをとらえ、都市空間の読み方と地域ごとに異なる空間の特徴について理解を深めます。また、人々が暮らす都市空間は、それぞれの時代の経済的・社会的要請に応じて開発され変化していきます。その変化によってもたらされている地域環境の実態から地域の課題を理解し、変化しながらも地域環境が持続的であるための計画的取り組みについて、事例を通して学びます。
【到達目標】
住んでいる都市や地域の町並みや生活環境について、その都市や地域の自然風土、歴史、生活生業の営みなどから、その特性と成り立ちを説明することができるようになる。都市や地域の生活空間を説明できるようになることで、地域のまちづくりや持続可能な開発のあり方を主体的に考えることができる。
【授業テーマ】
第1回 都市の歴史と都市のかたち（世界の都市）
第2回 都市の歴史と都市のかたち（日本の都市）
第3回 文化的景観の空間作法ー地域性と暮らしの営み
第4回 都市空間の公共性ーパブリックスペースと景観
第5回 住まいのかたち
第6回 歴史的都心の変容と持続ー大阪と船場
第7回 船場の近代（北浜界隈・適塾などの見学と解説）1
第8回 船場の近代（北浜界隈・適塾などの見学と解説）2
【学生へのメッセージ】
ひとりひとりの生活の営みが集合することによって都市空間が形成され、地域らしさが生み出されます。都市の歴史と空間文化を学ぶことを通じて、地域環境の質は、市民（生活者）によって形成されることを認識していただきたいと思います。多様な人が流動する都市においては、その場所に暮らす人々が生活空間における営みの作法を共有するプロセスとして「計画」があり、都市空間の公共性とは何かを考えることが、都市の持続可能性につながります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容をみて関心のあるテーマについて自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び最終日のレポート（後日提出）の評点により行います。
レポートのテーマは講義内容の中から最終日に提示します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・まとまりの景観デザイン―形の規制誘導から関係性の作法へ（小浦久子／学芸出版社／¥2,860／ISBN=9784761524401）
・未来の景を育てる挑戦　地域づくりと文化的景観の保全（日本建築学会編／技報堂出版／¥2,860／ISBN=9784765525534）
・都市計画とまちづくりがわかる本（小林郁雄・野澤千絵他編著／彰国社／¥2,640／ISBN=9784395320936）
・アースダイバー（中沢新一／講談社／¥1,980／ISBN=9784062128513）
・まちに住まう ー大阪都市住宅史（大阪市都市住宅史編集委員会 編／平凡社／¥7,262／ISBN=9784582544145）
図書館などにあると思います。２日目の事前学習になります。

【その他（特記事項)】
※本講座の学外授業について
２日目午後に北浜界隈で学外授業を行います（適塾と近代建築などの見学と現地でのまちの説明)。
適塾の参観料（400円程度）がかかります。詳細については後日送付する案内を参照ください。
学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください。前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧 P.5参照)
天候や諸事情により、授業内容や時間割が変更になる場合があります。

科目コード	2695774
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**能の世界を知る**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ナカオ　カオル 中尾　薫 大阪大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月18日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	この授業は、【大阪学習センター及び★大槻能楽堂（2日目午後）（大阪市中央区上町A-7)】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本の伝統芸能「能」は、中世を代表する芸能で特に室町時代の文化や思想を反映していると考えられています。もっとも、より深く能をよみとくと、その後現在まで伝承されてきた時代にともなって変化していった要素、付加された要素もあります。こうした変化にも注目しながら、能の歴史、演劇としての特徴、作品の背景にある思想についてよみといていきます。授業の二日目には特定の作品について解説をしたあと、その作品を実際に舞台で鑑賞し、能の理解を深めていきます。
【到達目標】
日本の伝統芸能「能」の歴史や特徴などを理解し、予備知識を持って舞台鑑賞できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 能の歴史概観
第2回 演劇のなかの能の特徴１ー戯曲
第3回 演劇のなかの能の特徴２ー演技
第4回 能の思想的背景
第5回 能の作品とテーマをよみとく１
第6回 能の作品とテーマをよみとく２
第7回 能楽鑑賞１　大槻能楽堂
第8回 能楽鑑賞２　大槻能楽堂
【学生へのメッセージ】
レポートは能楽鑑賞した舞台の内容を復習するつもりで、授業内での解説を参照しつつ、ご自身でも作品について調べ、よみといてみてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
※本講座の学外授業について
面接授業２日目大槻能楽堂へ行きます。チケット代（3300円程度）がかかります。詳細については後日、受講生に案内を送付します。
なお、座席確保の関係上、所定の期日以降に受講できなくなったことが判明した場合（体調不良による当日欠席等も含む）は、チケット代をお支払いいただく必要があります。
学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください（前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。）
天候や諸事情により、授業内容や時間割が変更になる場合があります。

科目コード	2695782
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**文芸創作講座**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	330
定員	20名
担当講師	サワイ　シゲオ 澤井　繁男 作家／元　関西大学教授
日程 実施時間	10月18日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月20日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
最終的には20～30枚（19枚以内は成績対象外ですので拝読しません。ご留意ください）の、日本語による短篇小説を完成させることをめざして修練を積んでいきたくおもいます。作品のテーマは問いません。
短編小説をかくことで、内省的に自己や社会などをみつめ、「私/社会」などとはなにかを問いたく思います。長編小説と違って、短編小説とは、人生や社会などの一断面を切り取って提示するものですので、かなりの力量が必要です。その力を短期間で身につけてもらいます。他の講座と違って変則的な日程になりますが、ご容赦ください。
第1回目の授業であらかじめ購入してもらっていた拙著の感想会（全体の印象と気に入った作品について）を行います。

【到達目標】
短編小説を執筆できるようになるために、表現力を磨き構成力も培って行けるようになる。

【授業テーマ】
第1回 表現とは何か（1）
第2回 表現とは何か（2）
第3回 感想会（1）
第4回 感想会（2）
第5回 作品の講評会（1）
第6回 作品の講評会（2）
第7回 作品の講評会（3）
第8回 作品の講評会（4）

【学生へのメッセージ】
本講座は各自が創作を執筆して発表する場ですから、積極的な取り組みが必須となります。

【受講前の準備学習等】
内面への問いかけが、表現へとつながるように、ご自身を見つめる機会をお持ちください。
※あらかじめ教科書の全短篇を読んできてください。

【成績評価の方法】
作品の完成度、授業における貢献度等を総合的に判断して評価する。

【受講者が当日用意するもの】
澤井繁男著『三つの街の七つの物語』（未知谷、2,000円＋税）

【教科書】
・『三つの街の七つの物語』（澤井繁男／未知谷／¥2,200／
ISBN=9784896425741）
2019年刊行

【その他（特記事項）】
１日目終了後、11月18日（水）までに、20～30枚の短篇を提出してもらいます。提出形式などは統一すべくお話しします。

科目コード	2695790	**授業概要**	**【授業内容】** 上方落語の歴史や演技の形態、劇場の仕組み、噺の種類や内容等について座学によって学ぶとともに、天満天神繁昌亭において実際の上方落語の上演に接し、総合的に上方落語に対する理解を深めます。 **【到達目標】** 古典芸能である落語が今日の社会でも流通している理由を理解し、能動的に鑑賞できるようになることを目的とする。また、江戸時代から現代までの、江戸・東京と上方・関西の歴史・文化の違いを、落語を通じて説明できるようにする。 **【授業テーマ】** 第1回 上方落語の歴史（1）発生から近世まで 第2回 上方落語の上演形態・構造・種類 第3回 鑑賞する演目の解説（1） 第4回 鑑賞する演目の解説（2） 第5回 上方落語の歴史（2）近代以後、四天王から現代まで 第6回 上方落語と関西弁 第7回 天満天神繁昌亭にて落語鑑賞（1） 第8回 天満天神繁昌亭にて落語鑑賞（2） **【学生へのメッセージ】** 天満天神繁昌亭での落語鑑賞は、「夜席」になります。18時半ごろ開演し、2時間程度の上演時間となります。また鑑賞のために、受講料とは別に2000円程度の入場料が必要となります。詳しい金額およびスケジュールは近づきましたらお知らせします。 **【受講前の準備学習等】** YouTube、テレビ、ラジオ、ビデオ、CD、DVD等で落語（上方落語、江戸落語どちらでも）にあらかじめ触れておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	K		
科目名	**上方落語の世界**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
定員	70名		
担当講師	キンスイ　サトシ 金水　敏 放送大学大阪学習センター所長		
日程 実施時間	10月28日(水) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月29日(木) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　18:05～19:35 第4時限　19:45～20:30		
実施会場	この授業は、【大阪学習センター、【★天満天神繁昌亭（2日目夜)】(大阪市北区天神橋)】で行います。		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・古典落語の史層（高島幸次／和泉書院／¥2,600／ISBN=9784757610422） ・落語に花さく仏教：宗教と芸能は共振する（釈徹宗／朝日新聞出版／¥1,400／ISBN=9784022630544） ・大阪ことばの世界（金水　敏／SBクリエイティブ／¥1,045／ISBN=9784815624712）
			【その他（特記事項)】 ※本講座の学外授業について 面接授業２日目天満天神繁昌亭へ行きます。 チケット代（2000円～2500円程度）がかかります。詳細については後日、受講生に案内を送付します。 なお、座席確保の関係上、所定の期日以降に受講できなくなったことが判明した場合（体調不良による当日欠席等も含む）は、チケット代をお支払いいただく必要があります。 学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください。 （未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください）

科目コード	2695804
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**漢字学 ー漢字の訓と字書ー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	クメ　ヒロコ 久米　裕子 京都産業大学教授 サトウ　シンヤ 佐藤　信弥 立命館大学客員研究員
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月1日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
１日目は、まず白川静の字訓研究をもとに、字訓の成立と展開について講義し、次に漢字・漢文教育における〈訓〉を取り上げ、〈訓〉とは何なのかを明らかにする。２日目は、『説文解字』や『爾雅』『康熙字典』といった中国の字書について講義し、あわせて中国で出版されている甲骨文字など古文字の字書を取り上げる。

【到達目標】
①日本が漢字・漢文を受容する際に〈訓〉が果たした役割について理解できるようなる。
②中国古代からの字書編纂と、それにともなう漢字整理の流れを知ることで、我々が使っている字書の成り立ちを理解できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 白川文字学（久米）
第2回 白川静『字訓』（久米）
第3回 漢字と訓読み（久米）
第4回 漢文と訓読（久米）
第5回『説文解字』の世界（佐藤）
第6回 識字教科書・義書・韻書（佐藤）
第7回『説文』以後の字書（佐藤）
第8回 古文字の工具書（佐藤）

【学生へのメッセージ】
漢字は本来中国の言語を表記するための文字ですが、私たちは日々漢字を使って当たり前のように日本語を表記しています。この授業を通じて、日本人が外来の文字を自国の文字として取り入れてゆく過程、そして漢字を作り出した中国人が自分たちの文字をどうとらえ、字書という形で整理していったのか、日本と中国の漢字の歴史について理解を深めてほしいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695812
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**コミュニケーション論 入門**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	60名
担当講師	エノモト　タケシ 榎本　剛士 大阪大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月8日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちは日々､ことばを使いながら「コミュニケーション」しています｡しかし､「コミュニケーションとは何か？」とあらためて問われると、思いのほか、明確に答えることが難しいのではないでしょうか｡この授業では､実際に使われることば､社会・文化・行為の中にあることば、といった観点から、単なる「情報伝達」には還元できない「コミュニケーション」の様々な側面について考えます｡なお､この授業は「コミュニケーションが上手になるためのノウハウ」を扱うものではありません。このことを予め理解したうえで受講してください。

【到達目標】
・社会・文化・行為の中にある「ことばの使用」について、その多層的かつ動的なあり様を説明できるようになる。
・コミュニケーション論的視点から、身の周りで起きていることを分析することができる。

【授業テーマ】
第1回 導入：「コミュニケーション」について知っていること
第2回「言われていること」と「為されていること」1
第3回「言われていること」と「為されていること」2
第4回「何が起きているか」についての解釈
第5回 コミュニケーションについてのコミュニケーション
第6回 ことば／コミュニケーションについての考え（イデオロギー）
第7回 いくつかのコミュニケーション・モデルとその射程
第8回 総復習・質疑応答

【学生へのメッセージ】
私たちが当たり前のように行っているコミュニケーションが、実際は複雑なプロセスであり、決して当たり前ではないことを共有できればと思います。

【受講前の準備学習等】
身近なコミュニケーションやことばの使用を少し注意深く観察し、そこで何が起きているか、考えてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・コミュニケーション論のまなざし（小山亘／三元社／¥1,870／ISBN=9784883033133）
・言語人類学への招待：ディスコースから文化を読む（井出里咲子・砂川千穂・山口征孝／ひつじ書房／¥2,640／ISBN=9784894769656）
・語用論の基礎を理解する 改訂版（Gunter Senft（石崎雅人・野呂幾久子 訳）／開拓社／¥3,740／ISBN=9784758923644）

【その他（特記事項）】
「コミュニケーション」には様々な学問的視点からのアプローチが可能ですが、この授業は特に言語人類学、社会言語学、語用論の知見に依拠しています。

科目コード	2695820
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**「文楽」を鑑賞する**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	アマノ　ヒカル 天野　光 古典芸能案内人
日程 実施時間	11月13日(金) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月20日(金) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	この授業は、【大阪学習センター及び★国立文楽劇場（2日目）（大阪市中央区日本橋1-12-10)】で行います。

授業概要

【授業内容】
「文楽」は、「人形浄瑠璃」を上演するプロの劇団です。太夫が三味線に合わせて「義太夫節」を語り、人形遣いがそれに合わせて演技をします。人形は1体を三人で操る三人遣いです。このような形態の人形劇は世界でも他に例を見ません。人形浄瑠璃は関西で生まれ、大阪で育った演劇であり、その由来にちなんで日本橋に国立文楽劇場が設立されました。また文楽は2003年に、ユネスコ無形文化遺産に指定されています。この授業では、大阪にゆかりの深い文楽について座学で学ぶとともに、実際に国立文楽劇場に赴き、11月公演を鑑賞します。

【到達目標】
先入観を取り払い、大阪の古典芸能「文楽」の歴史や作品について学び、大阪は、もちろんのこと、自分が人生で関わってきた土地の芸能や文化についても、学ぶ姿勢を持つことができる。

【授業テーマ】
第1回「文楽」の特徴～どんな演劇なのか
第2回「文楽」の歴史
第3回 文楽の演目～時代物～
第4回 文楽の演目～世話物・近松門左衛門を中心に～
第5回「文楽」鑑賞のための講義
第6回「文楽」鑑賞（のための講義になる可能性があります）
第7回「文楽」鑑賞
第8回「文楽」鑑賞

【学生へのメッセージ】
「文楽」鑑賞は有料ですが、団体割引によってお安く鑑賞できます。この機会にぜひ受講し、また劇場に足を運んで生の舞台の迫力にふれてください。

【受講前の準備学習等】
国立文楽劇場ウェブページに、「文楽かんげき日誌」というコーナーがあり、著名人の観劇体験に基づくエッセーが多数掲載されています。事前にいくつか読んでみてください。
https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku/diary.html

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・文楽へようこそ（桐竹勘十郎・吉田玉女／小学館／¥1,650／ISBN=9784093108249）
・あやつられ文楽鑑賞（三浦しをん／双葉社／¥660／ISBN=9784575713831）
・新版 あらすじで読む名作文楽50選（高木秀樹／世界文化社／¥1,650／ISBN=4418152423）

【その他（特記事項）】
※本講座の学外授業について
面接授業２日目国立文楽劇場へ行きます。チケット代（6000円程度）がかかります。２日目午前中はセンターでの講義の予定ですが、劇場のプログラムによっては講義時間等に変更が生じる場合もございますので、詳細については後日送付する案内を参照ください。
なお、座席確保のため、所定の期日以降に受講できなくなったことが判明した場合（体調不良による当日欠席等も含む）は、チケット代をお支払いいただく必要があります。
学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください（前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。）
観劇は時間に遅れないようにご注意ください。
天候や諸事情により、授業内容や時間割が変更になる場合があります。

科目コード	2695839	**授業概要**	**【授業内容】** 時代とともに美術の哲学や思考が変化しています。現代美術は美しさを追い求めるよりも、モノの見方や考え方を教えてくれます。現代の美術は新たな価値観を創造してきたと言っても過言ではありません。実際に美術館を訪れ現代美術に触れ、作品に潜む多様な価値観を体験しましょう。 **【到達目標】** 近代から劇的に変化する美術の価値観、特に現代の美術の価値観について理解し、説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 美術の価値観についての変遷を紹介 第2回 現代美術の源泉を探る 第3回 世界の現代美術 第4回 日本の現代美術 第5回 現代美術のキーワード 第6回 現代美術鑑賞入門 第7回 美術館で現代美術を体験する-part1 第8回 美術館で現代美術を体験する-part2 **【学生へのメッセージ】** 現代美術とは何かを探り、美術作品を体験することにより、作品への理解を深めます。パワーポイントやDVDなどで視覚に訴える授業を実施します。 **【受講前の準備学習等】** 抽象芸術、コンセプチュアルアート、インスタレーションなどについて受講前に調べておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（後日提出）の評点により行います。レポート課題は2つです。1,「美術館の企画展の感想」と2,「現代美術と社会との関係」について考察してください。
学習センター	大阪学習センター		
学習センターコード	27A		
クラスコード	K		
科目名	**現代の美術： その哲学を探る**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	50名		
担当講師	カトウ　ヨシオ 加藤　義夫 大阪芸術大学客員教授／神戸大学非常勤講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月6日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・20世紀の美術（監修 = 末永照和／美術出版社／¥2,750／ISBN=9784568400854）
実施会場	この授業は、【大阪学習センター及び★国立国際美術館（2日目午後）（大阪市北区中之島4-2-55)】で行います。		**【その他（特記事項)】** ※本講座の学外授業について 面接授業２日目国立国際美術館へ行きます。 国立国際美術館のチケット代（1,000円程度）がかかります。詳細については後日、受講生に案内を送付します。 学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください。（未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください） 天候や諸事情により授業内容、スケジュールが変更になる場合があります。

科目コード	2695847
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**四天王寺信仰を読み解く**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	イチモト　タカユキ 一本　崇之 大和文華館学芸員
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月13日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10
実施会場	この授業は、【大阪学習センター及び★四天王寺（2日目午後）（大阪市天王寺区四天王寺1-11-18)】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本最古の官寺である四天王寺は、聖徳太子信仰を基盤として、舎利信仰や浄土信仰が複合的に重なった「四天王寺信仰」というべき独自の信仰を形成し、その聖地として隆盛してきました。本講座では、四天王寺をとりまく様々な信仰を深く理解するとともに、その背景となる日本の仏教史や文化史を総合的に学びます。さらに実地見学では、これらの信仰が今日にも息づいている「生きた寺院」としての四天王寺を体感していただきます。

【到達目標】
四天王寺をとりまく歴史的背景や信仰について理解し、現在の同寺のあり方をふまえたうえで、古代寺院である四天王寺がなぜ今日も人々の信仰を集め、「生きた寺院」として存続しえたのかを説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 四天王寺の歴史
第2回 四天王寺絵堂と聖徳太子絵伝－聖徳太子信仰の源流－
第3回『四天王寺縁起』を読む
第4回 四天王寺の浄土信仰－西門と日想観－
第5回 四天王寺の舎利信仰
第6回 四天王寺における聖徳太子御忌事業
第7回 四天王寺の実地見学
第8回 四天王寺の実地見学

【学生へのメッセージ】
四天王寺だけを取りあげた限定的な内容ではなく、「四天王寺」をキーワードとして、美術史を中心とした日本仏教文化史や大阪の歴史を幅広く学ぶ機会にしたいと思います。

【受講前の準備学習等】
より深く学びたい方は、参考書『聖徳太子と四天王寺』、『四天王寺新縁起』を熟読し、予習されることをお勧めします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況とレポート（後日提出）により行います。
《レポートテーマ》
古代寺院である四天王寺がなぜ今日まで「生きた寺院」として存続しえたのか、当寺における信仰の特質をふまえて考察しなさい。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『聖徳太子と四天王寺』（石川 知彦監修・和宗総本山四天王寺編集／法藏館／¥3,080／ISBN=9784831860705）
・『四天王寺新縁起』（一本崇之著・和宗総本山四天王寺監修／東方出版／¥2,200／ISBN=9784862494672）

【その他（特記事項）】
※本講座の学外授業について
面接授業２日目四天王寺へ行きます。拝観料（400円程度）がかかります。詳細については後日、受講生に案内を送付します。
徒歩移動となるため、体力に不安のある方は科目登録の際によくご検討ください。
学生教育研究災害傷害保険・通学中等傷害危険担保特約に加入してください。
（未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください）
天候や諸事情により授業内容、スケジュールが変更になる場合があります。

科目コード	2695855
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**漢字学 ー漢字教育の実践ー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	クボ　ヒロユキ 久保　裕之 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所専任職員 サトウ　カズヨシ 佐藤　一好 大阪教育大学教授 チョウ　リ 張　莉 大阪教育大学教授
日程 実施時間	12月25日(金) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月26日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
第１回～第２回の授業では、〈訓〉を手がかりに、漢字・漢文教育の可能性について、第３回～第４回の授業では、書道と漢字教育の関わりについて、第５回～第８回の授業では、日本の漢字政策と漢字教育の現状について講義する。なお専門分野の見地から第１回～第２回は佐藤、第３回～第４回は張、第５回～第８回は久保が担当する。

【到達目標】
漢字・漢文のもつさまざまな特性や政策としての国語・日本語の歴史や現状を理解し、自分の受けた漢字教育との比較し、気づきができるようになる。

【授業テーマ】
第1回〈訓〉と漢字・漢文教育（1）（佐藤）
第2回〈訓〉と漢字・漢文教育（2）（佐藤）
第3回 毛筆の指導方法（日本）（張）
第4回 毛筆の指導方法（中国）（張）
第5回 国語政策における漢字（1）幕末・明治から昭和20年まで（久保）
第6回 国語政策における漢字（2）昭和20年から現代まで（久保）
第7回 デジタル情報化社会における漢字（久保）
第8回 これからの漢字教育（久保）

【学生へのメッセージ】
漢字は、本来、中国の言語を表記するための文字であるが、私たちは日々、漢字を使って当たり前のように日本語を表記している。この授業を通じて、日本人が外来の文字を自国の文字として取り入れてゆく過程や日本における漢字の現状について理解を深めてほしい。
また、当授業では、漢字について考察するため、漢和辞典（電子辞書でも可）を携帯することが望ましい。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
平成26年度１学期・平成28年度１学期・平成29年度２学期開講・令和4年度第２学期開講「漢字学―漢字の応用―」と内容が重複している箇所があります。

科目コード	2693062
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**遊びを通して学ぶ 情報科学**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	40名
担当講師	ナカノ　ヨシアキ 中野　由章 電気通信大学大学院客員教授／ 工学院大学附属中学校・高等学校長
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月8日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
まず、パズルを解く感覚で「国際情報科学コンテストビーバーチャレンジ」の問題に挑戦してもらいます。また、１日目の午後と２日目は、ニュージーランドのTim Bell博士らが考案し、世界中で実践されている「コンピュータ・サイエンス・アンプラグド」という教育手法に基づき、身体を動かしたりゲームをしてもらいます。これらの遊びを通してコンピュータの基礎となる情報科学を学びます。
２日目の最後は、大学入学共通テスト「情報」の一部を体験していただきます。(成績には反映しませんので安心してください)
なお、この授業では、コンピュータをまったく使いません。
【到達目標】
・情報科学のおもしろさを理解できる。
・情報科学の基本的な仕組みを理解できる。
・情報社会の基盤を理解できる。
・学ぶことの楽しさを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 国際情報科学コンテスト ビーバーチャレンジ
第2回 オセロ手品（エラー訂正)、点を数えろ（2進法）
第3回 メッセージ通信（文字表現)、FAXゲーム（画像表現）
第4回 ロボット操縦（プログラミング）
第5回 ロボット交番（支配集合）
第6回 宝島（状態遷移）
第7回 ジョニーを探せ！（情報量）
第8回 大学入学共通テスト「情報」に挑戦してみよう！
【学生へのメッセージ】
グループでゲームをしながら学習しますので、他の学生と積極的に交流することになります。
【受講前の準備学習等】
身の周りにあるコンピュータや情報システムの仕組みについて、不思議に思うことなどを具体的に考えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆（シャープペンシル)、消しゴム
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項)】
座席は指定します。
他の学生とグループをつくって、ディスカッションしながら協働して課題に取り組んでいただきます。(講義を聴くという形式ではありません。)
体を動かすアクティビティがいくつもあります。また、屋外に出て活動するものもあります。動きやすい靴や服装で出席してください。(天候によっては変更します。)

科目コード	2693070
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**プログラミング言語 各種詰め合せ**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	ナカノ　ヨシアキ 中野　由章 電気通信大学大学院客員教授／ 工学院大学附属中学校・高等学校長
日程 実施時間	12月25日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 12月26日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。

小学校からプログラミング教育が行なわれていることはご存知だと思います。また、大学入学共通テストでも「情報」が出題されています。そう、今、プログラミングはブームになっています！そのプログラミング言語にはさまざまなものがあります。この授業では、「アルゴロジック」「ヒトグラミング」「ピクトグラミング」「ドリトル」「Scratch（スクラッチ）」など、いろいろなプログラミング言語を体験します。

【到達目標】

・プログラミング言語の特徴を、自然言語と対比して理解できる。
・プログラミングの可能性と限界を理解できる。
・プログラミングによって、イメージしたものを具現化できる。
・プログラミングのおもしろさを理解できる。

【授業テーマ】

第1回 アルゴロジック（プログラミング体験ゲーム）
第2回 ヒトグラミング（人の動きをプログラミングしてみよう！）
第3回 ピクトグラミング（人型ピクトグラムを動かそう！）
第4回 ピクトグラミング作品発表会
第5回 ドリトル（日本語オブジェクト指向プログラミング）
第6回 ドリトル作品発表会
第7回 Scratch（ゲームやアニメーションをつくってみよう！）
第8回 Scratch作品発表会

【学生へのメッセージ】

パソコンのキーボードで日本語入力ができることを条件とします。
レポートも課しますが、実習の取り組み状況と作品を中心に評価を行います。
プログラミングの楽しさを実感していただきたいと思っています。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
パソコンのインターネット接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　ノートパソコン（種類は問いません。タブレットの場合はキーボード必須。）
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3．ソフトのインストール
　Microsoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）などのwebブラウザが必要です。
4．その他
　最新バージョンのものを使用してください。

【教科書】

教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】

座席は指定します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご注意ください。

科目コード	2695863
学習センター	大阪学習センター
学習センターコード	27A
クラスコード	K
科目名	**日常生活での ポリマーサイエンス**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	サトウ　タカヒロ 佐藤　尚弘 大阪大学名誉教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月29日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	大阪学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちが日常生活で見かける物質は、無機物質、有機物質、および高分子物質に大別されます。この中で、最後の高分子物質（ポリマー）は、非常に巨大な分子から構成されていて、その分子のかたちの違いから、それ以外の物質とは著しく異なる性質を示し、繊維、樹脂、プラスチック、ゴムなどとして日常生活に欠かせない物質となっています。
この授業では、このポリマーが日常生活でどのように利用されているか、そしてその用途に適した性質（物性）がどのようにして生み出されているかを分子の視点から考えてみます。その前提として、ポリマーサイエンスの基礎についても説明します。
【到達目標】
日常生活で利用されている繊維、樹脂、プラスチック、ゴムなどの高分子物質（ポリマー）の理解を深めることができ、日ごろからなじみ深いものの見方を変えることができる。
【授業テーマ】
第1回 ポリマー（高分子）とは何か
第2回 ポリマーサイエンスの基礎
第3回 1本のポリマーのかたちと大きさ
第4回 ポリマーの溶液と固体
第5回 繊維と樹脂
第6回 ゴムと高吸水性ポリマー
第7回 ポリマーと表面
第8回 環境と高分子、およびまとめ
【学生へのメッセージ】
ポリマーを構成している巨大な分子は複雑なかたちをしていて、とっつきにくいかもしれませんが、日常生活で使われているポリマー製品をポリマーサイエンスの視点から眺めてみると、いろいろな発見があると思います。高校の「化学」でも、教科書の最後で高分子物質を学びますが、この授業ではこの高校の授業での知識も前提とせずにお話していきます。
【受講前の準備学習等】
日常生活で利用されている繊維、樹脂、プラスチック、ゴムなどの製品について、インターネット等で調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・高分子化学（第5版）（村橋俊介ら編／共立出版／¥4,290／ISBN=9784320043800）

科目コード	2695880
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**大規模災害とインターネット**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	48名
担当講師	オオツキ　カズヒロ 大月　一弘 放送大学兵庫学習センター客員教授／神戸大学名誉教授
日程 実施時間	11月11日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月12日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
地震・津波・台風・大雨などによる大規模災害に対する、防災対策や災害発生後の生命・生活を守る上での対応をする上で、自身とって適切な情報を取得することは大変重要です。近年では、災害情報の流通を図る上でインターネットの利用が注目されています。
この授業では、過去の災害におけるインターネット活用の事例を紹介しながら、インターネット、およびWWWやSNSの技術的特性を学びます。さらに、今後の災害に備えたインターネットの活用について考えます。
【到達目標】
・インターネットを活用して、災害などへの事前準備ができるようになる。
・災害発生時に、インターネットを活用して自身の行動をとれるようになる。
・日常生活におけるWWWやSNSの情報に対する適切な判断、情報発信ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 神戸の被災状況は海外から日本に伝わった（阪神淡路大震災）
第2回 インターネットは災害に強いのか？
第3回 災害発生時のネットの活用と課題
第4回 自宅でできるボランティア活動
第5回 SNSの活用
第6回 ライオンが逃げた！偽情報・誤情報への対処
第7回 ITを用いた災害への備え
第8回 新しい情報インフラの利用
【学生へのメッセージ】
インターネットがどのような効果があるのか、また、インターンネットに頼ってはいけない部分があるのか、一緒に議論しましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業中に質問したいことなどを準備しておいてください。授業終了後には、資料に記載してあるURLを参考に、自分で実際のサイトを閲覧してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2695898
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**食品衛生と食品の機能性**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	フクダ　イツコ 福田　伊津子 神戸大学大学院農学研究科助教
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 11月1日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの健康維持に必要不可欠な食について、まず食品衛生学の観点から基礎的な事項を講義します。食品衛生学では、食品の安全を脅かす要因とそれらを避けるための手段を学びます。食品の機能性については、栄養素の代謝など基礎的な事項と生体調節や疾病予防と栄養の関係について学びます。また、腸内細菌叢と健康との関連についても講義します。食品衛生と食品の機能性についての講義を通して、食の安全・安心と私たちの健康にかかわるテーマについて学びます。
【到達目標】
・食中毒に関連する病原微生物と食品を汚染する有害物質について、説明することができる。
・食品添加物と農薬について、安全性や利便性を説明することができる。
・食品衛生管理について、どのような手法があるか説明することができる。
・五大栄養素の代謝と栄養について、説明することができる。
・腸内細菌と健康との関わりについて、プレバイオティクスとプロバイオティクスの違いを理解して説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 食品と微生物、食中毒
第2回 有害物質による食品汚染
第3回 食品添加物と農薬
第4回 食品衛生管理
第5回 五大栄養素の代謝と栄養（1）
第6回 五大栄養素の代謝と栄養（2）
第7回 腸内細菌と健康との関わり（1）
第8回 腸内細菌と健康との関わり（2）・授業の総括
【学生へのメッセージ】
この講義は、過去に開講された「健康と食生活」と一部内容が重複します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、私たちの身近な食品と健康について、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・一生役立つ きちんとわかる栄養学（飯田薫子、寺本あい（監修）／西東社／¥1,540／ISBN=9784791626229）
・絵でわかる食中毒の知識（伊藤武、西島基弘／講談社／¥2,420／ISBN=9784061547803）
・体の中の異物「毒」の科学　ふつうの食べものに含まれる危ない物質（小城勝相／講談社／¥1,188／ISBN=9784062579964）

科目コード	2695901
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**衣生活を科学する**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	イノウエ　マリ 井上　真理 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月15日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
衣生活を科学的に理解することを目的として、衣服を素材・構造・機能・文化の多面的な側面から総合的に学びます。まず、繊維素材の種類や特性、糸・布の構造といった衣服の基礎的要素について理解を深めます。次に、衣服の快適性や安全性を評価するための科学的指標や測定方法を学び、人体との相互作用や気候との関係を検討します。
また、衣服が持つ文化的・社会的役割、歴史的変遷、グローバル化やファッション産業との関わりについても取り上げ、衣生活を広い視野から考察します。さらに、環境負荷や資源循環の観点から持続可能な衣生活のあり方を検討し、現代社会が抱える課題と向き合う姿勢を育てます。
【到達目標】
・衣服と人間・環境との関係を科学的に説明できる力を身につけることを目指す。
・繊維素材の特性や衣服機能に関する基礎知識を理解し、快適性・保温性・吸湿性などの科学的概念を用いて衣生活を分析できる。
・衣服の文化的・社会的背景を踏まえて、多様な価値観や生活様式に応じた衣生活のあり方を考察できる。
・持続可能性や衣服ロス、リサイクルなど現代的課題に対して、自ら問題を発見し、改善策を主体的に検討できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 衣生活を科学するとは：衣服と人間生活の基礎
第2回 繊維素材の種類と特性
第3回 合成繊維の発展
第4回 糸・布の構造と加工技術の基礎
第5回 衣服の機能性：快適性・温熱環境との関係
第6回 衣服と身体：フィット、動作、人体との相互作用、肌触りの良さ
第7回 衣服の文化・社会的役割と歴史的背景
第8回 環境と衣生活：サステナビリティ ・衣生活の未来を考える：まとめとディスカッション
【学生へのメッセージ】
衣服は、私たちの生活を支える身近な存在でありながら、多様な要素が関わっています。本授業では、衣生活を多角的に捉え、幅広い観点から理解を深めます。普段あたりまえに着ている衣服を科学してみてください。
【受講前の準備学習等】
身近な衣服がどのような素材で作られているかについて衣服の表示などを調べ、季節に応じた素材、衣服の着方など、自分なりの考察をまとめておいてみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・アパレルと健康－基礎から進化する衣服までー（日本家政学会被服衛生学部会編／井上書院／¥2,640／ISBN=9784753023226）
・着ごこちと科学（原田隆司／裳華房／¥1,540／ISBN=9784785386405）

科目コード	2695910	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、運動処方の基礎的概念から健康増進や生活習慣病、メタボリックシンドロームの予防・改善における身体活動・運動・栄養の重要性、また最適で効果的な運動や栄養摂取の方法、健康や体力の維持管理方法に関して解説します。 実際の運動指導や栄養介入の現場における実践報告や国内外での運動や栄養による健康増進に関する最新の研究などを交えて科学的で信頼性のある運動方法・栄養摂取に関してわかりやすく解説します。 **【到達目標】** 普段の運動習慣や食習慣を把握し、日々の運動や栄養が自分の健康にどのような影響を与えているのかを理解し、自分や、身近な人に対して、科学的な根拠を基にした、適切な運動処方箋を作成できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション・研究紹介 第2回 運動処方とは？ 第3回 適切な運動強度（筋力トレーニング・有酸素運動）の設定方法 第4回 運動・身体活動におけるエネルギー消費量とMETS 第5回 女性・子ども・高齢者・有疾患者における運動 第6回 運動やスポーツと運動 第7回 海外の運動処方・ストレスに対する運動と栄養摂取 第8回 実際の運動処方箋の作成 **【学生へのメッセージ】** 子どもから高齢者、有疾患者、アスリートまで運動は多くの人が必要としており、目的や対象者によってその方法は大きく異なります。科学的根拠に基づいた肥満症、糖尿病、高血圧等の生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防・改善に向けた、栄養介入、運動処方を説明していきます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して、運動処方の必要性を知り、身近な人に運動処方箋を作成に必要な運動様式や栄養摂取の背景情報を整理しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	兵庫学習センター		
学習センターコード	28A		
クラスコード	K		
科目名	**健康運動科学・運動栄養学**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	サトウ　コウジ 佐藤　幸治 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授		
日程 実施時間	11月26日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月27日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		
実施会場	兵庫学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	クマノ　ミチコ 熊野　道子 放送大学兵庫学習センター客員教授／ 元大阪大谷大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:45～15:15 第4時限 15:25～16:55 10月18日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:45～15:15 第4時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 実験１「ミュラー・リヤー錯視」の実施と解説
第3回 統計的分析、レポートの書き方
第4回 実験２「概念学習」の実施
第5回 実験２「概念学習」の解説
第6回 実験３「情報伝達」の実施
第7回 実験３「情報伝達」の解説
第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
Word、Excelなど基本的なパソコン操作を習得されていることを望みます。実験実施・データ解析・レポート作成はパソコンを使用して行います。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
　OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　Wordが必要です。
　Excelが必要です。
４．その他
　マウスを持参してください。
　ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2695928
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**脳からみた 感覚・知覚の世界**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	カワイ　サトル 川合　悟 帝塚山大学名誉教授
日程 実施時間	10月22日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月23日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちは、外界や身体内部からの情報をどのように感じ、知覚しているのでしょうか。また、これら機能の老齢化や障害は、私たちの日常生活にどのような影響をもたらすのでしょうか。授業では、感覚実験やグループワークをベースに、感覚の不思議やそれを支える脳の神秘を、私たち自身の脳を通じて体感していきます。その意味で「脳からみた」とネーミングしましたので、本授業は、脳の詳細な知識の提供が目的ではありません。したがって、脳に関心がなくても、感覚実験やグループワークに関心のある方ならどなたでも受講できます。

【到達目標】
他者との関わりや実験を体験しながら、心理学の目指す多様性と個の尊重および共生・共存の重要性に気づくとともに、私たちの情報処理を支える感覚や知覚の機能を理解し、その重要性に気づき、その知識を活用して、自身や他者の心身の健康やQOLを向上させることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学の世界へようこそ
第2回 実験心理学体験（1）
第3回 感覚・知覚の世界
第4回 五感の不思議（1）
第5回 五感の不思議（2）
第6回 五感の不思議（3）
第7回 実験心理学体験（2）
第8回 実験の振り返り/授業の振り返り

【学生へのメッセージ】
心理学の学びは、単にその「知識」を吸収するだけなく、その「知識」に基づいて、自身の「感性」と「行動力」を成長させることが重要です。面接授業では、基本的知識だけでなく、問題解決力、多様性への理解、主体的行動力についても考えていきます。これら３つの力で、より良い日常生活、より良い人生、持続可能な共生共存社会の構築を目指して欲しいと思います。

【受講前の準備学習等】
「公認心理師」という国家資格の成立（2018年）を機に、心理学は、医学・生理学・薬学など多くの学問領域との結びつきが密になりました。特に、カウンセラーを目指す学生さんには、心理学とともに、脳科学・医学・薬理学の知識も必須になりました。授業では、脳の基礎的知識にも触れますので、事前に脳の知識（構造と機能）に触れておくと、授業が理解しやすくなります。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。授業は、ワークシート（当日配布し、最終日に提出）を作成しながら行いますので、必ず筆記用具（鉛筆またはボールペン可）を用意してください。最終日のレポート（授業の振り返り）も原則、自筆でお願いします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・知覚心理学の基礎（松田隆夫／培風館／¥4,180／ISBN=9784563056438）
・感覚の地図帳（山内昭雄、鮎川武二／講談社／¥4,180／ISBN=9784062061483）
・脳と心的世界、主観的経験のニューロサイエンスの招待（マーク・ソームズ、オリヴァー ・ターンブル（平尾和之訳）／星和書店／¥4,180／ISBN=9784791106363）
・脳科学の教科書　神経編（理化学研究所脳科学総合研究センター／岩波書店（新書）／¥1,078／ISBN=9784005006809）
・脳の話（時実俊彦／岩波書店（新書）／¥1,144／ISBN=9784004161257）

【その他（特記事項）】
パソコンを持参してインターネットに接続したい場合は、無線LAN利用の申請が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。

科目コード	2695936
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**認知心理学実験実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マツモト　エリコ 松本　絵理子 神戸大学大学院国際文化学研究科教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 10月30日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
認知心理学における実験について、実習を通じて学びます。はじめに、心理学研究法について解説し、次に実験データの整理方法やレポートの書き方を学習します。その後、テーマごとの実験についてレクチャーを行い、実験参加者および実験者として実験実習を進めます。得られたデータを集計・解析し、考察とディスカッションを経て、レポートを作成するという流れで進めます。受講生は、原則として８回の授業すべてに出席し、演習を行った全ての実験に関するレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
・認知心理学の実験を実習を通じて学び、心的過程の計測方法への理解を深めることができる。
・心理学実験の進め方や手続き、実験データの整理方法、基本的な統計用語を習得し、レポートにどのような情報を提示すべきかを考えることで、心理学におけるデータ分析と表現方法を理解することができる。

【授業テーマ】
第1回 認知心理学と心理学研究法について
第2回 実験データの取りまとめ方とレポートの書き方について（簡易な課題実習を通じて）
第3回 認知的葛藤（ストループ効果）の実験、データ収集、データ整理
第4回 認知的葛藤（ストループ効果）の解説、レポート執筆指導
第5回 記憶の再生・再認・符号化：データ収集、データ整理
第6回 記憶の再生・再認・符号化：実験解説、レポート執筆指導
第7回 注意に関する実験、データ収集、データ整理
第8回 注意に関する実験の解説、レポート執筆指導、授業のまとめ

【学生へのメッセージ】
自ら実験に参加し、そのデータをもとにレポートを作成するため、実験への積極的な参加を求めます。
また、グループで作業やディスカッションを行い、互いに実験者と実験参加者を務めながら協力して実習を進めます。

【受講前の準備学習等】
実習課題の内容については事前に調べる必要はありませんが、基本的な統計学の用語（分散と標準偏差、独立変数と従属変数など）をインターネットやテキストで参照しておくと、より理解が深まります。
その他、シラバスの内容を踏まえ、自己学習に努めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記具、電卓（“√”のキーが付いているものが望ましい）、定規（15cm程度が測定可能なもの）、タイマー（スマートフォンの機能で良い）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・心理学　新版（無藤隆、森敏昭、遠藤由美、玉瀬耕治／有斐閣／¥4,620／ISBN=9784641053861）
第一部の心の仕組みと働きの中の、心理学とは何か、感覚と知覚、記憶の項目が講義を理解する上で参考になると考えます。

【その他（特記事項）】
色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2689189
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヒガタ　アツコ 日潟　淳子 大阪大谷大学教育学部教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月6日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
心理検査は、パーソナリティをとらえる方法として医療現場、教育現場、職業適性をとらえる場面等で使用されます。本授業では、心理測定尺度の作成過程や心理検査の理論的背景を学んだ上で、実際に心理検査を体験し、心理検査の実施の仕方を学びます。また、検査結果についてのレポートの作成を通して自己理解を深めるとともに、心理検査の特質や限界、適切な使用法などを理解します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業にすべてに出席し、４つの実習すべてについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
１．心理検査の手法について説明することができる。
２．心理検査の実施の仕方を理解し、説明することができる。
３．心理検査の結果を読み取ることができる。
４．心理検査の実施、および、結果の取り扱いについての重要事項を述べることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理検査の概説
第2回 Big Five尺度の実習と解説、レポート執筆指導
第3回 YG検査の実習　人格理論について
第4回 YG検査の解説とレポート執筆指導
第5回 内田クレペリン検査の実習と解説
第6回 内田クレペリン検査のレポート執筆指導
第7回 風景構成法の実習と解説
第8回 心理検査のまとめ

【学生へのメッセージ】
自分自身を対象として心理検査を行い、解釈をすることをあらかじめ了承の上、受講をお願いします。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
黒鉛筆（２日目に必要、その他はシャープペンシルでも可）、消しゴム、定規、黒サインペン（２日目のみ）、色鉛筆（12色程度　２日目のみ）、電卓（スマートフォン等でも可　１日目のみ）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・心理検査の実施の初歩（願興寺礼子、吉住隆弘（編）／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）
・臨床心理検査バッテリーの実際　改訂版（高橋依子、津川律子（編著）／遠見書房／¥3,300／ISBN=9784866161778）

科目コード	2695944
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**グローバル化時代のアジア**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	オオタ　カズヒロ 太田　和宏 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月25日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では皆さんと過去・現在・未来を見通しつつグローバル時代のアジアの状況を考えていきたいと思います。中国の大国化とともに国際秩序が大きく変化し、新しい協力、対立関係が生じています。多様性をもつ東南アジア諸国は国家をこえた「アセアン共同体」を結成し新しい挑戦をしています。こうした実態を理解するだけでなく、どのように捉えたらよいのかを検討していきます。講義だけでなく皆さんとの意見交換を重視したいと思います。
【到達目標】
この授業の目標は以下です。
・現在のアジアの概況について理解できるようになる。
・アジアの歴史的文化的背景について理解を深めることができる。
・現在の状況に対する自身の意見が持てるようになる。
【授業テーマ】
第1回 グローバル時代のアジア秩序
第2回 中国の変容
第3回 韓国、北朝鮮
第4回 日本と東アジアを考える
第5回 文明の交錯地東南アジア
第6回 東南アジアの多様性
第7回 アセアン共同体と国際秩序
第8回 アジアについて考える
【学生へのメッセージ】
前提知識は必要ありません。把握した情報をどのように捉えたらよいのかを考えるように努めてください。皆さんの意見交換を重視したいと思います。
【受講前の準備学習等】
日頃からアジアに関する情報やニュースなどを読み、考えをまとめてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695952
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**環境経済・政策入門**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	サトウ　マサユキ 佐藤　真行 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月30日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
環境問題が発生する経済メカニズムを分析し、政策応用について考察します。環境と経済のトレードオフを分析し、超克して、持続可能な発展を実現することを目標として、環境経済学と環境政策論を講義します。
【到達目標】
環境経済学の基礎を理解し、環境負荷と切り離した経済発展（「デカップリング」）の可能性、およびそのための環境政策について考察できるようになる。そのうえでネイチャーポジティブ、持続可能な発展（SDGs）、ウェルビーイングなどの近年注目を集めているトピックについての議論ができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 環境問題と経済学
第2回 環境問題の発生メカニズムと環境経済学の課題
第3回 環境と開発
第4回 フローアプローチからストックアプローチへ
第5回 公共政策・環境政策の基礎
第6回 地球温暖化防止と環境政策
第7回 生態系・生物多様性保全と環境政策
第8回 持続可能な発展と環境政策
【学生へのメッセージ】
理論と実際をバランスよく扱うようにします。現実に起きている環境問題やとられている環境対策を念頭に置いて受講してください。事前知識は前提としません。環境問題や持続可能性に興味のある学生を対象とします。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
事前学習として、環境問題に関する新聞等の報道に注意を払って関心点を明確にしてください。事後学習は配布した資料と当日の講義を踏まえて、関心のある環境問題についての国内外の対応について情報収集し、考察してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2695960
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**危機管理と防災**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	ゴトウ　ケンスケ 後藤　健介 大阪教育大学教育学部教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月15日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
安全な環境づくりは、自分も含めた尊い命を守るために必要不可欠なものでありますが、現代社会においては、頻発する自然災害や想定外の事件や事故などから身を守るためには、過去の事例からの教訓を整理し、加えて新たな知識を習得しつつ、これらを蓄積していくことが重要となります。本講義では、防災を中心に、交通安全や防犯、外傷予防などに関する過去の実例などを紹介しながら、危機管理において必要となる知識を網羅的に説明し、危機意識の向上を目指します。
【到達目標】
特に防災を中心とした危機管理についての基礎から応用について理解し、自分や大切な人の尊い命を守るための知識を身につけ、危機時における正しい判断と行動力に繋げることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 安全の概念
第2回 生活安全
第3回 事例から見る危機対応の課題
第4回 防災・減災
第5回 事例から見る自然災害
第6回 災害民話
第7回 自然災害と歴史①
第8回 自然災害と歴史②
【学生へのメッセージ】
この講義では、講師自身の研究事例や現地調査結果、経験談などを紹介しながら、皆さんが危機管理に興味を抱き、主体的に学習し、危機意識を高めることができるような内容で講義を展開します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。特に講義で興味を持たれた内容については、主体的に調べて学習されることを期待します。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・暮らしと自然災害（後藤恵之輔、後藤健介、後藤厳寛、森正／電気書院／¥2,750／ISBN=9784485300527）
・改訂版　セーフティプロモーションー安全・安心を創る科学と実践（日本セーフティプロモーション学会（編集）／晃洋書房／¥3,300／ISBN=9784771037700）

科目コード	2695979
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**社会の歪みと法の役割**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	カスガ　ツトム 春日　勉 神戸学院大学法学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月20日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、わたしたちの暮らしの中で日々起こっている様々な問題を「歪み」と捉え、それを人権を重んじる公正な社会という観点から検証し、当該問題が有する課題と法の役割について検討します。画像や映像を使いながら解りやすい講義に努めます。
【到達目標】
わたしたちの暮らす社会の諸矛盾や問題点について理解し、その解決策について自ら考え答えを出すことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 育まれる命ー「生殖補助医療」について考える
第2回「優生思想」と差別の構造
第3回「拘禁刑」の導入と元犯罪者の更生
第4回 LGBTQの人々とわたしたちのまなざし
第5回 誤判と「再審」ー冤罪を防ぐために
第6回「終末期医療」と人権ー安楽死・尊厳死の問題から
第7回 リベラリズムと民主主義ーその先に観えてくるもの
第8回 これまでの課題のまとめ
【学生へのメッセージ】
この講義は、過去に開講された「私たちの暮らしと法」「私たちの暮らしと法2」と内容が一部重複します。
また、本授業で使用する映像には、一部刺激的な場面が含まれます。
【受講前の準備学習等】
各テーマについて、よりよく理解するために、新聞や書籍、インターネットの情報を通じて、事前に下調べしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・<市民>と刑事法ーわたしとあなたのための生きた刑事法入門［第5版］（内田博文・佐々木光明（編）／日本評論社／¥2,750／ISBN=9784535525641）
・刑事政策へのいざない（甘利航司（編）／日本評論社／¥2,860／ISBN=9784535528741）

科目コード	2695987	**授業概要**	**【授業内容】** 昨今のAIの開発と活用などを中心とする技術革新について「第四次産業革命（あるいはそれらを一層深化させた第五次）」という表現が用いられることがあります。この授業では、その数えかたから言えば最初の第一次にあたるイギリス産業革命とその前後のプロセス、そしてイギリスに続く後発国の工業化について、世界経済の歩みを背景に、多面的な視角から取り上げます。産業革命の研究はそれ自体長い歴史を有しますが、こんにちに至るまで新たな研究が途絶えることなく、たえずその意義と性格が問い直されています。 **【到達目標】** 長期的な世界経済の歩みのなかで産業革命の実態と役割を認識し、それが現在まで続く構造と枠組みを形作ったことについて理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 GDPと経済成長モデル 第2回 産業革命の国際的背景 第3回 工業化の必要条件 第4回 イギリス産業革命による革新 第5回「革命」の実態 第6回 後発国の工業化：ヨーロッパ大陸 第7回 後発国の工業化：アメリカ合衆国 第8回 世界資本主義システムの形成 **【学生へのメッセージ】** 担当者は大学では主として西洋経済史の授業を担当しております。仕事上文献や史料を目にする機会は多いですが、この講義ではとくに特定の製造業の技術的側面を取り上げることがあります。現場を知らない人間ですので、折々ご教示等いただければと思っております。 **【受講前の準備学習等】** この授業のテーマに関わる文献は下記以外にも多数出版されていますので、上記授業テーマを参考に、関心を持たれたタイトルの本にあらかじめ目を通しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	兵庫学習センター		
学習センターコード	28A		
クラスコード	K		
科目名	**産業革命と世界経済**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	シゲトミ　キミオ 重富　公生 放送大学兵庫学習センター客員教授／神戸大学名誉教授		
日程 実施時間	2027年1月8日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 2027年1月9日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		
実施会場	兵庫学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・世界史のなかの産業革命（R.C. アレン／名古屋大学出版会／¥3,740／ISBN=9784815808945）

科目コード	2695995
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**近代日本住宅史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	ウメミヤ　ヒロミツ 梅宮　弘光 神戸大学名誉教授
日程 実施時間	11月11日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月12日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:10 試験・レポート等 12:15～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55
実施会場	この授業は、【兵庫学習センター、2日目第3・4時限は★竹中大工道具館（兵庫県神戸市中央区熊内町7-5-1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
明治時代から現代に至る住宅の歴史をとおして、その様式と技術の変遷、そこで営まれる生活の変化、西洋の影響と伝統文化の関係などをたどる授業です。まず近代に至るまでの西洋と日本の建築史を概観したうえで、日本の住宅と街並みの近代化過程を、多くの写真や図版を用いながらテーマに即して解説します。おわりには竹中大工道具館を訪れて、日本の伝統的木造建築を生み出した技術とその成果に触れると同時に、建物と庭が調和した同館の素晴らしい展示空間を体験します。

【到達目標】
日本における住宅の近代化過程を、西洋の影響と伝統文化の関係をふまえて、住生活とその器である住宅建築の変化として具体的に説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 導入、西洋建築の歴史：古代から19世紀まで
第2回 日本建築の歴史：古代から江戸時代まで
第3回 明治期：西洋建築との出会いから日本人建築家の誕生まで
第4回 大正期：生活改良運動から郊外住宅地の成立まで
第5回 昭和戦前期～戦中期：モダニズムと伝統のはざまで
第6回 戦後期～現代：戦災復、高度成長、そして現代
第7回 竹中大工道具館の見学
第8回 竹中大工道具館の見学

【学生へのメッセージ】
住宅は私たちに身近な生活環境の一部ですが、今日に至るまでの変化やその要因を知ることで、文化財や名建築のみならず、日常の何気ない建物にも歴史を発見することができるでしょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容をふまえて自己学習に努めてください。たとえば、ご自身がこれまでに見聞したり体験した建物を思い起こし、そこから連想したことをインターネット検索するなどし、そうして得られた事柄をシラバスにある各時代に対応させてメモしておけば、受講が実感を伴うものになり、レポート作成にも役立つと思います。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
※レポートは２日目の第2時限後に実施します。
※レポートのテーマは「近代日本の住生活と住まいの変遷について」。テーマの趣旨を１日目第1時限の冒頭で説明します。

【受講者が当日用意するもの】
・竹中大工道具館の入館料600円程度（大学生団体料金）
・学生証
・竹中大工道具館までの交通費（神戸市バス片道230円　※ICカード乗り継ぎ割引の場合）
・歩きやすい靴

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・図説・近代日本住宅史　新版（内田青蔵／鹿島出版会／¥3,520／ISBN=9784306044937）
・図説近代建築の系譜（大川三雄、川向正人、初田亨、吉田鋼市／彰国社／¥3,520／ISBN=9784395004706）

【その他（特記事項）】
・この授業は、兵庫学習センターにて行いますが、２日目第3・4時限は竹中大工道具館にて行います。また現地までの交通費230円（神戸市バス）と竹中大工道具館の入館料600円が必要です。
・２日目は実地見学があるため、時間割を変更して行いますがご了承ください。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。
※学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧（P.5）をご覧ください。

科目コード	2696002
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**美術表現ー理論と実践ー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	キシモト　ヨシヒロ 岸本　吉弘 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授／ 放送大学兵庫学習センター客員教授
日程 実施時間	11月18日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月19日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
美術表現（とりわけ絵画表現）を理解できるようになる豊かな感性と、必要な知識、更には実践能力をも養うのが本授業の大きな特徴です。主に近代化以降の20世紀の絵画表現（なかでも近代絵画や抽象絵画）を軸としながら、その表現の内実を時代背景なども俯瞰しながら考察します。それらは美術作品に対する理解力・鑑賞力を身につけることに繋がります。更には実践的・感性的なアプローチとしてワークショップ（実制作）も実施・体験し、豊かな「自分らしい」解釈による表現力を養い、絵画表現への多角的な総合理解へと繋げます。
【到達目標】
絵画表現の変遷や多様性を、近代絵画史の観点から理解を深めること、いわゆる「絵画を見る・知ることができる」が第1目標。更に第2目標としては、それに実践・体験が加わり「絵画を（自分なりに）表現することができる」ようになること。これらは絵画表現の多角的な総合理解に繋がり、知性・感性ともに高めることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 導入として絵画の定義や起源、歴史的展開や変遷の紹介
第2回 近代絵画①リアリズムからの開放・印象主義の筆触分割からセザンヌへ
第3回 近代絵画②形の分解と組み立て・キュビズムの表現について
第4回 ワークショップ1（キュビズム的試行）鉛筆表現で実践
第5回 色彩についてー絵画における色彩表現を思考する
第6回 抽象絵画①3大抽象絵画開拓者の登場について
第7回 抽象絵画②現代における色彩表現の特徴
第8回 ワークショップ２（抽象表現的試行）色鉛筆で実践
【学生へのメッセージ】
美術（絵画）の歴史や理論、そして更には実践に関心がある学生の積極的な履修をお願いします。じっくりと絵画表現に「多角的」に向き合っていただきます。
【受講前の準備学習等】
シラバス内容から事前に判断して自己学習に努めてください。
絵画表現を身近なものとして感じるために、絵画をじっくりと見る（自分なりに観察・分析する）行為が必要です。世には様々な絵画表現が存在しています。美術館において実際の作品を鑑賞することもより効果的で、絵画を通じて思考を巡らせ感性を磨く機会を多くつくってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
鉛筆2B以上のものを２本程度、消しゴム、カッターナイフ、色鉛筆（12色セット）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・絵画　新たなる物語のために（岸本吉弘／晃洋書房／¥2,970／ISBN=9784771030091）

【その他（特記事項）】
２日間共に座学のみならず、学んだ内容を簡単に表現するワークショップ（実技）を実施します。画用紙（紙類）はこちらで準備し配布しますが、上記の「受講生が当日用意するもの」については各自が準備し持参ください。

科目コード	2696010
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**近代日本外交史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	23名
担当講師	カワシマ　マコト 河島　真 神戸女学院大学文学部教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月22日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:10 試験・レポート等 12:15～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55
実施会場	この授業は、【兵庫学習センター、2日目第1・2時限は★垂水区文化センター（神戸市垂水区日向1-5-1レバンテ垂水2番館3階）で行い、2日目第3・4時限は★舞子砲台跡・孫文記念館・旧武藤山治邸（神戸市垂水区東舞子町)】で行います。

授業概要

【授業内容】
鎖国によって維持されていた幕藩体制は開国とともに動揺し、明治維新を迎えます。その後は、西洋列強に対しては日本の独立を守ること、アジア諸国に対しては政治的・経済的・軍事的な影響力を拡大することを基本として日本の外交は推移しますが、中国や朝鮮などで独立や近代化をめざす現地のグループと連帯を模索する動きもありました。この授業では、こうした近代日本の外交全般を概観しつつ、外交が国内政治に与えた影響、逆に国内政治が外交に与えた影響にも目配りし、両者の相互関係を捉えるよう努めます。また、外交に関わる神戸市内の施設の見学も行います。
【到達目標】
近代日本の外交を、江戸時代からの変化を念頭に置きつつ、日本、アジア及びヨーロッパの三者の関係に留意し、かつ国内政治との関連を視野に入れて理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 日本の開国（前近代の外交、開国に至る過程、開国の影響など）
第2回 明治政府の外交政策（対欧米政策、対アジア政策、条約改正問題など）
第3回 日清・日露戦争（明治中期のアジア外交、脱亜論の形成、日清戦争、日露戦争など）
第4回 第１次世界大戦と国際秩序の変容（第１次世界大戦と日本、ワシントン体制の成立、戦後の日中関係など）
第5回 昭和初期の日本外交（満洲事変、日中戦争、アジア・太平洋戦争など）
第6回 孫文の革命（孫文の生涯、辛亥革命とその後の中国情勢、孫文と日本との関係など）
第7回 舞子砲台跡・孫文記念館・旧武藤山治邸の見学と現地説明①
第8回 舞子砲台跡・孫文記念館・旧武藤山治邸の見学と現地説明②
【学生へのメッセージ】
その時々に選択された外交政策が正しいか正しくないか、良かったか悪かったかではなく、国際情勢と国内情勢の両方の観点から、なぜそのような選択がなされたのかと、それがどのような結果をもたらしたのかを考えるように努めていただけると嬉しいです。
【受講前の準備学習等】
近代日本の外交における基本的な事項について、事前に自己学習に努めてください。また、配布する資料を読み直して復習し、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
必要に応じてメモ・ノートなど
学生証
２日目JR垂水駅からJR舞子駅の交通費140円
孫文記念館の入館料200円程度（大人団体料金）
旧武藤山治邸の入館料50円程度（大人団体料金）
歩きやすい靴
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この授業は、１日目は兵庫学習センターにて行いますが、２日目第1・2時限は垂水区文化センター、第3・4時限は舞子公園内にある舞子砲台跡、孫文記念館および旧武藤山治邸にて行います。
２日目第1・2時限の実施会場について、変更が生じる場合があります。当日の詳細については、１日目に連絡します。
２日目は海岸沿いを移動および実地見学しますので、防寒対策をしてください。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。
※学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧（P.5）をご覧ください。

科目コード	2696029
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**日本中世史2**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	イチザワ　テツ 市澤　哲 放送大学兵庫学習センター客員教授／神戸大学名誉教授
日程 実施時間	12月9日(水) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 12月10日(木) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:10 試験・レポート等　12:15～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55
実施会場	この授業は、【兵庫学習センター、★尼崎市立歴史博物館(兵庫県尼崎市南城内10－2)】で行います。

授業概要

【授業内容】
鎌倉時代の末期、尼崎海岸部で東大寺の荘園支配に反する「悪党」事件が起こりました。「悪党」とは荘園支配を妨げたとして、朝廷、鎌倉幕府によって排除の対象になった人々のことを言います。授業ではこの事件の推移を史料を読みながら検討するとともに、悪党と名指しされた人物、悪党事件に対峙した東大寺、悪党の排除を命じた朝廷、実際に悪党の排除を執行した幕府の関係者の動向について検討しながら、当該期の大阪湾岸地域の政治情勢について考えます。また、現地授業では尼崎市立歴史博物館を訪問し、中世における尼崎の地域的特性について学ぶ予定です。
【到達目標】
鎌倉時代末期の悪党事件について、概略的な説明ができるようになる。また、鎌倉時代末期の大阪湾岸地域の政治情勢を考える際に、どのような史料があるのか、またそれらをどのように利用したらよいのか、基本的な説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 悪党事件に関する研究史の検討
第2回 中世の尼崎地域の特性
第3回 尼崎の悪党事件（1）
第4回 尼崎の悪党事件（2）
第5回 尼崎の悪党事件（3）
第6回 講義のまとめ・現地見学会の事前学習
第7回 現地見学会（尼崎市立歴史博物館とその周辺を予定）
第8回 現地見学会（尼崎市立歴史博物館とその周辺を予定）
【学生へのメッセージ】
授業では、史料を丁寧に読むことで、史料から歴史の事実を復元していく過程を学んでいただきたいと思います。最初は煩雑に思えるかも知れませんが、読み進めるうちに、史料が豊かな情報を蔵していることに気がついていただけるはずです。
また、2日目は現地までの交通費（神戸市バス230円、阪神電車280円）が必要です。
【受講前の準備学習等】
事前学習：鎌倉末期の悪党事件が通史（各出版社から出ている日本史の通史シリーズなど）の中でどのように描かれているのかを確認しておいてください。2回目以降は授業プリントの史料に目を通しておいてください。
事後学習：授業プリントの史料がスムーズに理解できるか確認してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
2日目第3・4時限は尼崎にて実地見学を予定しています。また、現地までの交通費510円（神戸市バス、阪神電車）が必要です。なお、詳細については1日目に連絡します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。詳細は面接授業開設科目一覧（P.5）をご確認ください。
また、「日本中世史」を受講している必要はありません。

科目コード	2696037	**授業概要**	**【授業内容】** ベルギー連邦王国は、3公用語（フランス語・オランダ語・ドイツ語）を持つ多言語・多文化・多民族国家です。隣の芸術大国フランスの周縁に位置づけられますが、首都ブリュッセルにはEU（ヨーロッパ連合）の本部や諸国際機関が置かれた重要な場所でもあります。知られざる小国ベルギーの芸術文化に注目し、歴史・社会的背景と共に見ていきます。具体的には、多様な地域（都市）のアイデンティティ／記憶の「物語」とその表象を、文化的変容と共に現在、そして日本とも繋ぎつつ考察します。 **【到達目標】** 多言語・多文化・多民族国家の状況をベルギーを例として理解し、その文化表象を芸術作品の分析を通し社会的背景とも関連づけて説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 ブリュッセル１：王立モネ劇場とベルギー独立革命 第2回 ブリュッセル２：アール・ヌーヴォーと背景としての植民地帝国主義 第3回 ブリュッセル３：ベルギーのフランス語文学の歴史と現代作家 第4回 補助資料（テキスト、映像など）の読解、ディスカッション 第5回 アントウェルペン（アントワープ）：『フランダースの犬』と日本 第6回 ブリュッヘ（ブリュージュ）：『死都ブリュージュ』と都市の象徴 第7回 ヘント（ゲント）：マーテルランク『ペレアスとメリザンド』のゲルマン性 第8回 補助資料（テキスト、映像など）の読解、ディスカッション **【学生へのメッセージ】** 大国だけでなく、周縁文化にも目を向け、多角的な視野を持つように心がけてください。質疑応答で積極的に授業に参加してください。 **【受講前の準備学習等】** ベルギーのイメージや知っていることについて考えて整理しておいてください。また、芸術作品（絵画や文学など）にはどのようなものがあるか、事前に調べてみてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	兵庫学習センター		
学習センターコード	28A		
クラスコード	K		
科目名	**ベルギーの芸術文化**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	イワモト　カズコ 岩本　和子 神戸大学名誉教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月20日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		
実施会場	兵庫学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696045
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**GitHubによる ウェブ開発**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ソン イツ 孫　一 神戸情報大学院大学情報技術研究科准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月25日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【授業前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を整えられるか確認してから科目登録してください。

本授業では、Webサイト開発を題材に、Gitによる履歴管理とGitHubを用いた共同作業の基礎を演習形式で学びます。ローカル環境での編集から、add／commitによる変更の記録、ブランチ作成・マージ、差分確認や簡単な復旧操作までを段階的に体験します。さらに、Issueで作業を整理し、Pull Requestによるレビューと修正の流れを通して、ソフトウェア開発の基本的な進め方を理解します。加えて、GitHub Actionsを用いて変更内容の自動チェック(CI)と、GitHub Pagesへの自動公開(CD)を設定し、更新・検証・公開までを一連の流れとして実践できることを目指します。
【到達目標】
・Gitを用いた基本的なバージョン管理（変更の記録・履歴／差分の確認）を行い、作業を安全に進められるようになる。
・GitHub上でリポジトリを運用し、Pull Requestによるレビューを含む共同作業の基本操作ができるようになる。
・GitHub Actionsによる自動チェック（CI）とGitHub Pagesへの自動公開（CD）を設定し、Webサイトを更新・検証・公開する一連の流れを実践できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 バージョン管理とは、GitとGitHubの概要
第2回 Gitの基本操作（1） 初期化、追加、コミット、履歴、差分
第3回 Gitの基本操作（2） ブランチ、マージ、コンフリクトの解決
第4回 GitHubの基本操作　リポジトリ作成、push/pull、README整備
第5回 GitHubの共同作業体験　IssueとPull Request（レビューの流れ）
第6回 GitHub Actionsを使ったCI体験　ワークフロー作成と自動チェック
第7回 GitHub Pagesでのホームページ公開　公開設定と自動デプロイ（CD）
第8回 まとめ　成果の確認、振り返り
【学生へのメッセージ】
GitやCI/CDは難しそうに感じるかもしれませんが、本授業では、専門知識よりも「まず動かして体験する」ことを重視して進めます。初めての方を対象に、用語や操作を丁寧に確認しながら演習を行いますので、安心して受講してください。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
パソコンの基本的な操作ができ、メールやインターネットの活用や、自らアプリのインストールができるようにしておいてください。また、Webブラウザとして Google Chromeを使用できるようにインストールしておいてください。可能であれば、Git（必須）およびテキストエディタ（推奨：Visual Studio Code等）の準備をお願いします。
なお、授業でGitHubを使用しますので、GitHubアカウントの作成は講義時間内に行います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
ノートパソコンを持参してください（タブレット端末やスマートフォンは不可です）。
ここでいうパソコンとは、「Microsoft Windows 11で動作するパソコン」、「macOS 14以降で動作する Mac」のことです。Google Chromebookは使用できません。
2．OSの指定
Windows11が必要です。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
3．ソフトのインストール
Webブラウザとして、Google Chromeをインストールしておいてください。
Git（必須）およびテキストエディタ（推奨：Visual Studio Code等）を使用できるようにしておいてください。
配付資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

科目コード	2696053
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**素粒子と宇宙：概論**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	アオキ　シゲキ 青木　茂樹 神戸大学名誉教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 10月18日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
ミクロの極限である素粒子とマクロの極限である宇宙、両極端にありながらこの両者は密接に関わっています。顕微鏡でも見ることができない極微の世界を記述する素粒子物理学、現場に行くことができない遥か遠くまでの世界を記述する宇宙物理学、それぞれの知見がどのように確立されて来たのかを概観します。
【到達目標】
・物質がどのような構成要素によって成り立っているかに関して、人類がどのように理解を進めて来たかについて理解できるようになる。
・宇宙での天体の振る舞いに関して、人類がどのように理解を進めて来たかについて理解できるようになる。
・ニュートリノとは何かについて知り、日本が世界をリードするニュートリノ研究の一端を知ることができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション、原子、原子核、原子模型
第2回 湯川の中間子論、反粒子
第3回 坂田模型、クォーク、原子核・素粒子物理学の応用例
第4回 天動説と地動説、ハッブルの法則
第5回 ビッグバン、元素（原子核）の合成、超新星爆発
第6回 膨張宇宙、暗黒物質、宇宙の加速膨張
第7回 ニュートリノの存在仮説とその実験的検出
第8回 ニュートリノ振動
【受講前の準備学習等】
事前に中学・高校の理科（物理・化学）で習った事について復習しておいて下さい。授業で学習したことで、気になったことについてインターネット等で調べて理解を深めて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・新版　電子と原子核の発見：20世紀物理学を築いた人々（S・ワインバーグ著；本間郎　訳／ちくま学芸文庫／¥1,650／ISBN=9784480089670）
・僕らは星のかけら：原子をつくった魔法の炉を探して（マーカス・チャウン 著；糸川洋　訳／SB（ソフトバンク）文庫／¥990／ISBN=9784797332445）

科目コード	2696061
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**最新の生物多様性科学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	ミナモト　トシフミ 源　利文 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授／放送大学兵庫学習センター客員教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:55 11月29日(日) 第1時限　9:45～11:15 第2時限　11:25～12:55 第3時限　13:45～15:15 第4時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	兵庫学習センター

授業概要

【授業内容】
産業革命以降地球上の生物多様性は急速に失われ、現代を地球史上６度目の大量絶滅期であるとする説が主流となりつつあります。授業の前半ではそもそも生物多様性とはなにか、なぜ重要なのか、なぜ減少しているのか、減少するとどのような影響があるのかなどについて概説します。後半では、生態系の状況を迅速かつ正確にモニタリングする新た手法である環境DNA分析と呼ばれる分析手法について、この分析手法の第一人者である講師から、手法の成り立ちから現在の到達点までを網羅的に講述します。
【到達目標】
生物多様性の現状と減少要因について理解し、それを踏まえて、生態系のモニタリングをどのように行う必要があるかを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 生物多様性とはなにか
第2回 生物多様性の成り立ち、減少とその要因
第3回 地球上の様々な生態系の現状
第4回 生物多様性をモニタリングするには
第5回 多様性モニタリングの最新手法～環境DNA（1）環境DNAの始まり
第6回 多様性モニタリングの最新手法～環境DNA（2）いるかいないか調べる
第7回 多様性モニタリングの最新手法～環境DNA（3）生き物の行動や状態を捉える
第8回 授業のまとめに代えて～環境DNA研究の未来
【学生へのメッセージ】
特別な知識を前提とはしませんが、生物多様性を題材としますので、それらに関する情報を事前に検索しておくことを推奨します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。
【参考書】
・環境DNA入門　ただよう遺伝子は何を語るか（源利文／岩波書店／¥1,320／ISBN=9784000297158）

【その他（特記事項）】
第5回～第7回の内容はこれまでに開講されていた「環境DNA学への誘い」と重複します。

科目コード	2696070
学習センター	兵庫学習センター
学習センターコード	28A
クラスコード	K
科目名	**灘五郷日本酒学**
科目区分	総合科目
ナンバリング	410
定員	30名
担当講師	タカハシ　トシナリ 高橋　俊成 菊正宗酒造株式会社取締役生産本部長 兼総合研究所所長 オガワ　ヨシアキ 小川　義明 辰馬本家酒造株式会社製造本部本部長／ 丹波杜氏 マキモト　ジュン 槇本　純 日本盛株式会社商品開発室室員 モリ　ノブオ 森　伸夫 白鶴酒造株式会社グループ事業本部 グループ事業本部長 モリワキ　マサヒロ 森脇　政博 沢の鶴株式会社製造部醸造課課長 兼杜氏代行 ボウガキ　タカユキ 坊垣　隆之 大関株式会社総合研究所 製品技術開発グループシニアアドバイザー タカタ　マサカズ 髙田　昌和 白鶴酒造株式会社総務人事部資料館館長
日程 実施時間	12月3日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:55 12月4日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限　11:25～12:55 第３時限　13:45～15:15 第４時限　15:25～16:10 試験・レポート等　16:15～16:55
実施会場	この授業は、【兵庫学習センター、2日目3・4時限は★白鶴酒造資料館（兵庫県神戸市東灘区住吉南町4-5-5)】で行います。

授業概要

【授業内容】
「灘五郷」を中心とした酒造りの歴史やそれにまつわる文化・風俗、酒造技術、日本酒と和食・洋食の相性、日本酒と健康、日本酒の風味の秘密、さらにはマーケティングなどについて講義すると共に酒造資料館などの現地見学も行います。
【到達目標】
灘の酒造りの歴史文化や酒造技術、灘の酒のマーケティングについて理解し、灘五郷の日本酒の価値について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回「灘の酒と風土と歴史」について（高橋）
第2回「日本酒の作り方」について（小川）
第3回「日本酒の科学」について（槇本）
第4回「灘の酒のマーケティング」について（森）
第5回「灘の酒と料理の相性」について（森脇）
第6回「日本酒と健康」について（坊垣）
第7回「酒造資料館」の実地見学1（髙田）
第8回「酒造資料館」の実地見学2（髙田）
【学生へのメッセージ】
日本酒造りをより深く理解するために、２日目の午後は時間を変更して白鶴酒蔵資料館を見学します。また、現地までの交通費（神戸市バス片道230円）が必要です。
【受講前の準備学習等】
日本酒や日本酒造りなどに関する書籍やWebサイト（例 http://www.nadagogo.ne.jp/ ）などで事前に予習をしておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、各時限に10分程度の簡単な小テストまたは小レポートを実施し、各評点を集計して行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、酒蔵資料館までの交通費（神戸市バス片道230円)、歩きやすい靴
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・日本酒の科学　水・米・麹の伝統の技（和田美代子、高橋俊成監修／講談社／¥1,188／ISBN=9784062579353）
・最新　日本酒の科学　水・米・麹の伝統の技（和田美代子、高橋俊成監修／講談社／¥1,320／ISBN=9784065411698）

【その他（特記事項)】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。
・この授業は、兵庫学習センターにて行いますが、２日目第3・4時限は白鶴酒造資料館（阪神御影駅より徒歩10分）で行います。（天候により日時等を変更する可能性があります。）また、現地までの交通費230円（神戸市バス）が必要です。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。
※学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧（P.5）をご覧ください。

科目コード	2696088
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**情報検索の仕組**
科目区分	導入科目：情報
ナンバリング	220
定員	48名
担当講師	モリシタ　ジュンヤ 森下　淳也 神戸大学名誉教授
日程 実施時間	10月22日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月23日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	姫路サテライトスペース （イーグレひめじ４階）

授業概要

【授業内容】
今や誰もが使っている情報検索ですが、どのような仕組みで実現されているかを解説します。コンピュータの中でどのようにデータを用意し、答えを見つけ、適切な形で我々に提示しているのか、これらをできるだけ平易に説明していこうと考えています。また、検索結果を提示する際のリコメンデーション問題や、最近、浸透しつつある生成AIとの関係にも触れるつもりです。
【到達目標】
皆さんが情報検索を行う際に、自分のキーワードが正しく評価されて結果を得ることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 情報検索とは？
第2回 キーワードを文書から見つける全文検索
第3回 キーワードを持つ文書を見つける情報検索
第4回 たくさんの語句の中からキーワードを見つけるには
第5回 効率の良いキーワードの見つけ方、ソーティング
第6回 インデックスを用いるデータベースシステム
第7回 結果の選び方、リコメンデーションの効果と問題点
第8回 生成AIによる検索支援、まとめ
【学生へのメッセージ】
情報検索の仕組が分かると、膨大な作業が行われていて、びっくりします。ネット検索をする際には、改めてその工程を想像してみてください。
【受講前の準備学習等】
是非、事前にGoogleなどの検索エンジンを使ってみてください。自分の欲しい情報が得られるか工夫してみてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696096
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**食文化と調理**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	サカモト　カオル 坂本　薫 兵庫県立大学環境人間学部教授／ 放送大学兵庫学習センター客員教授
日程 実施時間	11月25日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月26日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	姫路サテライトスペース （イーグレひめじ４階）

授業概要

【授業内容】
人は、単に栄養摂取だけが目的で食事をするのではありません。生きていくために欠かすことのできない食について、食文化や産業社会の現状などを踏まえ、食べることの意味や意義についての認識を深めて説明できるようになり、よりよい食生活を構築して実行に移すことができるようにすることがこの講義の目的です。
【到達目標】
食を取り巻く文化や環境について、客観性に基づく自分自身の考えを持ち、自らの意見として説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ユネスコ無形文化遺産となった和食
第2回 米食文化と日本
第3回 世界の食文化ー何を食べるかー
第4回 世界の食文化ーどのように食べるかー
第5回 食卓から見た日本の食生活の現状
第6回 郷土料理と食文化の伝承
第7回 食事バランスガイドと食育基本法
第8回 まとめと振り返り
【学生へのメッセージ】
本面接授業は、1学期に兵庫学習センターで開講する「食文化と調理」と同じ内容となりますのでご注意ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
授業で学修した内容について復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具を用意してください。
授業内で二次元コード（QRコード）を読み込む機会があるため、スマートフォンやタブレットを持参することを推奨します。
【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2696100
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**旧制姫路高校の実験機器に学ぶ**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	アキヤマ　ハジメ 秋山　肇 神戸市公立大学法人神戸市立工業高等専門学校 非常勤講師 ヨシオカ　カツキ 吉岡　克己 地方独立行政法人大阪市博物館機構 大阪市立科学館館長 イセキ　タカヒロ 井関　崇博 兵庫県立大学環境人間学部教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月13日(日) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	この授業は、【姫路サテライトスペース（イーグレひめじ４階）、★姫路科学館（姫路市青山1470-15)、★兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス（旧制姫路高校跡地）（姫路市新在家本町1-1-12)】で行います。

授業概要

【授業内容】
最後の旧制官立高等学校として大正12年に設置された姫路高校で使用されていた物理実験機器類は現在良好な状態で保存されています。本授業では旧制官立高等学校における科学教育の沿革に関する学習を踏まえ、旧制姫路高校の跡地と物理実験機器類の見学及び再現実験の実施を通して当時の「学び」を体感することを想定して企画されたものです。物理実験機器類及び関連書籍及び跡地の保存・管理に関しては神戸大学・姫路科学館及び兵庫県立大学関係者のご尽力によるところが大きく、文化遺産の保護に関する実例という観点からも講義を行います。

【到達目標】
・旧制高校の学生に期待されていた社会背景と卒業後の活動について理解を深めることができる。
・当時、急速な発展を遂げていた物理学を学ぶ上で実験体験を重ねることが何故重んじられたかを自身の視点から考察し説明することができる。
・見学した物理実験機器又は復元実験機器について、その動作原理について学習内容を整理し、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 旧制高等教育制度の歴史に関する概説（秋山）
第2回 旧制高等学校の沿革と理科教育について（秋山）
第3回 旧制姫路高校物理実験機器を用いた実験１〔姫路科学館にて〕（吉岡・秋山）
第4回 旧制姫路高校物理実験機器を用いた実験２〔姫路科学館にて〕（吉岡・秋山）
第5回 旧制姫路高校の跡地見学実習１〔兵庫県立大学姫路環境人間キャンパスにて〕（井関）
第6回 旧制姫路高校の跡地見学実習２〔兵庫県立大学姫路環境人間キャンパスにて〕（井関）
第7回 旧制三高と四高の歴史的実験機器類と旧制高等学校記念館について（秋山）
第8回 質疑応答と総括（秋山）

【学生へのメッセージ】
本授業を受講するにあたり、専攻分野等の制限は設けません。又、実験では電気を扱います。安全には配慮しますが、教員の指示を遵守して慎重に取り組んでください。

【受講前の準備学習等】
・参考資料として参考書に記載した論文を事前配布します。受講が決定した学生には学習センターより個別に郵送します。事前学習教材として一読してください（授業は読了を前提として進めます)。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
定規（15cm以上)、電卓、カメラ（物理実験機器及び資料類の撮影を希望する学生)、傘又は雨合羽（防寒具）
１日目姫路科学館までの貸切バス代640円（貸切バス代の費用の一部は一般社団法人電気学会社会連携委員会から支援されます)、姫路科学館の入館料600円。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・「地域の科学館における科学技術史資料の展示課題」科学史研究 第62巻308号 392-398頁（吉岡克己／日本科学史学会／¥0)
・受講が決定した学生にはセンターから事前に郵送します。
・事前学習教材として一読してください(当日の授業は読了を前提として進めます)。

【その他（特記事項)】
この授業は１日目第1・2時限および２日目第3・4時限を姫路サテライトスペース（イーグレひめじ)、１日目第3・4時限を姫路科学館、２日目第1・2時限を兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス（旧制姫路高校跡地）にて行います。
１日目第3・4時限の姫路科学館へは、往復ともに貸切バスにて移動します（貸切バス代の費用の一部は一般社団法人電気学会社会連携委員会から支援されます)。また、姫路科学館への入館料600円も必要です。
２日目第1・2時限の兵庫県立大学姫路環境人間キャンパスにて行います。現地集合・現地解散としますので、ご自身で交通手段等をご確認ください。
貸切バスおよび２日目第1・2時限の授業実施場所に係る詳細情報については、受講生の決定後に学習センターから連絡します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず開講前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。
※学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧（P.5）をご覧ください。

科目コード	2696118	**授業概要**	**【授業内容】** 古代以来、播磨の中心に位置する姫路の歴史的・文化的位置を考え豊かな歴史的想像力を得ていただきたいと考えます。 **【到達目標】** いくつかの歴史的アプローチを通して古代以来播磨の政治文化の中心地である姫路の歴史的変貌を学ぶことで、その時そこに生きた人々と姫路の姿を想像できるようになることを目標とする。 **【授業テーマ】** 第1回 戦国時代と姫路 第2回 豊臣の平和と姫路–姫路城の軍事的政治的位置の変化①– 第3回 徳川の平和と姫路–姫路城の軍事的政治的位置の変化②– 第4回 姫路城三の丸めぐり–御本城跡を歩いて現地学習– 第5回 姫路藩の財政再建–木綿専売と姫路藩札（木綿切手）、江戸時代のお金に触れてみよう– 第6回 播磨国分寺と播磨国府–播磨の政治文化の中心が移ったとき– 第7回 姫路城下古道界隈–大手筋・西国街道・備前門跡・飾磨門跡など現地を歩いて学習– 第8回 江戸時代の姫路の名所–「播州名所巡覧図絵」挿絵の着彩（Coloring learning）– **【学生へのメッセージ】** ・現地学習［第4回・第7回］について–（1）靴や服装に留意、（2）雨天の場合は机上学習に変更することがあります。 ・講義について–パワーポイントで説明しますが随時、教科書『改訂増補姫路城下古道界隈』を参照してください。 ・体験学習（着彩）［第8回］について–文化元年（1804）刊「播州名所巡覧図絵」の挿絵の解説とぬり絵を行います。 **【受講前の準備学習等】** ・姫路市街図などで姫路市の地理を把握しておいてください。 ・シラバスの内容から事前に課題発見に努めてください。 ・日本史の通史理解については「新もういちど読む山川日本史」（山川出版社）を参考にしてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 ※レポート課題は１日目開始時に発表しますので、可能な限り２日目4時限までに準備作成しておいてください。
学習センター	兵庫学習センター（姫路）		
学習センターコード	28S		
クラスコード	Q		
科目名	**姫路学 –姫路の歴史と文化–**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ウナキ　タカシ 宇那木　隆司 元姫路市教育委員会主任文化財専門員		
日程 実施時間	11月11日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 11月12日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55		**【受講者が当日用意するもの】** 教科書代800円 ※１日目の最初に教科書をご購入いただきます。お支払いは現金のみです。 ※教科書は毎回使用しますので２日間とも必ず持参してください。 **【教科書】** ・改訂増補姫路城下古道界隈（姫路市教育委員会文化財課／姫路市教育委員会文化財課刊行／¥800） 授業初日に販売します。
実施会場	この授業は、【姫路サテライトスペース（イーグレひめじ４階）、★姫路城下（姫路市本町68)】で行います。		**【その他（特記事項)】** ・この授業は、イーグレひめじ4階セミナー室、１日目第4時限と２日目第3時限は姫路城下にて行います（雨天時は机上学習に変更)。 ・２日間とも現地学習があるため、時間割を変更して行いますがご了承ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。 ※学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧（P.5）をご覧ください。

科目コード	2696126
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**韓国映画で学ぶ 韓国の歴史と文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	パク　チョンウ 朴　鍾祐 神戸大学グローバル教育センター教授
日程 実施時間	12月4日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月5日(土) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	姫路サテライトスペース （イーグレひめじ４階）

授業概要

【授業内容】
韓国の映画は、2000年代に入り、文化コンテンツ産業の振興の政策が積極的に進められ、量的、質的に向上されました。映画のテーマとしては、朝鮮王朝の政治情勢や戦後劇的な変化を成し遂げてきた政治情勢、韓国の経済発展の社会問題などが取り上げられ自己再認識的な作品が多く製作されました。本授業では、４本の作品を通して映画に投影された朝鮮半島の歴史と近現代の歴史に触れ、隣の国、韓国の歴史や社会状況などをより深く理解します。
【到達目標】
受講生は、近隣の歴史に触れることがあまりないなか、東アジアの近世の歴史の中で朝鮮王朝の外交を理解を深めることができるようになる。
また現代韓国の歴史の過程の様々な出来事を理解し、民主主義国家としての歩みの理解を深めることになり、日韓関係の新たな視点を持つことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 東アジアにおける朝鮮の地政学特徴
第2回 光海君の時代
第3回 韓国の現代史の歩み
第4回 朝鮮戦争と離散家族、経済発展の軌跡
第5回 丙子の乱朝鮮と東アジアをめぐる外交と戦争
第6回 丙子の乱
第7回 ハングル文字の創成と植民地下での朝鮮語
第8回 全体のまとめ
【学生へのメッセージ】
日韓関係の軋轢や先入観を捨てて、韓国の社会の素顔に接することに意欲をもって参加してほしいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、自己学習に努めて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2696134
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**データマネジメント入門**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	キヨミツ　ヒデナリ 清光　英成 神戸大学大学院国際文化学研究科教授
日程 実施時間	12月24日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 12月25日(金) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	姫路サテライトスペース （イーグレひめじ４階）

授業概要

【授業内容】
情報化社会においてデータを情報として利活用する上で必要となる基礎知識を修得することを目標とし、計算機の基礎知識、プログラム・アルゴリズムとデータ構造、データベースシステム、人工知能（認識系AIと生成系AI）ならびに情報システムの仕組みについて説明し、社会と情報（ソーシャル・コンピューティング）についても解説します。
【到達目標】
データサイエンス、人工知能とIoT、ICTなど最近注目を集めている情報科学応用を理解するうえで前提となるデータの扱い方、データ間の関連性の記述方法ならびにその管理について説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 コンピュータの構成と動作
第2回 記憶装置と入出力装置
第3回 ソフトウェア（オペレーティングシステム、プログラム・アルゴリズム・データ構造）
第4回 情報システム
第5回 データベースシステム（データモデル）
第6回 データベース管理システム（トランザクションと質問処理）
第7回 生成AIとソーシャルコンピューティング
第8回 情報と社会
【学生へのメッセージ】
専門語などは平易な表現での説明に努めることにしますので、情報やコンピュータに興味があるひとの受講を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
幅広い学生を対象とするため、あまり難しくないように努めます。必要となる論理などの知識は解説・教授するので数学的知識は予め要求しません。データとは何か、情報とは何かを自分なりに考えておきましょう。事後にその考えがどのように変わったか、確信を深めたかをまとめましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業中にパソコンを使用したい場合は、各自でパソコンを持参してください（必須ではありません）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696142
学習センター	兵庫学習センター（姫路）
学習センターコード	28S
クラスコード	Q
科目名	**宇宙と物理**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	48名
担当講師	イトウ　マサユキ 伊藤　真之 放送大学兵庫学習センター客員教授／神戸大学名誉教授
日程 実施時間	10月28日(水) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:55 10月29日(木) 第１時限　9:45～11:15 第２時限 11:25～12:55 第３時限 13:45～15:15 第４時限 15:25～16:10 試験・レポート等 16:15～16:55
実施会場	姫路サテライトスペース （イーグレひめじ４階）

授業概要

【授業内容】
現代科学が描く宇宙の姿を概観しながら、宇宙の様々な現象を理解する基礎として、物理学の基本的な法則や考え方などがどのように用いられているかを学びます。それを通じて、物理学の理解を深め、考え方を修得することを目指します。宇宙について、大局的な宇宙から、銀河、恒星、惑星系とたどり、最後に太陽系外の惑星探査や、地球外生命の探査等の話題に簡単に触れます。物理学については、宇宙の理解に関係する、基礎的な古典力学、物質の構造、波動、電磁波、熱などを扱います。

【到達目標】
・現代科学が描く宇宙像について基本的な理解を身に付け、説明することができる。
・宇宙の諸現象の基本的な理解の基礎として、物理学の法則や考え方がどのように用いられているかを理解し、基本的な問題を解くことができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：宇宙と物理
第2回 大局的な宇宙1：大局的にみた宇宙の姿
第3回 大局的な宇宙2：膨張する宇宙
第4回 銀河1：銀河の姿と分類、私たちの銀河
第5回 銀河2：銀河の形成・進化・活動銀河核
第6回 恒星1：恒星の基本的性質と進化
第7回 恒星2：恒星の進化と終末、太陽
第8回 惑星系と宇宙生命の探査

【学生へのメッセージ】
宇宙の豊かな姿にふれるとともに、物理学が自然の理解にどのように役立っているかを具体的な例を通じて学び、楽しんでください。高校程度の物理の知識を、復習・説明しながら用います。

【受講前の準備学習等】
高等学校までに学ぶ物理の内容を復習しておくと、授業の理解に役立ちます。また、高等学校で学ぶ数学についても必要に応じて復習しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

【参考書】
・宇宙の誕生と進化（谷口義明／放送大学教育振興会／¥3,850／ISBN=9784595319686）
・極・宇宙を解く（福江純、沢武文、高橋真聡編／恒星社厚生閣／¥5,500／ISBN=9784769916437）
・初歩からの物理〔新訂〕（岸根順一郎、松井哲男／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595323553）
・大人のための高校物理復習帳（桑子研／講談社／¥1,210／ISBN=9784062578158）

科目コード	2696150	**授業概要**	**【授業内容】** フランス語の発音は難しい！と思われがちですが、読み方の規則を覚えると意外とわかりやすいことに気が付くかもしれません。この授業は、フランス語を初めて学ぶひとを対象に、まず発音の基礎説明からスタートし、町なかで見かけるフランス語を読めるようになることを目指します。次に、基本的な文法事項を学ぶことによって、日常的なフランス語表現を使えるようにするとともに、料理のレシピのほか、有名な文学作品やマンガなどの原文を「読む」ことにも挑戦します。 **【到達目標】** ・フランス語の綴りと発音の関係について理解し、聞き取りができると同時に、自分でも発音できるようになる。 ・フランス語の簡単な日常表現を使えるようになる。 ・フランス語の文の成り立ちと初歩的な文法事項について理解し、フランス語で書かれた簡単な文を読めるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 町で見かけるフランス語とその読み方を知る 第2回 フランス語の発音の規則を知り、数字を使う 第3回 提示の表現を知る　～市場で買い物をする 第4回 フランス語の文の成り立ちと基本動詞を知る 第5回 名詞と冠詞の組み合わせを知る　～カフェで注文する 第6回 不規則な動詞と命令法の使い方を知る　～料理のレシピを読む 第7回『星の王子さま』を原文で読む 第8回 フランス語になった日本のマンガを読む **【学生へのメッセージ】** ・発音の規則を知ると、フランス語を読んだり話したりするのが楽しくなると思います。声に出す経験とともに、文章を読む楽しさも味わっていただければと思います。 ・クラスの状況に応じて、進度はシラバスと少し変えることがあります。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、身の回りで見かける外来語のうち、これはフランス語かもしれない？と思うものを、できるだけたくさん集めてみてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**楽しく学ぶ フランス語の初歩**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	タカオカ　ナオコ 髙岡　尚子 奈良女子大学教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・「星の王子さま」で学ぶフランス語文法（三野 博司／大修館書店／¥1,980／ISBN=9784469250749） **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696169
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**英語学習のための基礎・基本**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	45名
担当講師	ヒラタ　ケンジ 平田　健治 奈良女子大学附属中等教育学校教諭（前副校長）
日程 実施時間	2027年1月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2027年1月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、「英語の肝」となるべき部分を、基礎・基本から扱いながら、同時に学習方法についても紹介したいと思います。英語の発音・文法・読解・ライティングなど各分野において、講義・練習・演習を行いながら、適切な学習方法を身につけてもらい、授業終了後も学習を継続できるようにと考えています。英語学習の成果は、一朝一夕で出るものではありません。しかし、学習を継続することで、かならず成果が表れるものです。さらなる英語力の伸長のきっかけとなることを目標としています。

【到達目標】
英語の音声や文法事項について基礎的な知識を学び、効果的に英語学習を続けることができる。

【授業テーマ】
第1回 文字と綴りと発音
第2回 イントネーションと音読
第3回 音読とリスニング
第4回 英語の基本構造
第5回 英語の文型
第6回 リーディング
第7回 ライティング
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
英語学習への取り組みには、過去の英語教師や学習体験が大きく影響しているものです。また書籍でもインターネット上でもあらゆる情報が氾濫し戸惑ってしまうことも少なくありません。事後の自己研鑽が大切ですので、英語の本質に即した継続可能な学習方法を身につけましょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
辞書などを持参してください。
日頃、英語学習に使われているものがあれば持ってきてください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696177
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**運動のススメ**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	45名
担当講師	フジワラ　モトコ 藤原　素子 奈良女子大学名誉教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
ヒトは脳からの指令によって筋が収縮し、関節の運動が起こることによって、いろいろな動作を遂行しています。そして同じ動作を継続することで、無駄のない巧みな動きに変わっていきます。本講義では、日常動作やスポーツ動作を取り上げ、生理学をベースとしたからだの仕組みを理解しながら、巧みな動作の発現機構について学びます。また、加齢やストレスなど、動作に及ぼすさまざまな要因についても紹介し、長く運動を続けるための工夫について考えます。

【到達目標】
・運動するためのからだの仕組みについて、生理学、動作学の視点から理解できる。
・巧みな動作の分類について理解し、動作の巧拙に及ぼす要因について考えることができる。
・長く運動を続けるための工夫について考え、提案することができる。

【授業テーマ】
第1回 骨、筋および関節の運動
第2回 力を生み出し調節する筋収縮機構
第3回 素早く動作を起こすには
第4回 姿勢制御のメカニズム
第5回 加齢に伴う歩行動作の変化
第6回 予測とタイミングコントロール
第7回 つもりと実際、力の調節
第8回 心理的プレッシャーが動作に及ぼす影響

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696185
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**玩具・民具からみる大和の暮らし**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ハタカマ　マリ 幡鎌　真理 天理大学附属天理参考館学芸員
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	この授業は、【奈良学習センター・★天理大学附属天理参考館（２日目）（奈良県天理市守目堂町250番地)】で行います。

授業概要

【授業内容】
2010年の平城遷都1300年の折、奈良県は「奈良はひろいひろい国です。ふかいふかい国です」と広報しました。奈良は考古学の視点で語られる場面が多く、近世の大和は「ごく最近のこと」と目を向けられることが少ない傾向があります。強大な寺社勢力と秀長をはじめとする複雑な大名支配の下にあった大和国ですが、京とも大坂とも異なる独自の文化と生活が営まれていました。村落や町家で営まれた暮らしと実際に使われた生活道具、文書、そして郷土玩具などを観察することで、「少し昔」の奈良の様子を探ってみましょう。大和の魅力の広さと深さにはまっていただきたいと思います。

【到達目標】
・江戸時代ごろから近代までの大和（奈良）の民俗文化を理解できる。
・民俗資料を観察することで、そのモノの意味が理解でき、そこから当時の生活を推し量ることができる。
・大和（奈良）の歴史を学ぶことで、地域独自の歴史を知る意味がわかる。

【授業テーマ】
第1回 大和はどんなところ？－中世から近世にかけて「大和」とはどんな国だったのかをたどります－
第2回 大和豊年米食わず－大和のことわざ、この意味とは！？－
第3回 大和の暮らしと生活用具－実際にどのような生活道具を用いていたの？－
第4回 大和の郷土玩具、人形の歴史－おもちゃ、おみやげもの、伝統工芸品－
第5回 世界の生活文化資料と考古美術資料を所蔵する天理大学附属天理参考館展示見学　その1（臨地学習）
第6回 世界の生活文化資料と考古美術資料を所蔵する天理大学附属天理参考館展示見学　その2（臨地学習）
第7回 世界の生活文化資料と考古美術資料を所蔵する天理大学附属天理参考館展示見学　その3（臨地学習）
第8回 まとめ（臨地学習）

【学生へのメッセージ】
奈良は古墳だけじゃない！他地域ならば文化財指定を受けるような資料を、日常生活で普通に使用している奈良の魅力を感じていただきたいと思います。今回の授業を通して、古代から現代までの長い歴史を再確認してから奈良を巡ると新たな気づきがあります。

【受講前の準備学習等】
・奈良の歴史を、高校の日本史の教科書や資料集を読んで再確認しておいてください。
・奈良県の地図を見て、大凡の地形を頭に入れておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。
書き込むプリントを配布します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
２日目は、天理大学附属天理参考館で臨地学習を行います。また、入館料として、一人500円が必要です。(現金のみ、自己負担)
※団体料金適用の場合は、一人400円です。
館内の見学は想像以上に歩きます。また、立ったままで長時間説明を聞くことになりますので、体力に不安のある方は、科目登録の際によくご検討ください。当日は、動きやすい服装・はきなれた靴を着用してください。集団での規律ある行動をお願いします。
※最寄りのJR・近鉄天理駅からは交通手段が徒歩（約3.0km）かタクシーとなります。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず授業前日（11月7日（土））までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2696193	授業概要	**【授業内容】** 人間は、食品を調理・加工することで、消化がよく、おいしい食物を作り、豊かな食生活を送っています。この授業では、さまざまな食品の性質や食品の栄養成分、味とにおい、調理や加工による変化、食品表示、添加物などについて解説し、豊かな食生活を目指す一助としたいと思います。 **【到達目標】** 豊かな食生活を送るために必要な食品の性質や調理・加工による変化について理解することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 調理と加工の原理 第2回 植物性食品と動物性食品の特徴 第3回 食品の3大栄養素と微量栄養素 第4回 食品の味とにおい 第5回 食品の安全性 第6回 食品の表示と添加物 第7回 調理や加工による変化 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 豊かな食生活を送るためには正しい知識と情報が欠かせません。授業を通して、食品と調理・加工に関する正しい知識を身に付けてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、食に関する正しい情報を消費者庁などの公的機関のウェブサイトをみて整理してください。授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**調理と豊かな食生活**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	45名		
担当講師	タカムラ　ヒトシ 髙村　仁知 奈良女子大学教授		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696207	授業概要	**【授業内容】** 心理学は実証性を重視した学問であり、社会心理学も同様です。但し、社会心理学が扱うテーマは極めて複雑で、それを実証研究の俎上（そじょう）にのせるには一層の工夫を必要とします。そのため、著名な社会心理学の実験には思わず膝を打つものも多く、またそこから導かれた結論は私たちの日常生活を見直す知見にあふれています。そんなユニークな実験を紹介しながら、社会心理学の理論や考え方について解説していきます。 **【到達目標】** ・社会心理学という学問の特徴と、その方法論について正しく説明することができる。 ・授業で取り上げた社会心理学の理論や社会心理学的事象について理解し、自身の直接的・間接的経験と関連づけながら考察することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 社会心理学とはどのような学問か 第2回 多数派への同調：アッシュの同調実験 第3回 権威への服従：ミルグラムの電気ショック実験 第4回 冷淡な傍観者：ダーリーとラタネの緊急事態介入実験 第5回 予言がはずれるとき：フェスティンガーらの認知的不協和理論にまつわる実験 第6回 つり橋の上の恋：ダットンとアロンの情動二要因理論にまつわる実験 第7回 影響力の武器：チャルディーニの説得のテクニックに関係する７つの原理 第8回 木を見る西洋人、森を見る東洋人：ニスベットらの心の文化差に関する実験 **【学生へのメッセージ】** 社会心理学を学ぶのが初めてだという方を特に歓迎します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 レポート課題「授業で取り上げた社会心理学の理論や社会心理学的事象について、自身の直接的・間接的経験と関連づけながら考察しなさい。」
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**社会心理学入門**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	45名		
担当講師	モリ　ツタコ 森　津太子 放送大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 学生証 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	スズキ　チハル 鈴木　千晴 奈良女子大学高等教育支援研究センター特任准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の方法と考え方を学ぶことを目的に、心理学の実験的研究を３つ（ミューラー・リヤー錯視、心理尺度、目撃証言）取り上げます。実験者や実験参加者として実験を行い、実験の方法、データの収集と分析、経験、そして得られた結果を考察してレポートにまとめる一連の作業を学びます。原則として8回の授業すべてに出席し、取り上げた３つの実験課題についてレポートを作成し提出する必要があります。
【到達目標】
・心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
・実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験の基礎
第2回 ミューラー・リヤー錯視の実験①　実施
第3回 ミューラー・リヤー錯視の実験②　解説
第4回 心理尺度の実験①　実施
第5回 心理尺度の実験②　解説
第6回 目撃証言の実験①　実施
第7回 目撃証言の実験②　解説
第8回 レポートの書き方　まとめ
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になることを狙いとしています。実験結果のまとめやレポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word・Excel等）は習得されていることを原則とします。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、MozillaFirefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　Wordが必要です。
　Excelが必要です。
４．その他
　マウスを持参してください。
　ソフトのバージョン指定はありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査は、様々な心理的性質について個人差を測定するために用いられるものです。この授業では、心理検査の理論的背景について解説し、3つの検査を体験します。原則として全8回の授業に出席すること、その上ですべての実習課題についてレポート提出をもとめ、その内容を評価します。様々な種類の心理検査について特徴や限界を知った上で、検査を通じて自己理解を深める手がかりとすることも目的に含みます。 **【到達目標】** ・心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 ・検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理検査とは 第2回 検査実習1　YG性格検査 第3回 YG性格検査の解釈 第4回 検査実習2　風景構成法 第5回 風景構成法の解釈 第6回 様々な描画法：星と波テスト 第7回 検査実習3　自己意識尺度 第8回 心理尺度について **【学生へのメッセージ】** この実習は、検査者や被検査者体験を重視します。心理検査を実施する立場と実施される立場の両方を体験し、心理検査についての体験的理解を深めていただく機会になればと考えています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スズキ　チハル 鈴木　千晴 奈良女子大学高等教育支援研究センター特任准教授		
日程 **実施時間**	2027年1月9日(土) 第１時 限　10:00～11:30 第２時 限　11:40～13:10 第３時 限　14:00～15:30 第４時 限　15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時 限　10:00～11:30 第２時 限　11:40～13:10 第３時 限　14:00～15:30 第４時 限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 黒のサインペン・12色程度の色鉛筆 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696215
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**児童自立支援施設の歴史と現在**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	ニイ　ヒトミ 二井　仁美 奈良女子大学教授
日程 実施時間	2027年1月16日(土) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 2027年1月17日(日) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
「児童自立支援施設が非行少年のための施設であるという認識はすでに過去のものとなった」と指摘されています。こども家庭庁によれば、児童自立支援施設の在籍児の7割以上が被虐待経験を、7割を超える児童が知的障害やADHD、ASDなどの特性を持ち、加えて約3割は他の児童福祉施設や里親家庭などから入所する社会的養育の経験者です。ただ児童自立支援施設の歴史を振り返ると、感化院、少年教護院、教護院と言われた時代から、すでにそこは多様な子どもたちの育つ場所でした。この授業では、そのような児童自立支援施設の歴史と現在に注目することで、逆境的体験を有する子どもの教育のあり方を考えます。

【到達目標】
虐待や貧困、戦争や被災、犯罪被害など多様な逆境的体験を抱え生きてきた子どもが、児童自立支援施設でどのような生活を営み、どのように育っているのか、また、児童自立支援施設は、感化院と呼ばれた時代から、少年教護院、教護院を経て今日にいたるまで、何を理想とし、どのような制度の下で、どのような教育を行ってきたのか、そこを巣立った者が社会でどのように生きたのかなどについて、語ることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 児童自立支援施設とは？
　法的位置づけや入所児童の様態、施設の運営形態など児童自立支援施設の現在を概観する。
第2回 児童自立支援施設の源流
　監獄から感化院へ「家庭」であり「学校」であることをめざして開設された家庭学校に焦点をあてながら留岡幸助の思想と実践を概観する。
第3回 児童自立支援施設における「家庭的処遇」の源流
　早崎春香と川越児童保護学校の試みにしてその思想と実践に注目する。
第4回 感化法制と感化院
　感化院文部省所管論＝「家庭的の学校」なら文部省に所管すべきとする主張に注目して帝国議会の議事録を検討する。
第5回 感化教育の困難と宗教
　鹿児島県立牧之原学校のキリスト教的行事「洗礼式」と「洗足式」は、感化教育にとってどのような意味があったのか、公立感化院におけるユニークな実践の背景を考える。
第6回 子どもの権利思想と感化院
　国立武蔵野学院初代院長菊池俊諦はジュネーブ宣言をどのように翻訳したのか、子どもの権利思想の源流を探る。
第7回 少年教護法制定運動
　感化院在籍児童のおかれた実態に注目し、施設長自身によって結実させた制度改革がどのようになされたのか、概観する。
第8回 児童福祉法制下における教護院・児童自立支援施設の教育
　生活による教育がどのようになされたのか、学校教育との関係はいかなるものであったのか考察する。

【学生へのメッセージ】
児童養護施設や里親などの社会的養育に育つ子どもの教育について、色々な機会に学ぶことがあると思いますが、児童自立支援施設については、それほど身近でないのではないでしょうか。この授業で、施設の歴史を振り返りながら、小児期逆境的体験を有する子どもの教育を巡る思想と実践について理解を深めていきましょう。

【受講前の準備学習等】
事前学習　　「児童自立支援施設と聞いて考えたこと」あるいは「シラバスを読んで考えたこと」と題して、400字程度のミニレポートをご用意ください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
「児童自立支援施設と聞いて考えたこと」あるいは「シラバスを読んで考えたこと」と題したミニレポートを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・北海道家庭学校110年―北の大地の暮らしと教育（北海道家庭学校【編】／家村昭矩／仁原正幹【監修】/二井仁美【編集委員長】／六花出版／¥3,300／ISBN=9784866172293）
・「家庭」であり「学校」であること：北海道家庭学校の暮らしと教育（北海道家庭学校編（家村昭矩監修、仁原正幹・二井仁美編）／生活書院／¥2,200／ISBN=4865001220）
・留岡幸助と家庭学校―近代日本感化教育史序説（改訂普及版）（二井仁美／不二出版／¥4,620／ISBN=9784835083551）
・立ち直り・甦りの教育福祉学―少年司法の軌跡と甦育（竹原幸太／成文堂／¥6,600／ISBN=9784792361259）
・少年矯正の近代的展開（矯正協会 編集／矯正協会／）
　この本は資料が充実しています。国立国会図書館デジタルライブラリーで閲覧可能です。

【その他（特記事項）】
この授業は、「生活と福祉」コース科目や臨床心理学における「司法矯正・犯罪心理学」など少年法にも関係する内容を含んでいます。

科目コード	2696223
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**住まいの基本と近代建築**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	ホリベ　ヤスシ 堀部　安嗣 放送大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
日常的にこんな食べ物を食べ続けていたら身体も壊すことにもなるし、反対に健やかにもなるということは知られていますが、住まいにおいてそのことを認識して実践している人は少ないように思います。しかし食と全く同じで住まいが人の心身に大きな影響を与えているのは紛れもないことです。近代以降の激変した生活において、建築が今後どのような役割を果たせばよいのでしょう？近代の可能性と危険性を同時に考えていた近代建築家の思想を読み取りながら考えます。
【到達目標】
これからの住まいと建築のあり方を考えるために、住まいの基本と優れた近代建築を学び、自身の生活環境や住環境への理解を深めることができる。同時に住まいや建築を見る目を養い、建築を通して歴史や時代を理解する習慣をつけることができる。住まいや建築が担う省エネルギーの方法を知ることができる。
【授業テーマ】
第1回 住まいの基本とは？健やかな心身のための住の基本を考える
第2回 近代とはなんだったのか？近代以降の生活を考える
第3回 帝国ホテルの設計者フランク・ロイド・ライトから学ぶ
第4回 フィンランドの風土に根ざしたアルヴァ ・アアルトから学ぶ
第5回 ルイス・カーンとグンナール・アスプルンドから学ぶ
第6回 西洋と日本をつないだ吉村順三から近代とこれからを学ぶ
第7回 あるものをいかす～パッシブデザイン入門
第8回 私の実践紹介
【学生へのメッセージ】
生活の基本である衣食住の一つ“住”に関心を持っていただき、理解と視野を広げていただきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
自身の生活や住環境を改めて見つめていただきたいと思います。シラバスの内容から判断して自己学修に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・住まいの基本を考える（堀部安嗣／新潮社／¥2,860／ISBN=9784103352921）

科目コード	2696231
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**奈良の柿の歴史と科学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	ハマサキ　サダヒロ 濵崎　貞弘 奈良県農業研究開発センター副主任
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
奈良県の代表的な果樹であり、我が国の秋の風物詩でもある「柿」は、古くからごく身近にある植物でありながら、その本質は意外なほど知られていません。人間の生活に密接に関わってきた「柿」の歴史文化や、植物として特異的な進化を遂げてきたその特性など、様々な視点から「柿」を紹介していきます。温故知新の未来の産業資材ともなりうる「柿」の驚くべき本質について学んでいきましょう。
【到達目標】
「柿」の持つ多面的な価値と魅力を十分に理解し、日常生活の中でその能力を利活用できるようになる。
【授業テーマ】
第1回「柿」の歴史と文化Ⅰ　～神の果物「柿」～
第2回「柿」の歴史と文化Ⅱ「禅寺丸」と「御所」 ～柿の革命～
第3回「柿」の歴史と文化Ⅲ　産業としての「柿」
第4回「柿」の科学Ⅰ　その特異的な進化と特性
第5回「柿」の科学Ⅱ　温故知新の産業資材「柿タンニン」の最新研究
第6回「柿」を育てよう：基本的な栽培管理
第7回 実験：「柿」を楽しむ
第8回 奈良県が目指すべき「柿」の振興戦略
【学生へのメッセージ】
本授業では、奈良の特産品「柿」について多面的に掘り下げて、その未来を切り開くことを目指しています。受講生の皆さんは、是非美味しい「柿」の背景に広がる多彩な世界を体感し、「柿」の未来に協力して下さい。
【受講前の準備学習等】
奈良県や五條市、天理市、御所市、奈良県農協などのホームページや参考図書を調べ、奈良県の「柿」の生産量や主力品種、利活用方法などを事前に調べておいて下さい。また、五條市にある「柿博物館」は事前学習に最適な資料が揃っていますので、可能なら是非一度訪れて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．筆記用具
2．汚れても構わない服装、エプロンなど
2日目は柿タンニンに関する実験を予定しているため、なるべく汚れても良い服装で参加して下さい。柿タンニンが衣服に付着すると、洗濯しても落ちない可能性があります。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・柿づくし　柿渋、干し柿、柿酢、柿ジャム、紅葉保存（濵崎貞弘／一般社団法人農山漁村文化協会／¥1,760／ISBN=9784540161179）

科目コード	2696240
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**奈良で体感する 仏像の見方**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	ヤマギシ　コウキ 山岸　公基 奈良教育大学特任教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	この授業は、【奈良学習センター・★東大寺（２日目午前）】で行います。

授業概要

【授業内容】
日本の仏像が奈良に始まることは広く知られていますが、品質（素材）や法量（大きさ）を的確に認識するうえで、書籍やネットでの間接体験には限界があります。国宝・重要文化財の仏像に至近な奈良学習センターで、東大寺ミュージアムや戒壇院、大仏殿、南大門のフィールドワークを交えながら、仏像の尊格や品質、作者としての仏師といった基本から、一般には見過ごされている仏像造立の実際に及んで講義を行います。これらの仏像を作り、守り伝えてきた人々の美意識・智慧・努力を理解したうえで、受講生各位の視点から奈良の仏像を味わっていただければと思います。
【到達目標】
日本（奈良）の仏像彫刻について、まず見てその尊格や品質がわかるようになる。ついで、その制作に用いられた多様な技術の大筋を理解し、現在なお不明な点の多い仏像造立の実際に関する最適解を、問題意識をもって作者（仏師）の立ち位置で考えることができる。また、それら技術の進展を必要とした美意識・理念は何であったか、究明する姿勢を持つことができる。
【授業テーマ】
第1回 日本の仏像の、尊格の四分類や時代による品質の変遷
第2回 塑造の美と構造・技法上の智慧、銅造への応用
第3回 木彫の時代的変遷と、定朝～運慶ら平安時代後期～鎌倉時代の仏師の活動史
第4回 東大寺南大門仁王像の修理映像から、寄木造と仏師の手技を理解する
第5回 東大寺ミュージアム・戒壇院で、塑造の美に接し造立の実際を考える（隣地学習）
第6回 東大寺大仏殿で塑造の応用、南大門で巨大木彫像造立の実際を考える（隣地学習）
第7回 東大寺南大門仁王像のような巨大木彫像造立の際の共同作業の実態
第8回 奈良時代の造形の後代に向けての規範性
【学生へのメッセージ】
仏像に関して、市販される書籍やネット記事は数多いのですが、商業目的で信頼度に乏しいものも見うけられます。奈良で実作例に触れ、素朴な疑問を講師に伝えることで、現在も不明な点の多い仏像造立の実際に近づいて下さい。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
『原色日本の美術』・『日本美術館』・『日本美術全集』（いずれも小学館）、『日本美術全集』（講談社）、『奈良六大寺大観』・『大和古寺大観』・『平等院大観』（いずれも岩波書店）等、あるいは直接の見学により、授業の前後に奈良の代表的な仏像彫刻を「見てわかる」ようになり、仏像関係の数多い情報について、当否を判断しようとする姿勢を持ってください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、軽量な雨具、持っている方は単眼鏡やオペラグラスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・奈良・京都の古寺めぐり　仏像の見かた（水野敬三郎／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784005000890）
・カラー版 日本仏像史（水野敬三郎監修／美術出版社／¥2,750／ISBN=9784568400618）
・仁王像大修理（東大寺監修・東大寺南大門仁王尊像保存修理委員会編／朝日新聞社／¥3,000／ISBN=4022569867）

【その他（特記事項）】
２日目の１・２時限目は、東大寺で臨地学習を行います。なお、天候により臨地学習の内容を変更する可能性があります。また、入館料として、東大寺大仏殿・ミュージアムセット券1200円、戒壇院拝観料800円が必要です。（自己負担）
臨地学習は徒歩による移動（約3.0km）を伴います。体力に不安のある方は、科目登録の際によくご検討ください。動きやすい服装・靴を着用し、紫外線対策には帽子をご用意ください。やむを得ず日傘を使用する場合は、他の受講生の迷惑にならないようにお願いします。集団での規律ある行動をお願いします。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず授業前日（10月17日（土））までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696258	**授業概要**	**【授業内容】** 斑鳩町は、藤ノ木古墳や世界遺産の法隆寺をはじめ、中宮寺、法輪寺、法起寺など、日本を代表する古墳や寺院などがある文化財豊かな町として有名です。 法隆寺では、五重塔や金堂などの伽藍が、聖徳太子が建立した法隆寺かどうかをめぐって、明治時代から『法隆寺再建・非再建論争』が繰り広げられてきましたが、「若草伽藍跡」の発掘調査により論争に終止符がうたれました。 このように、発掘調査により明らかとなったことも多く、古代の斑鳩の姿を最新の発掘調査の成果も交えて読み解きます。また、理解を深めるために実際に現地をめぐります。 **【到達目標】** 古代の斑鳩の歴史について、発掘調査の成果を学び、また、実際に現地に足を運ぶことにより、より深く斑鳩の歴史を理解し、説明することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 斑鳩の古代の姿を考古学から概観する 第2回 発掘調査から斑鳩の古墳時代を探る－藤ノ木古墳を中心に－ 第3回 斑鳩宮と斑鳩寺（法隆寺） 第4回 聖徳太子により斑鳩に花開いた仏教文化の世界 第5回 斑鳩の古墳をめぐる（臨地学習） 第6回 法隆寺見学（臨地学習） 第7回 中宮寺跡見学（臨地学習） 第8回 発掘調査とは（臨地学習） **【学生へのメッセージ】** 一日目の座学で学んだ遺跡や寺院などを、二日目に現地を訪ね、発掘調査の成果を通じて歴史を体感しましょう。 **【受講前の準備学習等】** 授業の内容についての理解を助けるため、藤ノ木古墳や法隆寺、また、発掘調査などについて、インターネット等で事前に調べておいてください。 学習したことの理解を深めるため、授業で学習したことを復習してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**発掘調査から読み解く斑鳩の歴史**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	アラキ　コウジ 荒木　浩司 斑鳩町都市建設部地域振興課課長補佐		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	この授業は、【奈良学習センター・★斑鳩町（２日目)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、雨具、動きやすい服装や靴 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項)】** ２日目は、斑鳩町で臨地学習を行います（最寄り駅までの交通費は自己負担)。なお、天候により臨地学習の内容を変更する可能性があります。斑鳩町文化財活用センター秋季特別展の入館料として240円、法隆寺の拝観料として1,600円が必要です。（自己負担） 臨地学習は徒歩による見学（計7.0㎞程度）を伴います。体力に不安のある方は、科目登録の際によくご検討ください。動きやすい服装・靴を着用し、紫外線対策には帽子をご用意ください。やむを得ず日傘を使用する場合は、他の受講生の迷惑にならないようにお願いします。集団での規律ある行動をお願いします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず授業前日（10月24日（土))までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696266
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**飛鳥時代の考古学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	サイコウ　シンジ 西光　慎治 関西大学非常勤講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:30～17:10
実施会場	この授業は、【奈良学習センター・★明日香村（2日目）】で行います。

授業概要

【授業内容】
飛鳥時代、『記紀』や『万葉集』に詠まれた日本国が誕生した「飛鳥・藤原」地域には多くの宮殿・官衙、古代寺院、墳墓（古墳）が良好な状態で残されています。日々の発掘調査で日本の国家形成の歩みが解明されようとしています。1400年前の飛鳥人がどういった思いで日本国を築き上げていったのか。発掘調査の成果をもとに『日本書紀』の世界を紐解いていきます。また、授業の一環として「飛鳥・藤原」地域の古代遺跡を踏査します。

【到達目標】
『古事記』『日本書紀』『万葉集』や飛鳥・藤原地域の遺跡を通じて、飛鳥時代の宮殿・寺院・墳墓の三要素から日本国誕生の軌跡を説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 飛鳥時代の考古学（1）飛鳥時代総論～飛鳥・藤原の調査・研究の歩み～
第2回 飛鳥時代の考古学（2）飛鳥・藤原の宮殿・官衙
第3回 飛鳥時代の考古学（3）飛鳥・藤原の古代寺院
第4回 飛鳥時代の考古学（4）飛鳥・藤原の墳墓
第5回 飛鳥・藤原の宮都を訪ねる（1）（臨地学習）
第6回 飛鳥・藤原の宮都を訪ねる（2）（臨地学習）
第7回 飛鳥・藤原の宮都を訪ねる（3）（臨地学習）
第8回 飛鳥・藤原の宮都を訪ねる（4）（臨地学習）

【学生へのメッセージ】
2日目は「飛鳥・藤原」地域の古代遺跡を巡ります。歩きやすい靴でご参加ください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
講義や臨地学習時において、メモを取ったり、記録するための筆記用具や記録（カメラ）類など必要と思うものを持参してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『飛鳥の遺跡を知る』（明日香村教育委員会編／雄山閣／¥2,640／ISBN=9784639027393）
・『飛鳥史跡事典』（木下正史編／吉川弘文館／¥2,700／ISBN=9784642082907）

【その他（特記事項）】
2日目は、終日明日香村での臨地学習です。遮蔽物の無い屋外を徒歩移動（約8.0km）します。体力に不安のある方は科目登録の際によくご検討ください。
当日は、動きやすい服装・靴を着用し、紫外線対策には帽子をご用意ください。やむを得ず日傘を使用する場合は、他の受講生の迷惑にならないようにお願いします。集団での規律ある行動をお願いします。
2日目の臨地学習は、現地集合・現地解散となります。当日のスケジュール等、詳細は別途案内します。
天候や諸事情により、授業内容、スケジュールが変更になる場合があります。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず授業前日（12月5日（土））までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696274
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**インターネット文化史**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	チヨノブ　ミホ 千代延　未帆 滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター助教
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
インターネットは冷戦下の軍事研究から産声を上げ、個人の自由を象徴する文化へと劇的に変貌を遂げてきました。本授業では、誕生から最新の「Web3.0」に至るまでの歴史を、単なる技術的進歩としてだけでなく、それを取り巻く社会・法・文化の変遷として捉え直します。
前半では、ARPANETの誕生や、映画『ウォー・ゲーム』が象徴する初期ハッカー文化とサイバーセキュリティの目覚めを解説します。また、日本独自の「パソコン通信」文化から、情報の閲覧が主体であった「Web1.0」への流れを概観します。
中盤のハイライトとして、P2P技術を巡る日米の対照的な運命に光を当てます。米国でNapsterを創設したショーン・パーカーが後にFacebookの初代社長として成功を収めた一方で、日本でWinnyを開発した金子勇が著作権法違反幇助で逮捕・起訴され、無罪を勝ち取りながらも早逝した経緯は、日本のIT開発文化を考える上で避けて通れません。このWinnyが実装していた自律分散技術は、後のビットコインの中核的思想そのものです。
後半では、SNSによる「Web2.0」と集合知の時代を経て、信頼の仕組みを再定義する「ブロックチェーン」や「Web3.0」を紐解きます。ビットコインの生みの親サトシ・ナカモトの正体を巡る謎と、Winny開発者の非業の死との奇妙な符号など、都市伝説的な視点も交えながら、情報社会の過去・現在・未来を俯瞰的に理解することを目指します。

【到達目標】
・インターネットの誕生から現在に至るまでの技術的・社会的変遷を、歴史的背景を含めて説明できるようになる。
・Web1.0、2.0、3.0の概念の違いと、それぞれの時代を象徴する技術や文化について論じることができる。
・P2P技術を巡る日米の社会的受容の差と、それが現代のブロックチェーン技術に与えた影響を理解することができる。
・情報通信技術が社会の「信頼」や「情報の価値」をどのように変えてきたか、自分なりの視点を持てるようになる。

【授業テーマ】
第1回 インターネットの誕生と冷戦
ARPANETから始まる軍事研究の歴史と、核戦争に耐えうる「分散型」ネットワークの思想
第2回 ハッカー文化と映画『ウォー・ゲーム』
1980年代のコンピュータへの憧れと恐怖。サイバーセキュリティの概念が生まれた背景
第3回 日本独自の発展とWeb1.0
パソコン通信（草の根BBS）の隆盛から、WWWの登場による「閲覧するインターネット」への移行
第4回 Web2.0と「集合知」の爆発
SNS、ブログ、Wikipedia。誰もが発信者となり、膨大なデータが価値を持つ時代の光と影
第5回 P2P技術の衝撃とNapster
中央サーバーを介さない直接通信の衝撃。米国での音楽共有サービスと、その後のビジネス化への道
第6回 Winnyの悲劇と金子勇の闘い
日本が誇る天才開発者・金子勇氏の逮捕と裁判。イノベーションを阻んだ法と社会の壁
第7回 ブロックチェーンとサトシ・ナカモトの謎
Winnyの思想を受け継ぐ分散型台帳技術。ビットコイン誕生と、謎の匿名開発者が残した足跡
第8回 Web3.0が描く未来の社会
情報の民主化と自律分散型社会（DAO）。私たちがインターネットに託した理想の再定義

【受講前の準備学習等】
事前学習：シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
事後学習：授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。

科目コード	2696282	**授業概要**	**【授業内容】** 情報社会で生きるためには、私たちの身の回りにある情報システムのリスクについても知っている必要があります。授業は一般の方々を主な対象に、情報システムの開発業務に携わっている方にも役立つ、情報システムの設計や開発の方法や信頼性を高めるための方法などを分かりやすく解説します。情報システムを構築する際のプロセス、情報システムの設計方法、品質保証の方法を学びます。これらのことは、他の業種にも活用できる考え方です。なお、プログラミングについての詳細な解説はいたしません。 **【到達目標】** ・私たちの生活やビジネスに情報システムが活用されている理由を説明することができる。 ・情報システムの構築プロセスを説明することができる。 ・情報システムの企画設計の概要を説明することができる。 ・情報システムの品質保証の概要を説明することができる。 ・情報システムの信頼性を高めるための方法や計算方法を説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 情報システムとは何か、社会を支える情報システム 第2回 ビジネスを支える情報システム、情報システムとビジネス課題 第3回 組み込み系の情報システムと開発における留意点 第4回 情報システムの評価指標と信頼性 第5回 情報システムの開発プロセス 第6回 情報システムの企画設計方法 第7回 情報システムの品質保証方法 第8回 情報システム開発における課題 **【学生へのメッセージ】** 私たちの生活は、無数の情報システムにより支えられています。これらの情報システムはどのように設計構築されているのかを学びます。専門用語をなるべく使わずに、一般の方々にも分かりやすく解説します。 **【受講前の準備学習等】** ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・普段の買い物で使うレジは、どのような仕組みになっているのか、同じ商品は同じバーコードなのに店によって値段が違うのはどうしてかを考えてきてください。家の中にも、テレビやエアコン、炊飯器などコンピュータが組み込まれている製品が多くありますが、その理由を考えてきてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**情報システムの企画設計と構築**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	45名		
担当講師	コマヤ　ショウイチ 駒谷　昇一 追手門学院大学教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・情報システム基礎（神沼靖子編著／オーム社／¥2,750／ISBN=978-4274203091） ・ソフトウェアエンジニアリングの授業１（鶴保征城、駒谷昇一／翔泳社／¥2,200／ISBN=978-4798119328） ・ソフトウェアエンジニアリングの授業２（鶴保征城、駒谷昇一／翔泳社／¥2,200／ISBN=978-4798119335）

科目コード	2696290	**授業概要**	**【授業内容】** 私たちの身の回りには多くの有機化合物が存在します。有機化合物の多くは、有機化学反応により合成されたり、変化したりします。まず、有機化合物を構造上の特徴に基づいて、アルカン、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、アルケン、アルキン、芳香族化合物、カルボニル化合物などに分類します。それらの有機化学反応の置換、付加、脱離などの反応様式や、反応がどのように起こるか（反応機構）、反応によって起こる分子変換などについて学びます。本授業では、構造式や化学の基礎を含めて、有機化学反応をやさしく解説します。 **【到達目標】** ・有機化合物の構造、分類などの基礎知識を修得することができる。 ・反応機構に基づくいろいろな有機化学反応や、それらの反応をつかった有機化合物の合成について理解できるようになる。 ・有機化学反応の生成物について、反応機構を考えることで、暗記することなく推察することができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 有機化合物の分類と立体化学 第2回 有機化学反応の種類とアルカンの反応 第3回 ハロゲン化アルキル、アルコールとエーテルの反応 第4回 アルケン、アルキンの反応 第5回 芳香族化合物の反応 第6回 カルボニル化合物の反応1 第7回 カルボニル化合物の反応2とその他の反応 第8回 環境調和型有機合成反応 **【学生へのメッセージ】** 身近な有機化合物や、それらの化学反応を勉強することは重要です。構造式の見方や電子対の動きなどについてわかりやすく説明します。遠慮なく質問してください。 **【受講前の準備学習等】** ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ※放送大学の「初歩からの化学（'18）」の視聴を推奨します。そのほか、有機化学について、興味をもって予習しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**やさしく学ぶ 有機化学反応**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	45名		
担当講師	ヤマザキ　ショウコ 山崎　祥子 奈良教育大学名誉教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・マクマリー有機化学（上）第9版（J. McMurry／東京化学同人／¥5,280／ISBN=9784807909124） ・マクマリー有機化学（中）第9版（J. McMurry／東京化学同人／¥5,170／ISBN=9784807909131） ・有機化学 改訂3版（奥山格 石井昭彦 箕浦真生／丸善出版／¥5,500／ISBN=9784621308387）

科目コード	2696304
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	K
科目名	**地球を作る岩石を知る**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	カネコ　カツヤ 金子　克哉 神戸大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10
実施会場	奈良学習センター

授業概要

【授業内容】
地球は岩石惑星とも呼ばれ、様々な種類の岩石によってできています。岩石がどのような特徴を持つのか、どのようにしてできたのか、またそれら岩石を通じて地球で何が起こったのか起こっているのかを知ること、それが「岩石学」という学問分野です。この講義はいわば「はじめての岩石学」ということになります。岩石が大きく火成岩、堆積岩、変成岩の3つに大きく分類できること、またそれら岩石が何から作られ、どのようにしてできるかについて解説します。また、太陽系の誕生からどのように岩石惑星地球ができてきたのかも解説します。岩石を通じて我々の住む世界の理解を深めてほしいと思います。

【到達目標】
・岩石の分類とそれぞれの岩石の形成過程を説明することができる。
・岩石を構成する代表的な鉱物を理解し、説明することができる。
・地球の構造とそれを構成する岩石を説明することができる。
・太陽系の誕生から地球の形成に至る大まかな歴史を説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに：岩石とは何か
第2回 岩石の分類と成分
第3回 火成岩・堆積岩・変成岩とその成因
第4回 岩石を作る重要な鉱物
第5回 地球の内部構造
第6回 プレートテクトニクス
第7回 太陽系の誕生から地球形成に至る過程Ⅰ
第8回 太陽系の誕生から地球形成に至る過程Ⅱ

【学生へのメッセージ】
玄武岩、カコウ岩などと聞くと中学校の理科の授業を思い出す人もいるかもしれません。岩石がどのようにしてできるのか、地球がどのようにしてできたのかを知ることを楽しんで欲しいと思います。

【受講前の準備学習等】
・中学理科の地学分野の内容をおさらいしておいてください。
・講義テーマとなっている言葉や以下のキーワードについて調べておいてください。
キーワード：地殻、マントル、外核、内核、玄武岩、カコウ岩、カンラン石、輝石、斜長石、石英、コンドライト

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特になし

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ニューステージ地学図表（なし／浜島書店／¥950／ISBN=9784834340181）
高校地学の副教材ですが図や写真が多く、入門者には適しています。

科目コード	2696312	**授業概要**	**【授業内容】** 本授業では、大和川の舟運について、それが最も盛んであった近世（江戸時代）の歴史を見ていきます。大和川の舟運は、主に都市大坂から河内や大和などの農村へ商品を運ぶのに利用されていました。そこにどんな人がどのようなかたちで関わり、人びとがどう生きていたのか。古文書や絵図などの史料を読み解くことで明らかにしていきます。 **【到達目標】** ・舟運を理解するために、どのような古文書や絵図などが有用なのか、的確に判断できるようになる。 ・河川舟運による物流が、近世社会においてどのように機能していたのかが理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 大和川と近世社会 第2回 剣先船・魚梁船の基本構造 第3回 中継地点としての亀の瀬 第4回 剣先船・魚梁船の船株 第5回 魚梁船の船人と船主 第6回 商人仲間としての大坂積方中 第7回 大坂と大和の肥料売買 第8回 大和川舟運研究の課題 **【学生へのメッセージ】** 古文書や絵図などの史料を読み解くことで、大和川舟運の歴史像が組み立てられていくことを、受講生のみなさんと一緒に体感していきたいと考えています。 **【受講前の準備学習等】** あらかじめ地図やインターネット等で調べ、大和川や大坂、大和、亀の瀬の地理を理解しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	奈良学習センター		
学習センターコード	29A		
クラスコード	K		
科目名	**大和川の舟運**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	45名		
担当講師	オカジマ　エイショウ 岡島　永昌 帝塚山大学准教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:30～17:10		
実施会場	奈良学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。

科目コード	2696320	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、昔話や童話など誰もがどこかで聞いたことのある親しみやすい英語のストーリーを題材に、基礎的な内容理解と声に出して読む（音読）ことから始め、深い内容理解と表現力豊かに読む(朗読)ことができるようになることを目指します。物語中の文法と語彙を確認しながら読解力を高め、標準的な英語の発音・リズム・イントネーションを意識した音読・朗読の練習を行います。第４回の音読、第８回の朗読の音声を聞き比べ、練習の成果を実感してもらいます。 **【到達目標】** ・英語の基本的な文法と語彙を理解し、物語の内容を理解することができる。 ・英語の標準的な発音・リズム・イントネーションを理解し、感情を込めて物語を朗読することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 授業で取り扱う物語の紹介と音読・朗読について 第2回 物語の読解と音読（1） 第3回 物語の読解と音読（2） 第4回 個別・ペア・グループでの音読練習 第5回 朗読のために物語を深く読む 第6回 朗読の方法 第7回 個別・ペア・グループでの朗読練習 第8回 朗読発表会 **【学生へのメッセージ】** 親しみやすく比較的短い英語のストーリーを使います。授業では、個人・ペア・グループでの音読・朗読練習をしますので、積極的に「英語を声に出して読むこと」を楽しみましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**英語物語の読解と朗読**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	オノエ　トシミ 尾上　利美 和歌山大学教育学部准教授／ 放送大学和歌山学習センター客員准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 英和辞典を持参することが望ましいです（紙・電子辞書など形態は問いません)。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696339	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** この授業では、くらしに関わる地域のデータを理解し、日常生活や地域の課題を客観的に捉える力を身につけます。行政のオープンデータや生活関連情報を取り上げ、Excelによる整理や可視化、GISを用いた地図づくりを通して、身近な地域の姿を読み解く方法を学びます。自分のパソコンを使いながら、データの見方と活かし方を体験的に習得します。 **【到達目標】** 身近な地域の情報をインターネットなどから見つけることができる。見つけた数字やグラフの意味を大まかに理解し、くらしに関わる内容を簡単に整理することができる。また、気づいた点を自分の言葉で説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 地域のデータでくらしの特徴を知る 第2回 生活に関わる身近な情報を読む 第3回 行政オープンデータを探して活かす 第4回 Excelで地域の数字を整理する 第5回 グラフで地域の姿を見える化する 第6回 GISで地図に情報を重ねて見る 第7回 地域の課題をデータから考える 第8回 データを使って地域を紹介する **【学生へのメッセージ】** この授業は、地域の身近なデータを気軽に学べる入門科目です。地域の情報に興味をもち、ゆっくり確かめながら学ぶ姿勢を大切にしてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**くらしに役立つ 地域データ入門**		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ミツダ　ナルキ 満田　成紀 和歌山大学戦略情報室教授／放送大学和歌山学習センター客員教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　10:00～11:30 第２時限　11:40～13:10 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS等）。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Excelが必要です。 ・パソコン用QGISが必要です。バージョンは3.0以降（LTR（安定版）を推奨）とします。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696347
学習センター	和歌山学習センター
学習センターコード	30A
クラスコード	K
科目名	**現代日本の家族政策**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シモエビス　ミユキ 下夷　美幸 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	和歌山学習センター

授業概要

【授業内容】
家族は私的な領域ですが、家族が抱える問題や困難は、その背後にある政策のあり方と深く関わっています。本授業では、家族をめぐるケア（育児、介護）や、ひとり親家族の生活問題といった具体的な問題をとりあげて、主要先進国との比較も交えながら、日本の家族政策の現状を検討し、今後の課題について考えていきます。

【到達目標】
(1) 家族政策に関わる基本概念を理解し、できるだけ自分の言葉で説明できるようになる。
(2) 具体的な家族政策の検討を通して、私たちの生活や人生が国や自治体の政策とどのように関わっているか、自分なりに考えられるようになる。
(3) ディスカッションを通して、家族政策に対する様々な立場や意見がありうることを理解し、自分の考えを相対化して捉えられるようになる。

【授業テーマ】
第1回 はじめに：家族政策とは
第2回 福祉国家と家族
第3回 子育て支援（1）
第4回 子育て支援（2）
第5回 高齢者介護支援（1）
第6回 高齢者介護支援（2）
第7回 ひとり親家族支援
第8回 まとめ：ディスカッション

【学生へのメッセージ】
身近な家族の問題を政策との関わりで考えてみましょう。

【受講前の準備学習等】
・新聞等の報道を通して、家族に関わる政策の動きに関心を高めておいてください（授業では、「児童手当」「保育」「育児休業」「介護保険」「母子世帯施策」などを扱います）。
・シラバスの内容から判断して、自己学習につとめてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696363
学習センター	和歌山学習センター
学習センターコード	30A
クラスコード	K
科目名	**身体運動と 生活習慣病の予防**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	ミヤイ　ノブユキ 宮井　信行 和歌山県立医科大学保健看護学部教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	和歌山学習センター

授業概要

【授業内容】
高血圧、糖尿病、脂質異常症などは動脈硬化を進展させて、心臓病や脳卒中などの重篤な疾患を招く危険因子となります。これらの疾患の予防・改善においては、服薬治療とあわせて生活習慣の修正が不可欠になりますが、その中でも運動の習慣化や身体活動量の増加は大切な要素となります。この講義では、高血圧、糖尿病、脂質異常症の危険因子、動脈硬化性の各種疾患との関連、運動中の生理機能の働き、運動が身体に及ぼす様々な効果などを学びながら、運動の生活習慣病予防に対する意義や役割について理解を深めていきます。

【到達目標】
運動のメカニズムや生理機能の働き、運動が心血管系や代謝系に及ぼす様々な効果を理解するとともに、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の予防に適した運動の種類や内容、実施方法を説明することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 生活習慣病の疫学（高血圧・糖尿病・脂質異常症）
第2回 生活習慣病の危険因子、各種疾患との関連
第3回 運動のしくみとエネルギー
第4回 運動と呼吸循環系の働き
第5回 生活習慣病の予防と改善に適した運動
第6回 運動が心肺機能や筋代謝に及ぼす効果
第7回 運動指導の考え方、進め方、具体的内容
第8回 生活習慣病予防と運動指導の実際

【学生へのメッセージ】
高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の予防に興味のある方、運動中の生理機能の働きや運動が身体に与える効果について学んでみたい方を対象としています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120	**授業概要**	**【授業内容】** 最初に心理学研究法、心理学実験について概説をします。その後、３つの心理学実験を取り上げます。ミューラーリヤー錯視、アイコニック・メモリー、心理尺度の実験です。実験では、実験者と被験者（参加者）の双方を体験します。実験の目的に沿って、得られたデータを整理し、考察を加えてレポートを作成します。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 心理学研究法、心理学実験についての概説 第2回 実験レポートの作成方法 第3回 ミューラーリヤーの錯視実験 第4回 ミューラーリヤーの錯視に関する実験レポート執筆指導 第5回 アイコニック・メモリーの実験 第6回 アイコニック・メモリーの実験レポート執筆指導 第7回 心理尺度の概説、心理尺度の実験 第8回 心理尺度に関する実験レポート執筆指導 **【学生へのメッセージ】** 心理学は、ひとの認知や記憶、人間関係など幅広い領域にわたる学問です。心理学の基礎的事項を履修していることを前提として進めます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートは返却します。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験１**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ムラカミ　ボンコ 村上　凡子 和歌山信愛大学教育学部教授		
日程 **実施時間**	10月31日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 定規（15cm程度）、電卓 レポート作成時にパソコンを使用する場合、各自パソコンとUSBを持参してください。全員必要ということではありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・調査実験　自分でできる心理学（大野木裕明・宮沢秀次・二宮克美（編）／ナカニシヤ出版／¥1,650／ISBN=9784779501456） ・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文・松浦均（編）／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378） **【その他（特記事項）】** 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689146	**授業概要**	**【授業内容】** 心理学における実験的研究を２つ（大きさの錯視、メンタルローテーション）取り上げます。実験には、実験者及び被験者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 要因計画法 第2回 データ解析とレポートの書き方 第3回 大きさの錯視１　実験 第4回 大きさの錯視２　データ整理 第5回 大きさの錯視３　考察 第6回 メンタルローテーション１　実験 第7回 メンタルローテーション２　データ整理 第8回 メンタルローテーション３　考察 **【学生へのメッセージ】** 心理学研究法と心理統計の基礎を学んでいると、理解が深まると思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験２**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イワハラ　アキヒコ 岩原　昭彦 京都女子大学心理共生学部教授		
日程 **実施時間**	2027年1月9日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ノートパソコン（Excelを使用してデータ処理）、もしくは電卓を持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・心理学研究法―心を見つめる科学のまなざし　第３版（高野陽太郎・岡隆（編）／有斐閣／¥2,420／ISBN=9784641222588） **【その他（特記事項）】** 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2696371	**授業概要**	**【授業内容】** 日常生活は“移動”無くして成立しません。和歌山はとかく「車がないとねぇ…」と言われがちですが、猫が駅長になって、ついには電車や駅舎になったり、パンダが特急電車になったり、電車同士が結婚して新婚旅行に出かけたりするなど、実は鉄道の話題に事欠かない地域です。 今回の講義では「持続可能な鉄道」をキーワードに、主に「災害対応」と「市民参画」に取り組む和歌山の鉄道を紹介し、未来に向けた鉄道について考えます。 **【到達目標】** 近年、ニュースになっている「赤字ローカル線」問題をはじめとする鉄道に関するキーワードを理解できるようになると共に、簡単に説明できることを目指します。その上で、鉄道が抱える構造的な課題や経営を幅広く捉え、「持続可能な鉄道」のあり方について、きちんと論理で持って説明できるようになることと共に、自らの考えを主張できるようになることを目指します。 **【授業テーマ】** 第1回 交通とは何か？ 第2回 鉄道が持つ特性を考える 第3回 鉄道のピンチに立ち向かう①－災害と鉄道－ 第4回 鉄道のピンチに立ち向かう②－経営難と鉄道－ 第5回 鉄道の経営や市民参画を考えるフィールド学習① 第6回 鉄道の経営や市民参画を考えるフィールド学習② 第7回 鉄道の経営や市民参画を考えるフィールド学習③ 第8回 交通現象から経済・社会を見渡す **【学生へのメッセージ】** 「鉄道」を幅広く考えるために、座学とフィールド学習を組み合わせた形で実施する予定です（天候等による変更有）。 **【受講前の準備学習等】** 交通、特に鉄道に関するニュースに目を配り、時事情報を取り入れておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。 なお、レポートのテーマは『持続可能な鉄道のために「市民ができる」ことと「あなたができる」こと』です。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**持続可能な鉄道を考える**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ニシカワ　カズヒロ 西川　一弘 和歌山大学紀伊半島価値共創基幹教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	この授業は、【和歌山学習センター、２日目１～３時限のみ：★和歌山電鐵貴志川線伊太祈曽駅・貴志駅周辺】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** フィールド学習時は歩きやすい服装と靴。 和歌山市内を移動する交通費・施設見学料（合計2,000円程度）が必要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・社会教育における防災教育の展開（野元弘幸／大学教育出版／¥3,960／ISBN=9784864295307） **【その他（特記事項）】** ・２日目１～３時限は、和歌山電鐵貴志川線伊太祈曽駅・貴志駅周辺で行います。（JR和歌山駅集合） ・詳細は、科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・天候等により、授業内容・スケジュールを変更する場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、「面接授業開設科目一覧」をご覧ください。

科目コード	2696380	**授業概要**	**【授業内容】** きのくに–和歌山県は、かつての都に近い場所にあったため、日本史の主要な動きと深いつながりを持って、歴史が進んでいきました。また県内には多くの文化財が残されており、それらをもとに豊かな歴史を知ることもできます。この授業では、歴史を物語る文化財を展示している和歌山県立博物館の常設展示も教材に使いながら、きのくに–和歌山県の歴史をたどります。 **【到達目標】** 受講生は和歌山県の歴史を理解し、地域の文化財を通じて日本史における時代の特徴を理解できるようになる。また、和歌山県立博物館の常設展示を活用し、文化財から地域史を読み解く視点を養い、きのくに–和歌山県の歴史を適切に説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 きのくにのあけぼの 第2回 古代国家と紀伊国 第3回 荘園と武士 第4回 きのくにの祈り 第5回 動乱の時代 第6回 紀伊藩と領民 第7回 和歌山県の誕生 第8回 和歌山県の文化財 **【学生へのメッセージ】** 日本史を学ぶ上で、重要な素材を提供しているきのくに–和歌山県の歴史。和歌山県立博物館の常設展示も活用しながら、地域の歴史を学ぶことで、日本史の理解をより深めてみませんか。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**博物館で学ぶ きのくにの歴史**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	タケナカ　ヤスヒコ 竹中　康彦 和歌山県立博物館学芸員		
日程 実施時間	11月11日(水) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月12日(木) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～16:55		
実施会場	この授業は、【★和歌山県立博物館】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 常設展入館料2日分（310円×2日＝620円）が必要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・常設展示図録『きのくにの歩み　人々の生活と文化』(和歌山県立博物館編集／和歌山県立博物館／¥1,000) 和歌山県立博物館で購入可能です。 ・和歌山県の歴史（小山靖憲ほか／山川出版社／¥2,640／ISBN=9784634323018）
			【その他（特記事項）】 ・この授業は､和歌山県立博物館 (和歌山市吹上1-4-14) にて行います。(現地集合・現地解散) ・駐車場は有料です。 ・詳細は、科目登録決定後、受講者へ通知します。

科目コード	2696398	**授業概要**	**【授業内容】** 庭園を造り楽しむ文化は世界的に見られるもので、ユネスコの世界遺産に登録された庭園は世界各地に数多くあります。この授業では、日本・中国・韓国といった東アジアの世界遺産庭園、イタリア・フランス・イギリス等のヨーロッパ諸国の世界遺産庭園、西アジア・南アジアの世界遺産庭園を紹介します。西アジア・南アジアの世界遺産庭園以外は、私が実際に訪れたことのあるものを選んでいます。スライドやユネスコのサイトにある動画も用いて、視覚的にも楽しめる授業にしたいと思います。 **【到達目標】** A：世界的に見た庭園の様式ならびにそれらの成立と展開の経緯の概略を説明できる。 B：世界遺産の登録物件または構成資産となっている日本ならびに世界各国の個別の庭園（授業で取り上げたもの）について概略の説明ができる。 **【授業テーマ】** 第1回 庭園とは何か／庭園の様々な様式 第2回 日本の世界遺産庭園（1） 第3回 日本の世界遺産庭園（2） 第4回 中国・韓国の世界遺産庭園 第5回 イタリア・スペイン・ポルトガルの世界遺産庭園 第6回 フランス・オーストリア・チェコの世界遺産庭園 第7回 イギリス・ドイツの世界遺産庭園 第8回 西アジア・南アジアの世界遺産庭園／まとめ **【学生へのメッセージ】** ユネスコの世界遺産に登録された世界各地の庭園を紹介します。日本庭園に限らず、世界の庭園の文化に興味のある方の受講をお待ちしています。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**世界遺産の庭園**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	オノ　ケンキチ 小野　健吉 奈良文化財研究所名誉研究員		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・日本庭園　空間の美の歴史（小野健吉／岩波書店／¥902／ISBN=9784004311775） 新規入手困難のため、図書館等で閲覧してください。 ・ヨーロッパの庭園　美の楽園をめぐる旅（岩切正介／中央公論新社／¥968／ISBN=9784121019349） 新規入手困難のため、図書館等で閲覧してください。

科目コード	2696401
学習センター	和歌山学習センター
学習センターコード	30A
クラスコード	K
科目名	**アンデスの文化遺産と博物館**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ツルミ　エイセイ 鶴見　英成 放送大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	和歌山学習センター

授業概要

【授業内容】
南米大陸に栄えたアンデス文明の研究に、1950年代より日本人研究者が参画し、今も盛んに活動しています。ペルーではとくに神殿遺跡の調査を通じて、文明の形成過程の特徴を明らかにしてきました。アンデス文明の全体像を俯瞰し、とくに神殿をめぐるこれまでの研究成果と、講師の視点からの展望を示します。また現代において、地域社会の象徴・開発の障害・観光資源・盗掘対象など多様な側面を持つ遺跡と、保管・研究・情報発信・交流の場・開発拠点である博物館を切り口に、文化遺産をめぐる諸課題について考えます。

【到達目標】
古代アンデスの文化遺産を手がかりとして、人類の行動に関する研究の展開と、それを研究する手法と、その研究成果を現代社会における課題としてとらえる視点を学び、それらの学習内容を自分自身の関心と結びつけて述べられるようになる。

【授業テーマ】
第1回 南米大陸、アンデスという場所
第2回 アンデス文明史１　最初の南アメリカ人たち
第3回 アンデス文明史２　日本調査団と神殿研究
第4回 アンデス文明史３　初期国家からインカ帝国へ
第5回 アンデス文明の形成１　神殿遺跡を掘る
第6回 アンデス文明の形成２　神殿遺跡を探す
第7回 古代文明と現代社会１　遺跡をめぐって
第8回 古代文明と現代社会２　博物館をめぐって

【学生へのメッセージ】
「四大文明」という語はすでに過去のものです。南米大陸の古代文明にふれる機会は日本ではまだ少ないですが、アフリカやユーラシアに見られない特徴も多く、人間の営みの多様性を知る良い機会となるでしょう。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。細かい知識を伝授するよりも、問題点を見抜き、仮説を立て、検証するという考古学者の思考をたどっていただく内容です。人間とは何か、古代文明のどのような点が気になるか、刻々と失われる文化遺産とどう向き合うかなど、自分自身の関心を研ぎ澄ませて来てください。参考書を読むほかに、身近な遺跡や博物館を訪問することもお勧めします。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び授業終了後の試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・アンデス文明ハンドブック（関雄二監修、山本睦、松本雄一編／臨川書店／¥3,740／ISBN=9784653045199）
・アンデスの考古学　新版（関雄二／同成社／¥3,520／ISBN=9784886218773）2021年の『新版』が最新の内容です。『改訂版』は2010年、初版は1997年です。
・アンデス古代の探求―日本人研究者が行く最前線―（大貫良夫、希有の会編／中央公論新社／¥1,980／ISBN=9784120050824）
・アンデスの文化遺産を活かす―考古学者と盗掘者の対話―（関雄二／臨川書店／¥2,200／ISBN=9784653042365）

【その他（特記事項）】
土器のレプリカやアンデスの動植物など、標本にふれる機会を作ります。

科目コード	2696410	**授業概要**	**【授業内容】** 漂着した無人島からアメリカの捕鯨船によって救出された土佐国中濱の万次郎は、日本に戻るまでのほとんどの時間を、黄金期を迎えていたアメリカ捕鯨産業の真っ只中で過ごしました。ジョン万次郎の冒険の航跡をたどりつつ、彼がアメリカで身に付けたものを考察します。２回目の捕鯨航海中、彼は恩人のホイットフィールド船長宛に手紙を書き、「ジョン・マン、ジャパニーズ」と署名しました。彼はなぜ、あるいはどのように「ジャパニーズ」を自認していたのでしょうか。 **【到達目標】** 受講生はジョン万次郎のアメリカでの経験を通じて、アメリカ捕鯨産業の歴史やその影響を理解し、彼が日本にもたらした文化的・社会的変化を考察できるようになる。 また、「John Mung, Japanese」という自認の背景を探り、日本におけるアイデンティティや近代化の過程を考える視点を持つことができるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ジョン・マンをアメリカの捕鯨者として見直す 第2回 ジョン・マンが日本にもたらしたもの 第3回 紀州から伝わった土佐の捕鯨 第4回 クジラは誰のものか 第5回 アメリカの捕鯨船が体現するもの 第6回 ベンチャー ・キャピタルとアメリカ捕鯨 第7回「John Mung, Japanese」の意味 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 質問や意見を歓迎します。受講生の皆さんと質問や意見を共有しながら授業を進めていきたいと思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**鯨捕り、ジョン万次郎**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サクライ　ハヤト 櫻井　敬人 太地町歴史資料室学芸員		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・漂巽紀畧　全現代語訳（河田小龍（記）、谷村鯛夢（訳）／講談社／¥990／ISBN=9784065142622） ・中濱万次郎ー「アメリカ」を初めて伝えた日本人ー（中濱博／冨山房インターナショナル／¥3,080／ISBN=9784902385083） ・ジョン万次郎　日米両国の友好の原点（中濱京／冨山房インターナショナル／¥1,760／ISBN=9784905194804） ・クジラとアメリカ　アメリカ捕鯨全史（エリック・ジェイ・ドリン、櫻井敬人ほか（共訳）／原書房／¥5,500／ISBN=9784562050963） 新規入手困難のため、図書館等で閲覧してください。 ・白鯨（上）（メルヴィル、八木敏雄（訳）／岩波書店／¥1,364／ISBN=9784003230817） 上・中・下巻（全３冊）／上・中巻各1,364円（税込）、下巻1,276円（税込）／上記のISBNは上巻のものになります。

科目コード	2696428	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** この授業では、科学やビジネスで集められた「データ」を使って、自然現象の傾向や、合理的な意思決定を理解するためのAIの仕組みを学びます。具体的には、統計学の基本を学び、データを使ったシステムの作り方や、製品の品質をチェックする方法を学びます。授業では、パソコンを使ってデータを実際に分析したり、ChatGPTなどのAIがどのように動くのかをわかりやすく説明し、グループワークも行います。 **【到達目標】** ChatGPTをはじめとする生成AIの基盤技術、およびその正しい使い方について理解し、科学やビジネスで集められた「データ」を使って、自然現象の傾向や、合理的な意思決定を的確に分析・判断できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 データを使う目的を知ろう 第2回 データを数字で表してみよう 第3回 AIの基本①　どうやってデータを学ぶの？ 第4回 AIの基本②　もっとかしこく学習するには？ 第5回 言葉を分析する①　コンピュータは文章をどう読む？ 第6回 言葉を分析する②　AIで文章を分析してみよう 第7回 ChatGPTってどう動くの？ 第8回 グループワーク：ChatGPTをどう使う？ **【学生へのメッセージ】** 本授業は、データサイエンスの講義とパソコンを利用した演習で構成されます。 講義では高等学校で学ぶ確率・統計の知識、演習ではプログラミングの基礎的な知識（変数・配列）があると深く理解できますが、プログラミングの経験がなくても心配はいりません。実際に手を動かして、少しずつ慣れていくことができます。 実際にデータを解析しながら学習を進めます。受講者によって取り組みの進度が大きく異なることが想定されるため、全８時限のうち６時限は、講師が事前に収録した講義動画を視聴しながら、各自で演習に取り組んでいただく形式とします。この方法により、それぞれの理解度や進度に応じた学習が可能となります。講師は随時質問を受け付けますので、不明点があれば遠慮なくお尋ねください。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 確率・統計の復習を予めしておくと、講義内容の理解が進み、より発展的な内容を学ぶことができます。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**AIでデータを 一緒に読み解こう**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イハラ　アキノリ 伊原　彰紀 和歌山大学システム工学部准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Linux等）。 ３．ソフトのインストール Chromeブラウザが必要です。配布資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 ４．その他 ・可能であればGoogleアカウントをご準備ください。授業では、Posit Cloudというサービスを使い、Googleアカウントで簡単にログイン可能です。Googleアカウントを事前にご準備いただけない場合は、授業当日にGoogleアカウントの発行をお手伝いします。 ・動画視聴を行いますので、イヤホンを必ず持参してください。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・Rによる統計解析（青木繁伸／オーム社／¥4,180／ISBN=9784274067570）
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696436	**授業概要**	**【授業内容】** 太陽系の外の宇宙について、宇宙シミュレータmitakaで空間的スケールをシミュレーションしながら学びます。また、宇宙の誕生から未来まで、時間的な変化についても学習します。本授業は、2015年度～2017年度に開講した「シミュレータによる天文学入門」の内容をもとに、最近の研究成果も盛り込んで、太陽系の外の宇宙にテーマを絞って、再構成したものです。また、2018年度、2021年度、2023年度、2025年度に開講した「シミュレータで太陽系を学ぼう」を受講した方は、本授業を受講すれば、宇宙全体をひととおり学んだことになります。 **【到達目標】** 宇宙の始まりから銀河の進化、そして、今後の宇宙の進化について頭の中で思い描けるようになる。また、宇宙の大きさについて、シミュレータを使いながら把握できる。さらに、余力があれば、現在の最先端の宇宙物理学についても理解を深める。特に、私たちの住む宇宙は量子論で語ることができ、それは、スマホなどの電子機器から宇宙まで共通の基盤理論になっていることを理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 シミュレータで見る太陽系外の宇宙のスケール 第2回 恒星の形成と進化・銀河系 第3回 天体までの距離の測定 第4回 宇宙の起源と進化 第5回 宇宙の起源と進化（つづき） 第6回 ダークマターとダークエネルギー 第7回 マルチバースと超弦理論 第8回 量子もつれとワームホール **【学生へのメッセージ】** 国立天文台の4D2Uプロジェクトで作成された宇宙シミュレータmitakaを使って、VR空間内で宇宙をシミュレーションしながら、太陽系の外の宇宙について学習します。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**PCで太陽系外の宇宙を学ぼう**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	310		
定員	20名		
担当講師	ソガ　マサト 曽我　真人 和歌山大学システム工学部准教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	和歌山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ノートパソコンを持っている人は、宇宙シミュレータmitakaをあらかじめダウンロードし、持参すれば、授業中に自身のノートパソコンで宇宙をシミュレーションすることも可能です。（ダウンロードはWindowsであれば無料です。）ノートパソコンを持参してインターネットを利用される場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法は、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・なぜか宇宙はちょうどいい：この世界を創った奇跡のパラメータ22（松原隆彦／誠文堂新光社／¥1,760／ISBN=9784416620380）

科目コード	2696444	**授業概要**	**【授業内容】** 生物学者であり民俗学者であり、10数か国語を操る語学の天才でもあり、100年以上前に自然保護を訴えたエコロジスト、日本のレオナルド・ダ・ヴィンチともいわれる超人「南方熊楠」に多方面からアプローチします。 **【到達目標】** 学生は南方熊楠の業績を多角的に理解し、彼の自然観察、博物学、民俗学における重要な貢献を説明できるようになる。また、熊楠が生きた時代背景とその影響を考察し、現代における彼の思想の意義を具体的に評価できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 南方熊楠記念館とフィールドミュージアム（三村） 第2回 南方熊楠と博物学（髙垣） 第3回 番所山の自然観察（髙垣） 第4回 南方熊楠と民俗学（三村） 第5回 南方熊楠と粘菌①（川上） 第6回 南方熊楠と粘菌②（川上） 第7回 南方熊楠と妖怪（中島） 第8回 南方熊楠に何を学んだか（まとめ）（髙垣） **【学生へのメッセージ】** 100年生まれるのが早かった知の人と言われる超人「南方熊楠」について、わかりやすく説明します。 **【受講前の準備学習等】** 南方熊楠に関する出版物（例：参考書欄参照）を読んでおいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	和歌山学習センター		
学習センターコード	30A		
クラスコード	K		
科目名	**歩く百科事典ー南方熊楠**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	20名		
担当講師	タカガキ　マコト 髙垣　誠 公益財団法人南方熊楠記念館館長 ナカシマ　アツシ 中島　敦司 和歌山大学システム工学部教授 ミムラ　ノブタカ 三村　宜敬 公益財団法人南方熊楠記念館学芸員 カワカミ　シンイチ 川上　新一 和歌山県立自然博物館主査学芸員		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 13:50～15:20 第４時限 15:30～17:00 10月18日(日) 第１時限 9:00～10:30 第２時限 10:40～12:10 第３時限 12:55～14:25 第４時限 14:35～15:20 試験・レポート等 15:20～16:00		**【受講者が当日用意するもの】** フィールドワークがあるため、滑りにくい靴・動きやすい服装・雨具・タオル・帽子、入館料２日分（700円×2日=1,400円。授業当日集金します。） **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・南方熊楠　地球志向の比較学（鶴見和子／講談社／¥1,540／ISBN=9784061585287） ・クマグスの森ー南方熊楠の見た宇宙（松居竜五／新潮社／¥1,650／ISBN=9784106021657） ・南方熊楠　森羅万象に挑んだ巨人（別冊太陽）（中瀬喜陽（監修）／平凡社／¥2,640／ISBN=9784582921922） 新規入手困難のため、図書館等で閲覧してください。
実施会場	この授業は、【★南方熊楠記念館】で行います。		**【その他（特記事項）】** この科目は所属コースのコース科目に該当します。 ・この授業は､南方熊楠記念館(和歌山県西牟婁郡白浜町3601-1)にて行います。(現地集合・現地解散) 〔注〕宿泊の斡旋は行いませんので、必要な方は各自で手配してください。 ・１日目の集合時刻は９時50分を予定しています。 ・詳細は、科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・天候等により、授業内容・スケジュールを変更する場合があります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、「面接授業開設科目一覧」をご覧ください。

科目コード	2696452
学習センター	和歌山学習センター
学習センターコード	30A
クラスコード	K
科目名	**ジオパークで考える 変動帯地域**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	30名
担当講師	コノマツ　マサヒコ 此松　昌彦 和歌山大学教育学部教授 ホンゴウ　チュウキ 本郷　宙軌 和歌山県立南紀熊野ジオパークセンター主査研究員
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	和歌山学習センター

授業概要

【授業内容】
ジオパークは地質・地形から地球の過去を知り、未来を考えて、活動する場所です。日本のジオパークはプレートの沈み込み帯であることで、火山や断層による変動帯であることを示し、地元の南紀熊野ジオパークをはじめ数多くあります。そこで見られる価値ある地形及び地質（地質遺産）について説明し、この地質遺産の上に多種多様な動植物が生息し、その上に伝説の聖地など地域の文化の形成にも大きく関係しています。さらに、日本のジオパークは災害が多い地域でもあり、災害の記録を後世に伝える活動についても紹介します。

【到達目標】
ジオパークが始まった背景について説明することができる。ジオパークにある特徴的な地質遺産について具体例を挙げながら説明することができる。また、ジオパークにある自然遺産と文化遺産について具体例を挙げながら説明することができる。さらに、ジオパークで取り組まれている災害の記録を後世に伝える活動について具体例を挙げながら説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 伝説（聖地）を基にしたジオパーク（此松）
第2回 火山を基にしたジオパーク（此松）
第3回 ジオパークの理念と歴史（本郷）
第4回 ジオパークの地質遺産①・ディスカッション１（本郷・此松）
第5回 ジオパークの地質遺産②（本郷）
第6回 災害の記録を基にしたジオパーク（此松）
第7回 ジオパークの教育活動・地域活動（此松）
第8回 まとめ・ディスカッション２（此松）

【学生へのメッセージ】
この授業では、地域が地質や地形、多様な生物、文化、歴史と密接に関わりながら形成されてきたことを理解するために、地学や生物学、歴史学、観光学など幅広く関心を持っていることが望ましいです。

【受講前の準備学習等】
日本ジオパークネットワークのホームページ（https://geopark.jp/）を見て、ジオパークの概要について事前に学習しておいてください。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・ジオパークに出かけよう！地球・自然・くらしの歴史旅行（全４巻）（日本ジオパークネットワーク（協力）／あかつき教育図書／¥14,960／ISBN=9784867020760）

【その他（特記事項）】
この科目は所属コースのコース科目に該当します。

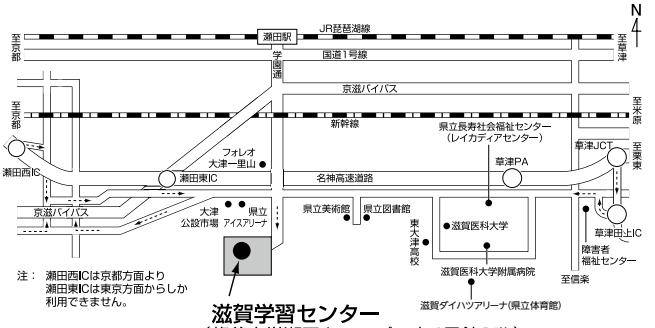
[学習センター・サテライトスペース案内図]

月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

滋賀学習センター

077-545-0362
FAX 077-545-2096
〒520-2123　大津市瀬田大江町横谷1-5（龍谷大学瀬田キャンパス内）

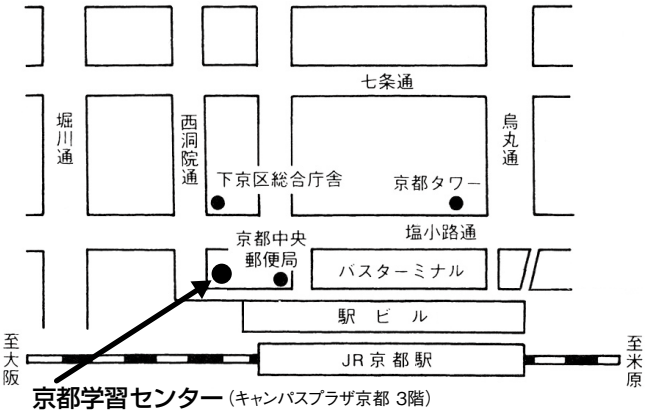
■鉄道：JR琵琶湖線「瀬田駅」下車（JR京都駅から約20分）
■バス：龍谷大学行、龍谷大学経由 公設市場行、龍谷大学経由 大学病院行 約8分
■自家用車：国道1号線「瀬田駅口」から学園通を南行約3km（自家用車通学可）
：高速道路利用　京都方面（名神高速道路）より「瀬田西IC」から約5分
東京方面（名神・新名神高速道路）より「草津田上IC」から約5分



京都学習センター

075-371-3001
FAX 075-371-3033
〒600-8216　京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939（キャンパスプラザ京都3階）

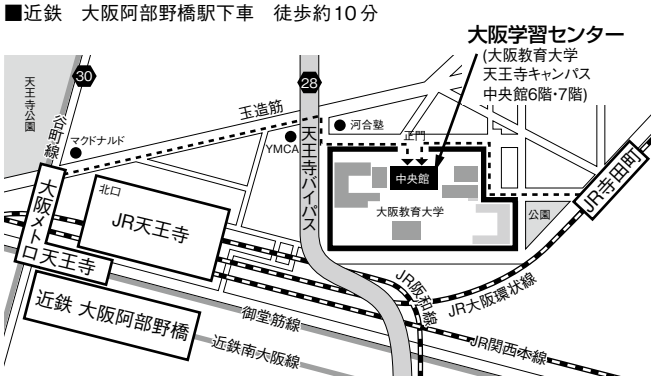
■近鉄・地下鉄・JR京都駅下車　徒歩5分



大阪学習センター

06-6773-6328
FAX 06-6773-6322
〒543-0054　大阪市天王寺区南河堀町4-88（大阪教育大学天王寺キャンパス内）

■JR環状線　寺田町駅下車　南口から西へ　徒歩約5分
■JR　天王寺駅下車　北口から東へ　徒歩約10分
■大阪メトロ　天王寺駅下車　徒歩約10分
■近鉄　大阪阿部野橋駅下車　徒歩約10分

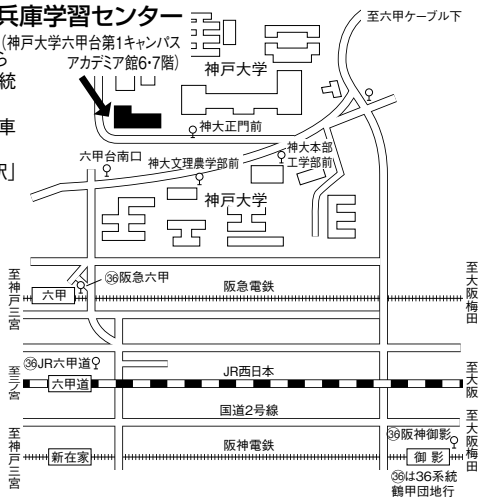


兵庫学習センター

078-805-0052
FAX 078-805-0067
〒657-8501　神戸市灘区六甲台町2-1（神戸大学六甲台キャンパス内）

■阪神「御影駅」、JR「六甲道駅」、阪急「六甲駅」から神戸市バス36系統鶴甲団地行乗車「神大正門前」下車すぐ
■徒歩：阪急「六甲駅」から約20分（上り坂）

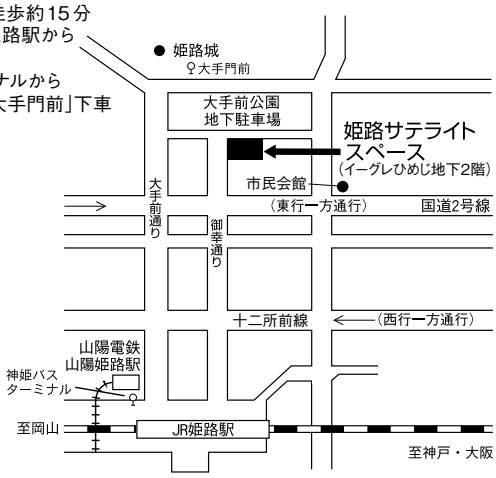
兵庫学習センター
（神戸大学六甲台第1キャンパス
アカデミア館6・7階）



姫路サテライトスペース

079-284-5788
FAX 079-284-5812
〒670-0012　姫路市本町68-290（イーグレひめじ地下2階）

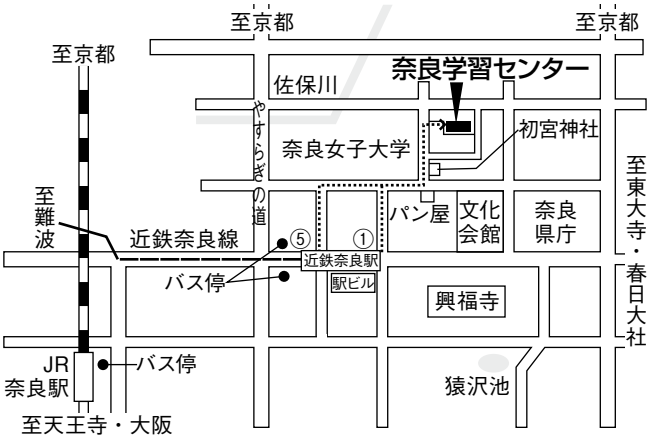
■JR姫路駅から徒歩約15分
■山陽電鉄山陽姫路駅から徒歩約15分
■神姫バスターミナルからバスで「姫路城大手門前」下車徒歩南へ2分



奈良学習センター

0742-20-7870
FAX 0742-20-7871
〒630-8589　奈良市北魚屋東町（奈良女子大学コラボレーションセンター3階）

■近鉄奈良駅①・⑤番出口より北へ徒歩約10分
■JR奈良駅から市内循環バス　近鉄奈良駅下車北へ徒歩約10分

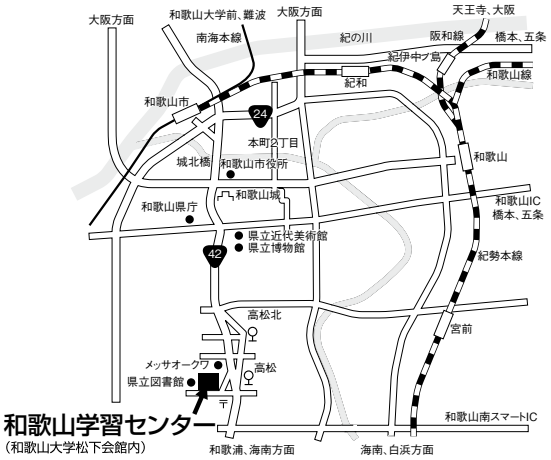


月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

［学習センター・サテライトスペース案内図］

和歌山学習センター
〒641-0051　和歌山市西高松1-7-20（和歌山大学松下会館内）
℡ 073-431-0360
FAX 073-431-0311

■JR和歌山駅からバスで約20分　「高松」バス停下車　徒歩約3分
■南海和歌山市駅からバスで約20分　「高松」バス停下車　徒歩約3分



年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

〇複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

〇提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考


放送大学